

令和6年度
「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」
実施報告書

実施日時 令和6年9月3日(火)14時30分～16時30分

会場 大阪市立中央図書館 大会議室

令和 6 年度 大阪市子どもの読書活動推進連絡会

当日次第

- 日時 令和 6 年 9 月 3 日(火) 14 時 30 分-16 時 30 分
場所 大阪市立中央図書館 5 階 大会議室
- 1 開会あいさつ
 - 2 出席者紹介
 - 3 議 事
 - (1) 事務局報告
 - ・ 令和 5 年度「第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況
 - ・ 令和 6 年度各区の子どもの読書活動推進連絡会のまとめ
 - (2) 事例報告 1: 大阪市多文化共生の取組について
事例報告 2: 主幹学校司書配置校の取組について
 - (3) 学識経験者、社会教育関係団体代表者より助言
 - (4) 質疑応答
 - 4 その他
 - 5 閉会
-

目次

各種報告	1-4
意見交換	5-9
当日配布資料	
≪資料 1≫ 令和 5 年度「第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況(取組目標・指標)	10
≪資料 2≫ 子どもの読書活動 各取組の状況(令和 5 年度)	11-17
≪資料 3≫ 「子どものためのイベント+施設ガイド・タッチ 令和 6 年度 夏」	18-19
≪資料 4≫ 「学校図書館活用推進事業」について	20-21
≪資料 5≫ 令和 5 年度大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ	22-24
≪資料 6≫ 令和 5 年度こども本の森中之島 読書活動に関する報告	25
≪資料 7≫ 区における子どもの読書活動の取組みについて	26-34
≪資料 8≫ 各区 子どもの読書活動推進連絡会のまとめ	35-52
≪資料 9≫ 事例報告 1 大阪市多文化共生の取組について	53-64
≪資料 10≫ 事例報告 2 主幹学校司書配置校の取組について	65
第 4 次大阪市子ども読書活動推進計画 概要版	66-67
大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱	68-70
令和 6 年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会名簿および関係職員名簿	71-72

■各種報告

1 事務局報告

[資料 1]～[資料 8]参照

[資料 8]「令和 6 年度 各区子どもの読書活動推進連絡会のまとめ」について

当日は、[資料 8]から特徴的な意見をピックアップし、分類してスライドにまとめ、投影しながら説明した。

以下にスライドにまとめた内容を掲げる。

○評価ポイント(効果・成果がみられる取組)

- ・ 図書館から幼児期施設への絵本セットの配本やボランティアによる読み聞かせ
- ・ ブックスタートへの図書館司書やボランティア派遣支援
- ・ 主幹学校司書の配置

○要望など(活動にあたって充実が求められること)

- ・ 幼児期施設への絵本セット配本回数増(通年、年 2 回)
- ・ 学校司書の増配置
- ・ 多言語資料の充実
- ・ 大型絵本やおはなし組木等小道具の搬送支援
- ・ 学校や地域における読書活動推進事例の共有

○課題点(活動にあたって課題が明らかになったこと)

- ・ ボランティアメンバーの高齢化や人員不足
- ・ 図書館行事参加者の低年齢化
- ・ 本を読む子と読まない子の二極化
- ・ 絵本から読み物への移行(低学年は学校図書館の利用が多く、読み聞かせへの反応もよいが、高学年になるほど読書から離れてしまう)
- ・ 読書に興味がない子へのアプローチ
- ・ 外国につながる子へのアプローチ

○工夫点や実践例(参考になりうる有用な実践など)

- ・ 教員の研修実施(並行読書など)
- ・ 読書郵便、読書ビンゴ、ビブリオバトル など
- ・ 児童・教員の推し本紹介
- ・ 居場所としての学校図書館(中学校)
- ・ 多言語絵本の展示や読み聞かせ

2 事例報告

(1)大阪市多文化共生の取組について

○子どもの読書活動に関わる状況 [資料 9-1 参照]

中央図書館 利用サービス担当課長代理 外丸 須美乃

- ・ 令和6年度各区子どもの読書活動推進連絡会の報告では、多言語資料の充実や外国につながる子どもたちへのアプローチなどが課題として上がっており、各区の子育て支援施設や幼稚園、保育所、学校、図書館でも多文化共生に関する取組・支援が日常的に求められる状況である([資料 8]参照)。
- ・ 令和5年度に引き続き、このテーマを事例報告として取り上げるが、令和6年度は各現場でより効果的に取組を進めていくために、本市の多文化共生施策について、現状や事業実施状況について知っていただく内容とする。
- ・ 令和5年4月以降の市立図書館における対応事例は、[資料 9-1]にまとめている。とりわけ、学校から多様な問合せが寄せられており、団体貸出で多言語資料の提供を行っている。
- ・ 市立図書館では、英語・中国語・韓国/朝鮮語など、在住者が多い言語を中心に、生活に役立つものや娯楽に関するものに重点を置いて図書・雑誌・新聞を収集している。特に中央図書館には外国資料コーナーを設置し、多言語の資料を多数所蔵している。地域図書館でも取り寄せて借りることができ、市内全域での需要に対応している。引き続き、学校をはじめとした各区の施設・団体と連携して、市立図書館が持つリソースを必要とする子どもたちに届けられるように取り組んでいく必要がある。

○大阪市多文化共生の取組について [資料 9-2 参照]

市民局ダイバーシティ推進室 多文化共生担当課長 宮之前 亮

- ・ 大阪市の外国人人口は平成26(2014)年以降急増し、令和5(2023)年12月時点で約17万人にのぼり、この10年間で大阪市人口の約6.1%まで増加した。国別でも134カ国から160カ国に増加し、特にベトナムやネパールの増加が顕著となっている。
- ・ 在留資格では、技能実習などの就労関係、留学・家族滞在が増えている。一方で特別永住者は年々減少傾向にある。
- ・ 人口の流動性では、1年間での転入者・転出者ともに多い状況である。長期間大阪市内に住む人が少ない状況ともいえ、地域との接点が希薄となる一因と考えられる。
- ・ 令和2年12月に「大阪市多文化共生指針」を策定し、4つの「基本視点」と6つの「基本的な方向性」を設け、全局・全区で6つの基本的な方向性に沿って、行動計画を作成している。
- ・ 自分の業務について、コンプライアンス上問題ないか検討することと同じで、多文化共生についてもどこか別の部署が点検してくれるのではなく、自分たちで、多文化共生の観点から業務を改善すべき点がないか確認してほしい。
- ・ 例えば、自分の体験から説明すると、海外に出張に行った際に電話でタクシーを呼ぶことはハードルが高かった。外国人住民にとって、問合せや申込み手段が電話しかない場合は、とてもハードルが高くなる。二次元コードからスマートフォンで申込みができないかなど、視点を変えて、多様なニーズを想定しながら日々の取組について見つめ直すことが大事である。
- ・ 令和5年度から「多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業」を実施している。相互

理解や交流の機会をつくり、地域とのつながりを深めるためのプログラムを港区、浪速区、生野区、西成区の4つの小学校区単位でモデル実施している。

- ・ 家族滞在者が増加していることを最初に紹介したが、その中でも外国人女性が国際結婚等で日本に移住した場合など、孤立してしまうことも多い。地域での日本人住民と外国人の相互理解・つながり交流を生むために、地域のまつりへの参加案内やおやかフェなどの交流イベントなどを開催している。
- ・ 今後は、他の地域においても自立的に取組を進めることができるよう、4つの地域でのモデル実施を汎用事例として、多文化共生の施策を推進していきたい。

(2)主幹学校司書配置校の取組について [資料 10 参照]

○学校司書の配置について

中央図書館 地域サービス担当課長代理 檜崎佳代

- ・ 学校図書館活用推進事業を開始し、大阪市立の全小中学校に学校図書館補助員の配置をはじめから今年で 10 年目となる。この間大阪市の学校図書館は、明るく使いやすいものへと徐々に変わっていった。整ってきた学校図書館の環境を使って、より活用していこうということで令和 4 年度からは学校司書の配置を始め、全小中学校と義務教育学校に週 1 回6時間の学校司書、うち 24 校(各区1校)に週 30 時間 1 校専任の主幹学校司書を配置した。
- ・ 施策目標の達成状況について、資料 1 で全体数値を掲載しているが、資料 10 には主幹学校司書配置校の数字を抽出して載せている。やはり主幹学校司書配置校においては数字として成果が見えているが、担当としてこの間の取組状況を見てみると、子どもたちの様子が落ち着いてきたとか、子どもの読書の幅が広がったなど、数字に表れない部分の効果も実感している。
- ・ 主幹学校司書には、勤務校での業務だけでなく、その成果や実践を報告、ツールの共有などを通じて市全体の底上げを図る役割も担っている。

○苗代小学校(阿倍野区)の取組について

大阪市立苗代小学校 校長 安倍 紫

- ・ 本校は 1 学年 3 学級ずつ 18 学級と特別支援学級という規模、蔵書数は 9,211 冊、PTA 文庫等含めると 10,115 冊。子どもの読書量は、昨年度の数値でひとりあたり平均 68.5 冊の貸出冊数、一番借りた児童は 438 冊。コの字型の校舎の一番端が図書室、その前が 4 年生の教室なので4年生の利用が多い。その他の学年は図書室から離れているが、その条件を克服する工夫について、この後の話で紹介したい。
- ・ 児童アンケートを毎年実施しており、直近では「読書や読み聞かせが好きだ」91%、「図書館の本を学習で生かしている」91%と、読書に関する意識は高い。
- ・ 教育目標を「自主自立の精神に富む人間性豊かな子どもを育てる ～一人一人の笑顔が輝く苗代小学校から～」としており、重点的な取組の 2 番目に「言語活動の充実と読解力の育成」を掲げている。現在、大阪市として読解力の育成に取り組んでおり、本校では長年言語活動の充実に取り組んできた。特に2年前から国語を研究教科としており、「主幹学校司書と連携を図り、教科学習とも関連させながら、読書活動のさらなる充実を図る。また、多読・速読、読み聞かせなど、豊かな読書活動をベースに言語活動の充実を図るとともに、読解力の育成につなげていく。」としている。

- ・ 主幹学校司書は、火曜から金曜の週4日配置、休み時間も常に図書館開放している。主幹学校司書の活動内容は、書架のレイアウト、図書館掲示物等の工夫、移動図書館「とことこ本屋さん」、図書時間の読み聞かせやアニメーション等の読書支援、児童・教職員への貸出・返却対応、選書リストの作成、団体貸出の手続き、教科学習における並行読書や、調べ学習、関連図書の相談・準備、読書週間・味見読書週間などの取組実施支援及び提案、レファレンス(児童や教員からの相談対応)、教科学習の単元導入における味見読書での興味付け、貸出業務のデータ管理、図書委員会との連携による校舎内の読書活動関連掲示など、多岐にわたる。
それ以外にも、たとえば教室に入りにくい子への対応、PTA図書の対応、教材作成なども行っている。
- ・ 読書環境の工夫としては、図書室の壁掲示、新刊図書や大型図書等床に広げて見やすいレイアウト、優しくカーブした書架を導入するなどの整備により、子どもたちはゆったりと自由に心地よい時間を過ごしている。
児童の図書委員とコラボした「とことこ本屋さん」は、ブックトラックでごろごろと移動する図書館。小さなブックトラックだが返された本を違う子がまた借りて行って、繁盛している。図書館から遠い校舎には「ちよっ図書館」というコーナーを設置。休み時間にはたくさん子どもたちが集まって読書する。ほかにも各教室のスペースを活用して季節や教材に応じた図書を用意している。
- ・ 校内研究とのコラボレーションが積極的にできるようになったのは今年から。「言葉が持つ良さを感じ表現できる子どもをはぐくむ国語科の取り組み」がテーマ。読書を楽しんで取り組める工夫としてアニメーション活動、読書の幅を広げる工夫で味見読書を行っている。
- ・ 今後も子どもたちが様々なジャンルの本に触れ、本に対する好奇心をはぐくむ取組を続けていきたい。こういうことをやりたい、という教員と、司書とのやりとりが去年からはじまり、今年ようやく実行に移せたという感触を得ている。こんなことができるんじゃないかという教員からの要望、司書からの提案等がまだまだどんどんできており、計画的に進めていきたい。去年までは司書におまかせの部分が多かったが、教員がアニメーションや味見読書ができるようになってきており、研修をふまえて教員ができることを増やしていきたい。
- ・ 教科学習との関連も充実してきた。たとえば平和学習をするとき、味見読書は担任と司書が相談して、平和学習に関する本を入れて行う。アニメーションも味見読書も多読速読につながるものであり、語彙力アップ、読解力アップにつなげていきたい。
- ・ 今後はこれらの取組を区内の他の学校と共有することも行っていきたい。

■意見交換

○公益財団法人図書館振興財団教育支援担当 片岡 則夫氏

- ・ この連絡会に参加して3年目になる。今回の主幹学校司書配置校の実践を聞いて、週4日間 30 時間でよくこれだけのことができていると思った。学校司書が1人いるだけで、どれだけ学校図書館が豊かになるかを事例として見せてもらった。おそらく相当力がある学校司書だと思うが、こうした実践が大阪市の中で広まってほしい。
- ・ いま世の中は探究ブームで、学習指導要領にもある探究学習、主体的な学びは、いまの教育を語るキーワードの一つである。例えば、長野県教育委員会は、「一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び」というキャッチフレーズで、県の教育が方向づけられている。東京のある区から家庭教育講座で、夏休みの自由研究、つまり探究学習の話をしてほしいと言われ、行ってみると満員だった。小学校低学年のお子さんを持つ方、幼稚園年長で来年から小学校にあがるので、これから探究学習をどうやればいいかが気になっているので来た、というような方が参加されていた。いま一番ホットなのは、教育委員会でも先生でもなく保護者で、保護者が探究に非常に関心が高いと感じている。大学入試が変化しており、推薦制の入試等が増え、探究学習が目目されている。
- ・ 不読率は全国的に見ても非常に高い。ざっくりまとめると3, 4, 5, 6、つまり小学生3割、中学生4割、高校生5割、大学生6割が本を読みませんと言っている。『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』という新書が話題だが、社会人ももちろん読まない。本を読む人は世の中の的には少数派で、「図書館にお金を使う必要があるか」という多数決をしたら、図書館がなくなってしまうかもしれない。
- ・ 小中学校の学校図書館は、家庭によってはまっとうな本や本棚と触れられる最後のチャンスかもしれない。それ以降、本も本棚もない一生を暮らす可能性があると思うと、学校図書館はひよっとしたら最後の砦かもしれない。図書館に係る皆さんには、ぜひ子どもたちに本を届けていただきたい。
- ・ 主幹学校司書配置校の実践事例で「とことん本屋さん」の紹介があったが、私の勤務先の学校でも朝の読書の時間に高校生の教室に行き、生徒たちの机にたくさん本を並べて、「今日はこれ読んで」と朝読をやっている。学校図書館で待っていても子どもは来ないし、家に本棚がない子どもたちは本の背表紙が読めない。子どもたちが読みたいと思う本が目の前にどんと置かれること、子どもたちの手元に本を届けることが大事。
- ・ 探究ブームがある一方で、不読率が高まっている。ゲームやスマートフォンに1日何時間も割いて、本を読む時間がどんどん奪われていく。それを止め、読書を推進するために、いまの大阪市でどんなことが必要なのか。今日はいろいろな話があったが、統計が大切だと思う。もちろん実践報告のように数であらわせないものもあるが、数で比較すること、大阪市がこうだったら、隣の堺市はどうか、豊中市はどうかと、地域で比較したり、経年で比較したり、なるべく細かな数値をあげて比較検討することが大事。
- ・ [資料1]の取組状況・指標を見ると、蔵書に関する項目が1つもない。蔵書に関するデータは必要。学校図書館の蔵書には、下手をすると昭和の本がけっこう残っている。昭和と 20 世紀の本はもうさよならすべき。昔の本も大事という人もいるかもしれないが、大事な本だったら同じものを買い直ししようと言いたい。
- ・ 児童1人あたりの年間貸出冊数、「1人あたり」というのが大事。例えば、団体貸出冊数は減っているが、子どもの数も減っているため、1人あたりは増えているかもしれない。こういう数字の出し方を工夫すると変化がよくわかる。

- ・ 全国の同じ統計と比べるとよい。子どもの1人あたりの年間貸出冊数、令和2年データで小学校は全国 49 冊、大阪 32 冊。中学校は全国 9 冊、大阪 2.7 冊。中学の貸出冊数は全国の3分の1以下ということが、数字を比較すればわかる。数値を明らかにして改善していけば、目標がわかりやすくなる。
- ・ 団体貸出について、例えば平和学習など調べる学習の時に、子ども1人に2、3冊本が手元があれば、ある程度、調べ学習は進む。そこから成果物にまとめると比較的よいものができる。翻って、調べ学習をタブレット端末だけでやるという人もいるが、引用したそのインターネット情報がまともかどうか、出典がちゃんと書けるかどうか、あるいはその情報がいつまでもあるかどうかはわからない。
- ・ 特に小学校では、タブレット端末で調べ学習するのはけっこう難しい。先生方が自分で調べ学習をタブレット端末でやってみれば実感できる。いつ出た情報かわからないことが多く、出典を書くことが難しい。本であれば奥付を見ればわかる。低学年ほど、まずは本を手元に置いて、しっかりとした情報を引用して出典を書くという癖をつけるべき。そのうち AI が書いたものをさも自分が書いたように語尾を直して提出することになりかねない。
- ・ 本の情報を引用し、自分の考えと区別することを調べ学習でちゃんとやっておく方がよい。自分が興味があることを調べて、引用して、自分の考えを主張するのが、探究学習である。その土台になるのが読書。読書の土台になるのが図書館である。

○神戸常盤大学教授 中西 利恵 氏

- ・ この連絡会に参加して3年目。毎回、報告の内容が濃く、ここまで取組が進んでいるのかと逆に勉強させてもらっている。
- ・ [資料8]の各区での取組の要望や課題が気になる。例えば、ボランティアの高齢化や人材不足、高学年の読書離れ、読む子と読まない子の二極化など。勤務先の大学が神戸市にあり、神戸市の小学校でボランティアと活動し、大学生も一緒に読み聞かせに行っている。神戸の場合もボランティアが高齢化していて、70代80代の方もおられるが、皆さんお元気。ボランティアの確保という点では、10年、15年前にはPTAと連携し、保護者の方が年に1・2回読み聞かせに参加していたが、今はPTA自体が弱体化し、低学年のうち1・2回参加できても、中学年からは仕事に復帰されたりして、なかなか確保が難しい。
- ・ 私が関わる小学校では、毎年ボランティアの方が年度初めに担任に「どの時期にどんな絵本を読んでほしいですか」とアンケートをとっている。平和学習、修学旅行の事前学習など、授業に合わせた読み聞かせは効果的で、また授業の中で読むと、子どもたちも反応がよく集中して聞いている。
- ・ 本日の実践事例のように、週4日の主幹学校司書がいればここまでできる。多くの学校は1人の学校司書が複数校かけもちで、事務処理に追われて、子どもと向き合う時間が十分に取れない状況。POPや掲示物を作るだけでも時間がかかる。学校図書館ボランティアや先生と連携することが大切。
- ・ 高学年になり読書から離れていくのは、読書感想文等、勉強と紐づけて期待されることが多くなるのも一因だと思う。「読んでどうだった、どんな風感じた」とつい聞いてしまうが、保護者の方には「聞かないで」とよく言っている。「ああ、楽しかったね」でいい。行儀悪く聞いている子でも、しばらくたってから「先生、あれな」と思いだした頃に感想を言ってくれることもある。自分から話し出すまで待つてほしい。
- ・ こども家庭庁が「こどもまんなか社会」を打ち出している。この取組のうち、子どもの声を聴くというのがある。子どもの声を聴いて施策、取組に反映させる。自治体によっては子ども会議を開催して意見を

聴いている。会議に出る子は積極的に話せる子が多いが、そうでない子どもたちの声をどう聴くか。なかなか自分から声を発せられない、伝えられない子たちの声を聴くのに、アドボケート型という方法がある。子どもたちが自ら楽しめるように、まずは先生やボランティア自身が読み聞かせを楽しむこと、評価や対象年齢等にとらわれず、自分自身が楽しいと思うものを読んで、子どもたちと一緒に楽しむことが大切。

- 例えば、小学校1年生で『スイミー』を読む。絵本には対象年齢が書かれているが、とらわれる必要はない。実際、1年生に『スイミー』を読んだら「お魚の話だよ」との感想だが、6年生で読むと「これはリーダーシップの話だ」と捉えることもある。人によって、読む年齢によっても捉え方が違う。いろいろトライするとよい。
- 学校図書館の古い本は、捨ててほしい。苗代小学校の場合は、PTAから補助をもらって新しい本を買っていた。蔵書数の関係でなかなか捨てられないこともあるかと思うが、やはり入れ替えが必要。
- 読書感想文や課題図書等、負荷がかかると読書離れにつながると言った。さきほどの実践事例報告では読んだ後、読むことに興味を持つためにゲームやクイズを取り入れていた。木に花を貼っていったん満開にしていく、読んだことを可視化し、達成感が目に見える。そういう工夫が非常に大事で、それがまさに成果につながっている。
- 学校司書が週4日いることの効果を昨年に続き、実感した。前半の学校図書館活用推進事業の報告のうち、ホームページの紹介では、カテゴリに分けてたくさんの事例が掲載されていた。そういう情報提供が進められているので、マネできそうな取り組み内容を活用していくと良いと感じた。
- 主幹学校司書配置校の事例報告の中で、校長先生も絵本を借りるという姿勢(人的環境の良さ)だけでなく、図書室の環境づくりや図書室から教室へ出向く環境づくり等工夫していた。大学でも「とことこ本屋」のように、移動図書館を開設している。普通教室をフローリングの保育室のように、そこにブックトラックで絵本を持ち込むと、学生たちが座り込んで絵本を広げて読む。「図書館には借りに行かないのに」と思うが、いつまでたっても読んでいます。そういう物理的な環境整備も大切である。

○大阪市生涯学習推進員協議会 会長 嶋津 敏治 氏

- 報告を聞き、非常に熱心な活動に感心した。
- 多文化共生の地域づくりについては、生涯学習推進員には地域から選ばれた人がたくさんおり、町会長やはぐくみネットを兼ねている方もいる。多文化共生の地域づくりに向けたプログラムで、手作りの集会や講座をしていて、生涯学習ルームもある。こういう部分で協力できたらと思う。
- 生涯学習推進員はエルキューブという井戸端会議をやっており、多文化共生社会の防災に関するテーマも取り上げている。これから多文化共生の観点からも、人と人とのつながりを深め、地域が豊かになるようにみなさんと一緒に取り組んでいきたい。
- 先ほどの事例にあった「みみどく」や「とことこ本屋さん」などの取組を共有し、地域でも実施できたらと思った。実現できるかはわからないが、地域の推進員として考えていきたい。

○大阪市生涯学習推進員協議会 副会長 三好 浩美 氏

- 本が大好きで、学生時代は朝一番に学校に行って図書室で本を借りて、6時間目までかけて1冊本を読むというのを続けていた。最近の子どもたちの活字離れがすごく悲しい。なんでもスマートフォンをみればわかる時代。スマホで本も読める。図書室の本のにおいが好きなので、残念に思っている。

- ・ 中学校で学校元気アップコーディネータをしており、学校図書館のお手伝いもしている。週に1回配置されている学校司書が、とにかく図書室に足を運んでもらおうと工夫していて、明るい雰囲気をつくり、コミックや読みやすい本を置いて、最近は図書室が生徒でいっぱいということもあるようだ。
- ・ 児童いきいき放課後事業にも関わっている。いきいきの部屋に本を並べて、夏休みの朝9時半までは読書時間、平日も6時間目までは読書時間と決めて、とにかく本に触れてもらうようにしている。本が嫌いだからと図鑑ばかり見る子もいるが、中には本が好きになり遊ぶことも忘れて読んでいる子も出てきている。
- ・ 多様性については、近所にも外国の方がたくさん住んでいる。英語は喋れないが、あいさつしていると、外国の方はフレンドリーに話しかけてくれる。地域の行事や生涯学習の活動にもお誘いできたらと思っている。

○大阪市生涯学習推進員協議会 副会長 辻本 みゆき 氏

- ・ 本が好きでずっと長い間、読んでいるような子どもだった。今の親御さんたちにもなるべく本に触れてほしいと思っている。ブックスタートでも子育て支援に関わっている。
- ・ 小学校でも読み聞かせボランティアをしている。その中で、読み聞かせ講座を学校で開催している。マンション建設で子どもの数が増えている地域だが、読み聞かせボランティアは増えていない。その小学校で、9月から1週間ほど絵本展を開催している。市立図書館から本を借りて多目的室に並べ、各学年が1時間ずつゆっくりと本に触れるという活動である。休憩時間にはどの学年が来てもよいので、絵本展が始まると、休憩時間や昼休みに子どもたちが喜んで見に来ている。
- ・ 生涯学習に関しては、淀川区ではよどがわ河川敷フェスティバルというイベントを3年前から行っている。図書館から本を100冊位貸出してもらって、一日図書館という形で、河川敷で自由に読んでもらう。モンゴルの遊牧民住居・ゲルの中で読み聞かせをしたり、絵本展のコーナーを設けたり、自然の中で本を読むのは気持ちがいい。
- ・ やはり本に触れるのが本を好きになる第一歩であり、そこに少しでも寄与できたらいいと思う。今日の発表を聞いて、読書に関わっているいろんなことをされているところがたくさんあり、学ぶことが多かった。それらを取り入れて今後の活動に活かしていきたい。

○大阪市 PTA 協議会 研修委員長 片上 記世美 氏 (※)

- ・ 各区や図書館で、さまざまな工夫を凝らして活動されているのだと感服した。なかでも多文化共生については、どこの区でも注視されているのだと感じた。
- ・ 多文化共生に対応できるスタッフが不足しているのでは、と心配になった。少し前までは日本で暮らす外国の方は裕福で優秀な方が多いイメージだったが、最近は母国語しかわからない、発達障害を持つ子どもが増えてきていて、学校園でもスタッフ不足が問題となっていると聞いている。
- ・ 子ども達の読書習慣の減少については、前回は発言したが、夏休みの読書感想文の提出が必須となっていないのが残念に思っている。私が子どもの頃は、夏休みには読書が必須だったのでそこから本の楽しさを発見する子もたくさん居たように思う。
- ・ 調べ物をするのに図書館を利用していたが、データ更新がネットのスピードには勝てないので、違うアプローチが必要なのかと思う。
- ・ 小学生や中学生の話だが、友達と映画を観に行ったり、話題にあがるようなので、映画の公開日に合

わせて本を用意することが可能ならば、映画を観に行けない子も本からストーリーや登場人物など情報を仕入れて、友だちとの会話がより楽しくなったり、本を手取るきっかけになれば良いかと思う。

○大阪市 PTA 協議会 広報情報推進委員長 砥石 幸治 氏 (※)

読書の目的としては、知識を得る事にあると思うが、現代はその手段として紙媒体の本を読むこと以外にタブレット・SNS 等の様々なデジタル媒体が身の回りに多く存在する。デジタル媒体の場合は知りたい知識・情報に瞬時にダイレクトにたどり着く為、紙媒体の読書よりも手軽であるのが現状だと感じる。事実、現代の若者や子供達はかなり知識量や発想が豊富で、自身の当時と比べても明らかである。当該資料の中の読書率というものが高いか低いかは判別するのは難しいが、知識量が増大している点に於いては、現代は肯定的に捉えて良いと思う。

読書のもう一つの目的としては文字のみの媒体故に、想像力・思考力を高める事ができると思うが、この点はデジタルツールではすぐに結論に到達する為、補えない部分であると思う。さらにより知識を深める場合には、やはり紙媒体の本を深く読む事が必要な為、この点を多くの人に理解し、広めて頂きたい。

※当日参加できなかった方からは、後日書面にてご助言いただきました

■質疑応答

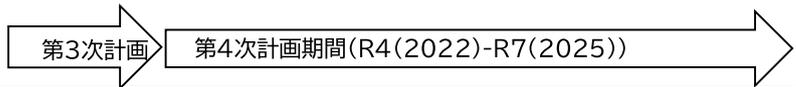
質問(各区代表):

大変素晴らしい発表や報告を聞かせていただいた。学校司書のことでお聞きしたい。令和5年度から 25 学級以上の 11 校に学校司書が週 2 回配置された。去年も報告を聞いて、司書が週4回入っているところと週1回とは全然子どもたちの読書環境が違うとすごく感じた。今回もそれを感じ、少しでも配置が増えるよう願っている。予算がないと昨年もお聞きしたが、少しずつでも増えているのが大変嬉しい。この先どうなるのか聞きたい。

事務局(地域サービス担当課長):

学校司書については、令和5年から大規模校 11 校で週1日加配した。25 学級以上の学校では、学校司書が週 1 回で 6 時間あっても、月に最大 24 回しか授業に入れない。学校規模によって差が大きく、効果検証にも差し障るということがあり、25 学級以上は何とか加配の措置をし、今年度も継続している。本日の報告にもあったように、週 4 日配置すればかなりのことができるのは承知している。学校司書配置からまだ3年目で、成果が見えるところ、見えないところがあり、出てきた成果、好事例をどう広めていくか現在取り組んでいる。現行の体制でできることをしっかりやった上で、配置のあり方については引き続き考えていきたい。

令和5年度「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」の実施状況(取組目標・指標)



取組目標・指標	各年度実績値				令和7年度 目標値	
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度		
「学校の授業時間以外に普段(月曜日から金曜日)1日当たりどれくらいの時間読書をしますか(教科書や参考書 漫画や雑誌は除く)」に対して「読書を全くしない」と回答する児童・生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小	29.9% [参考:全国平均 24.0%]	32.5% [参考:全国平均 26.3%]	30.5% [参考:全国平均 24.5%]	【全国学力・学習状況調査】より項目削除のため、指標変更予定	23.5%
	中	49.1% [参考:全国平均 37.4%]	51.1% [参考:全国平均 39.0%]	48.4% [参考:全国平均 36.8%]	【全国学力・学習状況調査】より項目削除のため、指標変更予定	44.0%
「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合【小学校学力経年調査】		72.5% (令和2年度実績)	74.5%	74.0%		76.5%
学校図書館貸出冊数 (児童生徒1人当たり年間貸出冊数)	小	29冊 (令和元年度実績)	32冊	32.2冊		38冊
	中	3冊 (令和元年度実績)	2.8冊	2.7冊		6冊
「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して「月に数回程度以上」と回答する学校の割合【小学校学力経年調査】		69.7% (令和2年度実績)	69.8%	69.6%		80.0%
市立図書館児童書の貸出冊数		2,716,230冊	3,327,318冊	3,222,665冊		300万冊
市立図書館7-12歳(小)、13-15歳(中)の利用者数	小	15,815名	18,106名	17,707名		16,800名
	中	4,386名	4,405名	4,208名		4,800名
子育て支援施設等への配本回数		426回	439回	439回		430回
市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数		84,499冊	97,341冊	82,348冊		10万冊
市立図書館「こどものページ」「ティーンズのページ」アクセス数		26,767件	30,692件	20,675件		28,000件
読書活動支援ボランティア数		2,380名	2,478名	2,509名		2,500名
市立図書館と区役所等との連携事業回数		946回	1,576回	1,659回		1,200回
子どもの読書活動推進 連絡会(全市、区)		年1回以上	年1回以上	年1回以上		年1回以上

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和5年度実施状況および令和6年度計画

取組	取組内容(令和4年度～令和7年度)	担当	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	
1 子どもの読書環境の整備・充実					
(1) 家庭・地域を中心とした読書活動の推進					
① 乳幼児期における読書活動の推進					
1(1)①	子育て支援施設でのブックスタート事業の実施	乳幼児健診時の読み聞かせ等ブックスタート事業啓発の推進	区役所・こども青少年局・市立図書館	全区でブックスタート事業の実施	継続実施
		ブックスタートボランティア講座の実施	区役所・こども青少年局・市立図書館	ブックスタートボランティア講座の実施	継続実施
		ブックスタートボランティア講座の実施への支援	区役所・こども青少年局・市立図書館	乳幼児向け絵本リスト提供およびブックスタート用絵本の貸出	継続実施
	子育て支援施設での読書活動の推進	施設での絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	こども青少年局・市立図書館	子育て支援施設での絵本など図書の設置 子育て支援施設と市立図書館との連携による読書活動の実施	継続実施
		施設職員への情報提供	こども青少年局・市立図書館	各施設への図書館だよりや行事チラシ等配布による情報提供	継続実施
	保護者を中心とした大人への啓発	保護者対象の読み聞かせ講座の実施	区役所・市立図書館・生涯学習部	保護者に向けた絵本をテーマとする参加型・体験型講座の実施、9館12講座	継続実施
		保護者当を対象とした情報提供	区役所・市立図書館・生涯学習部	各施設への図書館だよりや行事チラシ等設置による情報提供 「親力アップサイト」による情報提供 アクセス数: 4,476件	各施設への図書館だよりや行事チラシ等設置による情報提供 「親力アップサイト」による情報提供 アクセス数 目標値: 5,700件(R7(2025)年度)
	市立図書館全館の子育て支援情報コーナーの充実	区役所、幼稚園、保育所、子育て支援施設等の子育てに役立つ情報の提供	市立図書館	全館で子育て支援コーナーで継続設置	継続実施
		区役所の子育て支援広報紙・「子育て支援施設」の行事案内等の配布	市立図書館	子育て支援コーナー等での子育て支援関連広報設置	継続実施
	② 就学前施設における読書活動の推進				
1(1)②	幼稚園、保育所、認定こども園等就学前施設での読書活動の推進	絵本など図書の設置・読み聞かせの実施など読書環境の整備	指導部・こども青少年局・市立図書館	保育所、幼稚園等での絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言 [効果]幼稚園での、絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言により、幼児の絵本への興味や関心が高まる。 読み聞かせ、配本等、市立図書館との連携による読書活動の状況把握により、現状に対する指導につながる。	幼稚園での、絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言 読み聞かせ、配本等、市立図書館との連携による読書活動の状況把握 保育所、幼稚園等での絵本など図書の設置、読書環境が充実するための指導・助言
		保護者への情報提供	指導部・こども青少年局・市立図書館	各施設への行事チラシや絵本リスト配布による情報提供	継続実施
		教職員・保育士への情報提供・研修実施	指導部・こども青少年局・市立図書館	保育・幼児教育センターでの研修実施、絵本など図書の設置	継続実施

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和5年度実施状況および令和6年度計画

取組		取組内容(令和4年度～令和7年度)	担当	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画
(2) 学校における読書活動の推進					
1(2)	学校図書館の環境整備	大阪市図書標準の全小中学校での維持	学校・市立図書館	全校100%達成を維持	全校100%達成を維持
		調べ学習に役立つ蔵書の充実	学校・市立図書館	蔵書構成の充実に向けた取組を実施	継続実施
		学校司書の配置	学校・市立図書館	全小中学校及び義務教育学校に学校司書を配置 うち、24校には週4日30時間1校専任の主幹学校司書を配置。また、25学級以上の大規模校11校に1日加配。それ以外は、週1日6時間で一人の学校司書が2～3校を兼任する。	継続実施
(3) 市立図書館における読書活動の推進					
① 図書館利用者へのサービス					
1(3)①	蔵書の充実	蔵書の豊富化	市立図書館	市立図書館児童書蔵書冊数1,002,143冊	継続実施
		調べ学習用図書の充実	市立図書館	調べ学習支援等の児童図書を継続整備(購入受入:413冊 前年度比15.0%減)	継続実施
		子どもたちに親しまれる絵本や読み物の購入・更新	市立図書館	市立図書館児童書年間購入冊数31,388冊	継続実施
		ふるさと寄附金の活用による児童図書整備	市立図書館	505,000円(前年比95.3%減)	ふるさと寄附金の募集広報
	親しみやすく利用しやすい館内づくり	館内サインや掲示物等の見直し	市立図書館	わかりやすい館内サイン、掲示の維持	継続実施
		図書展示の工夫	市立図書館	子ども向け図書展示の全館実施	継続実施
		読書相談の広報ポスター作成・掲示	市立図書館	読書相談の広報ポスター作成・掲示	継続実施
	地域資料・地域の情報の収集・発信	「としょかんポイントプログラム」での大阪の歴史や文化にふれるクイズの実施	市立図書館	「としょかんポイントクイズ」3回実施	継続実施
	ICTの活用	商用データベースや電子書籍など子どもが利用できる電子図書館機能の活用推進	市立図書館	市立図書館ホームページや商用データベース、電子書籍等を活用した「としょかんポイントクイズ」3回実施	継続実施
		電子書籍サービスで提供している英文児童書の活用推進	市立図書館	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供	継続実施
	乳幼児向けサービス	乳幼児向け催しの実施	市立図書館	全館で実施	継続実施
		乳幼児の保護者などに向けた絵本をテーマとする展示の充実	市立図書館	全館で実施	継続実施

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和5年度実施状況および令和6年度計画

取組		取組内容(令和4年度～令和7年度)	担当	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画
13 1(3)①	小学生に向けたサービス	小学校高学年向けの行事等の充実	市立図書館	小学校高学年向け事業の全館実施	継続実施
		「としょかんポイントプログラム」での大阪の歴史や「こどものページ」「子どもにすすめる本」のページの充実	市立図書館	「こどものページ」アクセス件数13,244件、「子どもにすすめる本」アクセス件数14,390件	継続実施
		「としょかんポイントプログラム」実施による読書推進	市立図書館	としょかんポイントプログラム参加者数(15歳以下)3,325人(前年度比6.4%減)	継続実施
	中高生を中心とした若年層に向けたサービス	ティーンズ向けコーナーの利用促進	市立図書館	各種催しや企画展の開催、りんご通信の発行	継続実施
		ティーンズ向けコーナーの利用促進向けの催しや企画展の実施	市立図書館	ティーンズ層の利用を増やすための各種催しや企画展の開催	継続実施
		市立図書館Wi-Fi環境の利用促進	市立図書館	市立図書館Wi-Fi環境周知掲示	継続実施
		電子図書館機能の利用促進	市立図書館	「としょかんポイントクイズ」3回実施 職場体験での電子図書館機能案内	継続実施
		「ティーンズのページ」の充実	市立図書館	「ティーンズのページ」アクセス件数7,431件	継続実施
	障がいのある子どもへのサービス	子ども向けの点字図書、録音図書、LLブック、拡大図書(大活字本)、デイジー図書の提供充実	市立図書館	読書バリアフリー関連資料の購入	継続実施
		支援が必要な子どもや読書バリアフリー資料に関する広報・啓発	市立図書館	読書体験会、製作講習会など14回、参加者数194人、読書バリアフリー啓発展示2回	継続実施
	外国につながる子どもへのサービス	子ども向け外国語資料の充実および利用促進	市立図書館	子ども向け外国語資料の新規購入および利用促進のための図書展示	継続実施
		外国語の絵本等を活用した催しの実施	市立図書館	外国語の絵本等を活用した行事実施28回	継続実施
		外国につながる住民に向けた市立図書館サービス利用案内の継続	市立図書館	多言語による利用案内の提供	継続実施
		電子書籍の英文児童書リストの作成・提供	市立図書館	中高生むけ英文リーダータイトルリストや英文児童書リストの提供	継続実施
		外国語ページ・やさしいにほんごのページの充実	市立図書館	外国語(英語・中国語・韓国/朝鮮語)ページのアクセス件数3,887件(前年度比20.5%減)やさしいにほんごのページのアクセス件数15,128件(前年度比5.8%減)	継続実施
		学校等に向けた外国語資料の団体貸出についての周知・活用促進	市立図書館	外国語資料の団体貸出冊数56件、2,334冊	継続実施

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和5年度実施状況および令和6年度計画

取組		取組内容(令和4年度～令和7年度)	担当	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画
② 図書館外へのサービス(アウトリーチサービス)					
自動車文庫の運行、読書普及	自動車文庫の運行、読書普及	自動車文庫の運行、利用促進に向けた広報活動	市立図書館	自動車文庫車で1日当たりの児童書貸出冊数530冊(前年度比5.2%減) 各区広報紙での巡回日案内、友渕小学校でのまちかど号の紹介	継続実施
		ステーションでのおたのしみ会や図書の展示等、読書普及活動の実施	市立図書館	ステーションでのおはなし会2回実施	継続実施
幼稚園・保育所・子育て支援施設等との連携・支援	幼稚園・保育所・子育て支援施設等との連携・支援	市立図書館から幼稚園・保育所・子育て支援施設等への配本回数維持	市立図書館	子育て支援施設や幼稚園・保育所等への配本回数439回(前年度比増減無し)	継続実施
		幼稚園・保育所・子育て支援施設等での絵本の読み聞かせなど読書活動支援ボランティア派遣	市立図書館	ボランティア派遣回数1,527回(前年度比100回増)	継続実施
1(3)② 学校との連携・支援	学校との連携・支援	市立図書館から小・中学校への学校通送を利用した団体貸出の活用による調べ学習・一斉読書支援の周知	市立図書館	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布	継続実施
		市立図書館の図書やICTを活用した調べ学習に役立つガイド(中学校向け)の提供	市立図書館	電子書籍を活用したティーンズ向けのガイド提供	継続実施
		学校園における一部商用データベースの設置・周知	市立図書館	市立図書館活用の手引、市立全小中学校配布	継続実施
		大阪市の小中学校専用電子書籍ページ設置・周知	市立図書館	大阪市の小中学校専用電子書籍ページ設置・全小中学校への周知	継続実施
		「市立図書館活用の手引き」の全校配布	市立図書館	概要を作成して、SKIPポータル書庫に格納し、同連絡掲示板にて全校周知	継続実施
		ホームページ「学校支援のページ」の充実	市立図書館	「学校支援のページ」アクセス件数7,748件(前年度比13.6%減)	継続実施
		市立図書館見学、体験学習受入、おはなし会・ブックトークなどの実施	市立図書館	連携事業の実施数3,661件(前年度比18.5%増)	継続実施
		図書主任会への出席など、学校図書館の運営面への支援	市立図書館	図書館主任会への参加、図書リスト等の情報提供、学校図書館リニューアルや新設校への支援	継続実施
		小・中学校の学校図書館の選書支援	市立図書館	蔵書構成の充実に向けた取組のための選書リストの提供、新刊案内を毎月発行、大阪市学校図書館基本図書リストの作成	継続実施
		読書活動支援ボランティアとの連携・協力	読書活動支援ボランティアとの連携・協力	幼児期読書活動支援ボランティア養成講座の実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア
	ボランティアステップアップ講座の実施		市立図書館・読書活動支援ボランティア	ステップアップ講座3回実施	継続実施

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和5年度実施状況および令和6年度計画

取組		取組内容(令和4年度～令和7年度)	担当	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画
1(3)②	読書活動支援ボランティアとの連携・協力	すべての区で交流会や情報交換会を実施	市立図書館・読書活動支援ボランティア	交流会や情報交換会の実施	継続実施
		ボランティアページの充実、利用促進	市立図書館・読書活動支援ボランティア	「ボランティアページ」アクセス件数5,394件(前年度比8.1%減)	継続実施
		一人一人の子どもの多様性に応じた対応についての情報提供	市立図書館・読書活動支援ボランティア	発達段階に応じた図書リストの提供、多言語による「いろんなことばのおはなし会」実施	継続実施
2 子どもの読書活動に関する普及・啓発					
(1) 普及・啓発事業					
2(1)	子ども読書の日記念事業	市立図書館全館で子ども読書の日記念事業の実施	市立図書館	市立図書館全館で実施 総参加者数648人	継続実施
	大阪市図書館フェスティバル	市立図書館全館で大阪市図書館フェスティバルの実施	市立図書館	市立図書館全館で実施(10/21-11/26) 総参加者数3,761人	継続実施
	One Book One OSAKA	読書活動支援ボランティアを中心として市立図書館、大阪府立中央図書館との協働による「One Book One OSAKA」の実施	読書活動支援ボランティア・市立図書館・大阪府立中央図書館等	第9回One Book One OSAKA投票実施	第9回One Bookの発表・投票結果の周知
		One Book One OSAKA関連イベント等読書普及活動の実施	読書活動支援ボランティア・市立図書館・大阪府立中央図書館等	各図書館や連携先での関連展示の実施	継続実施
	こどものほんだな	こどものほんだな作成・配布	市立図書館	「こどものほんだな2023」作成、配布	継続実施
		こどものほんだなりストのオープンデータ公開	市立図書館	データセットを公開 大阪市LINEアカウントで「こどものほんだな」コンテンツを継続発信	継続実施
(2) 効果的な広報					
2(2)	紙媒体による広報活動	「子どものためのイベント+施設ガイド『タッチ』」の発行、市内全小学生への配布	生涯学習部・市立図書館	7月と3月の年2回 各20万部発行	7月と3月の年2回配布
		大阪生生涯学習情報誌「いちよう並木」への市立図書館の情報掲載	生涯学習部・市立図書館	毎月10日 2万5千部発刊	毎月号に掲出
		各区広報紙への情報提供	市立図書館	市立図書館全館で実施	継続実施
	ホームページを活用した広報活動	市立図書館ホームページ内容の豊富化	市立図書館	「こどものページ」、「子どもにすすめる本」、「ティーンズのページ」定期更新	継続実施
		市立図書館「新着おしらせメール」の周知など活用促進・いちようネットでの情報発信	市立図書館	子ども向け行事等の情報発信	継続実施
	SNSを使った情報発信	Twitter・Facebook等SNSを使った情報発信	市立図書館	X(旧Twitter)発信件数901件(前年度比1.0%減)、Facebook発信件数134件(前年度比252.8%増)	継続実施

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和5年度実施状況および令和6年度計画

取組	取組内容(令和4年度～令和7年度)	担当	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	
3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大					
(1) 区役所や地域施設を核とした家庭・地域・市立図書館の連携協力					
3(1)	子育て支援施設でのブックスタート事業の実施	実施施設と市立図書館の連携・協力	区役所・こども青少年局・市立図書館	ブックスタートの実施	継続実施
	区役所・子育て支援施設・市立図書館の連携・協力	子どもの読書や施設の読書活動に関する情報提供	区役所・こども青少年局・市立図書館	読書普及行事等の情報提供	継続実施
		子育て支援事業等、区における子供の読書活動の取組での連携・協力	区役所・こども青少年局・市立図書館	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施(資料7参照)	継続実施
		市立図書館と連携・協力した読書普及・啓発活動の実施	区役所・こども青少年局・市立図書館	区や地域施設との連携による読書普及活動の実施	継続実施
		区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置	区役所・こども青少年局・市立図書館	区役所や地域施設の待合スペースへの絵本や子ども向けの図書設置	継続実施
		生涯学習関係事業での連携・協力	生涯学習施設での読書活動支援の催し等の実施	生涯学習部・市立図書館	市民学習センター等でのネットワーク型市民セミナー「図書ボランティア入門講座」など全3回講座ほか、連携・協力の実施
	市立図書館と連携・協力した生涯学習事業の実施		生涯学習部・市立図書館	「子どもと保護者でいっしょに学ぶ読書感想文講座」の実施。子育ての悩みや不安が解消・軽減したと回答する割合:100%	「子どもと保護者でいっしょに学ぶ読書感想文の書き方」の実施。事業参加者のうち、子育ての悩みや不安が解消・軽減したと回答する割合 目標値:80%(R7(2025)年度)
	地域の企業や団体・機関との連携	市立図書館と地域の企業や大学・団体・機関等との連携による子どもの読書活動の実施	市立図書館	プロサッカーチームセレッソ大阪と連携した「読書推進プロジェクト」や、One Book One SAKA協賛企業との連携イベントの実施	継続実施
	「こども本の森中之島」での読書活動推進	「こども本の森中之島」での絵本など図書の設置・読み聞かせ等の催しの実施など読書環境の整備	経済戦略局	本の森おはなしかいとして、スタッフにより読み聞かせを年248回、こども5,142人、大人4,523人に行った。その他、自主事業として季節毎の事業を多数行った。蔵書として20,903冊所蔵。	・コロナ禍を脱し日常を取り戻す中、子ども達に多くの芸術文化に触れる機会を与え、子どもの想像力や好奇心を育む施設として、今まで以上に来館いただけるよう集客を推進する。 ・地域貢献として地域住民との連携によりボランティア活動を継続するとともに、新たな取り組みとして「本の森先生」を発足し、子ども達に向けてのイベントの企画・講師などを行う。 ・「EXPO2025大阪・関西万博」の開催に向けて、中之島近隣施設との連携強化に加え、地域経済の活性化・異文化交流など、積極的に実施できるよう推進する。

「第4次大阪市子ども読書活動推進計画」各取組の令和5年度実施状況および令和6年度計画

取組		取組内容(令和4年度～令和7年度)	担当	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画
(2) 学校を核とした家庭・地域・市立図書館の連携・協力					
3(2)	小学校区のはぐくみネット事業、中学校区元気アップ地域本部事業等における読書活動の連携・協力	ボランティアに対する支援	学校・区役所・生涯学習部・指導部・市立図書館	はぐくみネットと学校元気アップの合同実践報告会で、はぐくみネットの「読み聞かせ」活動の事例を報告。全市では、人材育成や学校との連携が共通の課題	継続実施
	児童いきいき放課後事業における連携・協力	児童いきいき放課後事業における読書活動への支援での連携・協力	学校・子ども青少年局・教育委員会事務局・区役所・市立図書館	いきいき活動における学校図書館の活用の推進及び中央図書館からおすすめ本リストの提供をうけ図書購入を行うなど、いきいき活動室の読書環境充実にむけた取組を実施した。学校図書館の活用の推進	引き続き、いきいき活動における学校図書館の活用の推進及び中央図書館からおすすめ本リストの提供をうけ図書購入を行うなど、いきいき活動室の読書環境充実に取組を実施する。
	学校図書館を活用した読書活動支援	図書ボランティア講座の実施	学校・指導部・市立図書館	学校図書館ボランティア講座実施回数24回	学校図書館支援ボランティアの支援、学校図書館支援ボランティアに対する講座の実施
		ボランティアによるおはなし会の開催や情報共有など連携の強化	学校・指導部・市立図書館	読書活動支援ボランティアによるおはなし会の開催 学校図書館活用状況調査結果の共有	継続実施
(3) 地域・市民を軸とした読書活動の輪の形成					
3(3)	子どもの読書を支える施設・団体のネットワークづくり	子どもの読書活動推進連絡会の実施	市立図書館・生涯学習部・子ども青少年局・区役所等	「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」を8/29に開催、全区で「子どもの読書活動推進連絡会」を開催(集合または書面形式)	継続実施

子どものためのイベント+施設ガイド



タッチ

touch



令和6(2024)年7月10日～8月31日



タッチの情報の探し方

《ジャンルで探す》 イベント情報はジャンルごとにわかれて載っています。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 自然・科学にタッチ……………2 | その他イベントにタッチ……………11 |
| 暮らし・環境・スポーツにタッチ……………3 | 問合せ・申込み先一覧……………13・14 |
| 歴史・文化にタッチ……………5 | キッズプラザ大阪のイベント……………15 |
| 絵画・工作・英語・音楽にタッチ……………6 | 図書館のイベントにタッチ……………16・17 |
| 映画・舞台・コンサートにタッチ……………10 | 施設情報……………18～23 |

《場所を探す》 13・14ページの「問合せ・申込み先一覧」で、各施設などの「掲載イベント番号」をみてね。

学校のことや友だちのことで悩みがある人は相談してね！

中央子ども相談センター	電話教育相談 子ども専用	TEL 4301-3140 FAX 6944-2064	月～金 9:00～19:00 (祝日・年末年始を除く)
	電話教育相談 保護者専用	TEL 4301-3141 FAX 6944-2064	月～金 9:00～19:00 (祝日・年末年始を除く)
	メール 教育相談	24時間対応 不登校やいじめなど教育にかかわる相談について「大阪市行政オンラインシステム」による相談を実施しています。 大阪市子ども青少年局ホームページから、「メール教育相談」のボタンをクリックしてください。	相談の返答は5日程度 かかります (土・日・祝日・年末年始を除く)
24時間子どもSOSダイヤル	なやみあう TEL 0120-0-78310	年中無休 24時間対応 ※一部のIP電話からはつながりませんので、電話教育相談にかけてください。	

子育て
家庭を
応援する

親力アップサイト

ご存じ
ですか？



親力アップサイトには、子育てに役立つ情報がたくさん載っています！

新着情報	もうすぐ受付開始、現在募集中の講座の情報等が載っています。
コラム集	さまざまなテーマについてのコラムを掲載しています。 「働きながら子育てをするあなたにエールを」「ハッピーをかなえるスマホ～子どもが安全にスマホと付き合うには」など
過去の講座の様子	これまで実施した講座の様子を紹介しています。 「子どもの能力を伸ばすほめ方、叱り方のコツ」「親子で学ぼう！読書感想文講座」など
おうちでお手軽講座	自宅のパソコンやスマートフォンなどで気軽に学ぶことができます。 「発達に気になる子どものママ・パパへ」「子どもを伸ばす声のかけ方」など
子育てに関する相談窓口	子育てや教育に関する相談などの窓口を紹介しています。

親力アップサイト <https://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000121316.html>
お問い合わせ：大阪市教育委員会事務局生涯学習担当 TEL 06-6539-3348 FAX 06-6532-8520

タッチ

についての
お問い合わせ

- ▶ 大阪市教育委員会 生涯学習担当
〒550-0014 大阪市西区北堀江4-3-2 市立中央図書館4階 TEL 6539-3345 FAX 6532-8520
- ▶ 大阪市立総合生涯学習センター(指定管理者：大阪教育文化振興財団・SPS共同事業体)
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 TEL 6345-5020 FAX 6345-5019

図書館のイベントにタッチ

中央図書館 TEL 06-6539-3301 FAX 06-6539-3335
 〓 Osaka Metro「西長堀」

まじょ魔法のわくわく絵本塾「そうだ村のクリームソーダを作ろう」
 〓 8/7(水) 13:00～15:00
 〓 中央図書館 5階 会議室 ¥ 500円
 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 30名(先着順) 〓 電話、来館
 〓 7/31(水)
 【7/17(水) 9:15から申込受付開始】



北図書館 TEL 06-6375-0410 FAX 06-6371-3177
 〓 Osaka Metro「天神橋筋六丁目」、
 〓 大阪シティバス「天神橋八丁目」

Let's インテリア！ケーキ箱に自分のお部屋をつくってみよう！
 〓 8/9(金) 10:30～12:30
 〓 北図書館 2階 読書室 ¥ 無料
 〓 小学生と保護者
 〓 10組(先着順) 〓 電話、来館
 〓 8/8(木) 19:00
 【7/10(水) 10:00から申込受付開始】



都島図書館 TEL 06-6354-3229 FAX 06-6354-7822
 〓 大阪シティバス「都島区役所前」

えほんのじかん
 〓 7/17～8/21の毎週水曜日 15:30～16:00
 〓 都島図書館 絵本コーナー ¥ 無料
 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 各日25名(当日先着順)



福島図書館 TEL 06-6468-2336 FAX 06-6468-5191
 〓 Osaka Metro「野田阪神」、JR「野田」、
 〓 大阪シティバス「福島区役所前」

夏休み環境工作教室 ペットボトルで貯金箱をつくろう！
 〓 8/23(金) 10:15～11:30
 〓 福島区民センター 会議室 ¥ 無料
 〓 小学生、幼児(5才以上) ※幼児は保護者同伴
 〓 20名(先着順) 〓 電話、来館
 〓 定員に達するまで
 【8/3(土) 10:00から申込受付開始】



此花図書館 TEL 06-6463-3463 FAX 06-6463-9688
 〓 阪神「千鳥橋」、大阪シティバス「千鳥橋」

おはなしたまごのおたのしみ会
 〓 7/31(水) 10:30～11:30
 〓 此花区老人福祉センター 大広間
 ¥ 無料 〓 どなたでも
 〓 30名(先着順) 〓 電話、来館
 〓 定員に達するまで
 【7/17(水) 11:00から申込受付開始】
 ※申込先: 此花区老人福祉センター
 TEL 06-6463-3464



島之内図書館 TEL 06-6211-3645 FAX 06-6212-5449
 〓 Osaka Metro「長堀橋」

おたのしみ会
 〓 7/17～8/21の毎週水曜日 15:30～16:00
 〓 島之内図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 各日10組(当日先着順)



港図書館 TEL 06-6576-2346 FAX 06-6571-7915
 〓 Osaka Metro「JR「弁天町」」

夏のこども会
 〓 7/20(土) 10:30～11:30
 〓 港図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 35名(当日先着順)



大正図書館 TEL 06-6552-1116 FAX 06-6551-9362
 〓 大阪シティバス「大正区役所前」

夏休み「月ようおはなし会」
 〓 7/22、29、8/5、19(月) 16:00～16:30
 〓 大正図書館 おはなしの部屋 ¥ 無料
 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 各日10名(先着順) 〓 来館
 〓 定員に達するまで



天王寺図書館 TEL 06-6771-2840 FAX 06-6771-3801
 〓 Osaka Metro「谷町九丁目」、
 〓 近鉄「大阪上本町」、
 〓 大阪シティバス「上本町八丁目」

ぼちぼちのおはなし会
 〓 7/27(土) 15:00～15:30
 〓 天王寺図書館 2階 集会室 ¥ 無料
 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 30名(当日先着順)



浪速図書館 TEL 06-6632-4946 FAX 06-6632-4973
 〓 Osaka Metro「大町町」

岡田よしとか絵本ライブ&ワークショップ
 〓 7/28(日)
 〓 絵本ライブ 14:00～14:40
 〓 ワークショップ 14:50～16:00
 〓 浪速図書館 会議室 ¥ 無料
 〓 どなたでも
 〓 絵本ライブ 30名(当日先着順)、
 〓 ワークショップ 15名(先着順・要申込)
 〓 電話、来館 〓 7/27(土) 17:00



西淀川図書館 TEL 06-6474-7900 FAX 06-0677-0463
 〓 JR「御幣島」、大阪シティバス「御幣島駅」

夏休み工作教室「ちよきんぼをつくろう！」
 〓 8/18(日) 10:30～12:00
 〓 西淀川図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 小学生 〓 15名(先着順)
 〓 電話、来館
 〓 8/17(土) 17:00
 【7/11(木) 10:00から申込受付開始】



淀川図書館 TEL 06-6305-2346 FAX 06-6305-9129
 〓 阪急「十三」、大阪シティバス「十三」

あっちゃんまりっぺのにんぎょうげき
 〓 7/21(日) 11:00～11:45
 〓 淀川図書館 2階 集会室 ¥ 無料
 〓 どなたでも 〓 30名(先着順)
 〓 電話、来館
 〓 7/20(土) 17:00



東淀川図書館 TEL 06-6323-5476 FAX 06-6323-1738
 〓 阪急「淡路」、大阪シティバス「東淡路一丁目」

「とことこ」のかみしばいの時間
 〓 7/20(土) 14:00～14:30
 〓 東淀川図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 20名(当日先着順)



東成図書館 TEL 06-6972-0727 FAX 06-6972-0278
 〓 Osaka Metro「今里」、
 〓 大阪シティバス「地下鉄今里」

おはなしの会(第4土曜日)
 〓 7/27(土) 14:00～14:30
 〓 東成図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 どなたでも 〓 40名(当日先着順)



生野図書館 TEL 06-6717-2381 FAX 06-6717-3119
 〓 大阪シティバス「いまざとライナー」「大池橋」

夏休み工作教室 エコバッグをつくろう！
 〓 7/27(土) 10:30～12:00
 〓 生野図書館 会議室 ¥ 無料
 〓 幼児～小学生の子どもと保護者
 〓 ※小学3年生以下は保護者同伴
 〓 20名(先着順) 〓 電話、来館
 〓 定員に達するまで



旭図書館 TEL 06-6955-0307 FAX 06-6955-0287
 〓 Osaka Metro「千林大宮」、
 〓 JR「城北公園通」、京阪「森小路」、
 〓 大阪シティバス「旭区役所」「旭区民センター」、
 〓 あさひあつたかバス「旭区民センター」

おはなしらんの夏のたのしみ会
 〓 7/28(日) 11:00～11:45
 〓 旭図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 どなたでも
 〓 30名(当日先着順)



城東図書館 TEL 06-6933-0350 FAX 06-6933-0351
 〓 Osaka Metro「蒲生四丁目」、
 〓 JR「JR野江」、京阪「野江」

夏のこども会
 〓 8/4(日) 14:00～14:40
 〓 城東図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 どなたでも(子ども向け)
 〓 24名(先着順) 〓 電話、来館
 〓 8/3(土) 17:00
 【7/13(土) 10:00から申込受付開始】



鶴見図書館 TEL 06-6913-0772 FAX 06-6913-3975
 〓 Osaka Metro「横堤」、
 〓 大阪シティバス「地下鉄横堤」「鶴見区役所前」

でんでんむしの夏のこわーい楽しいおはなし会
 〓 7/21(日) 11:00～11:40
 〓 鶴見図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 小学生以上
 〓 35名(当日先着順)



阿倍野図書館 TEL 06-6656-1009 FAX 06-6656-1043
 〓 Osaka Metro「阿倍野」、
 〓 大阪シティバス「阿倍野筋四丁目」

リサイクル工作教室「牛乳パックでエコハウスをつくろう」
 〓 8/2(金) 14:00～16:00
 〓 阿倍野図書館 多目的室 ¥ 400円
 〓 小学生と保護者
 〓 20組(先着順) 〓 電話、来館
 〓 8/1(木) 17:00
 【7/6(土) 10:00から申込受付開始】



住之江図書館 TEL 06-6683-2788 FAX 06-6683-8840
 〓 Osaka Metro「住之江公園」、
 〓 大阪シティバス「新北島一丁目」
 〓 「南加賀屋四丁目」

ケーキ箱に自分のお部屋をつくってみよう！
 〓 8/6(火) 10:00～12:00
 〓 住之江会館 2階 大会議室 ¥ 無料
 〓 小学生と保護者 〓 15組(先着順)
 〓 電話、来館 〓 8/5(月) 17:00



住吉図書館 TEL 06-6606-4946 FAX 06-6606-6987
 〓 JR「我孫子町」、南海「沢ノ町」

どんぐり工作教室
 〓 8/4(日) 14:00～16:00
 〓 住吉図書館 多目的室 ¥ 無料
 〓 小学生以上の子ども
 〓 ※小学生未満は保護者同伴
 〓 20名(先着順) 〓 電話、来館
 〓 8/3(土) 17:00
 【7/21(日) 10:00から申込受付開始】



東住吉図書館 TEL 06-6699-7000 FAX 06-6699-3222
 〓 Osaka Metro「駒川中野」、
 〓 大阪シティバス「東住吉区役所前」

おはなし会
 〓 7/20(土) 14:00～14:30
 〓 東住吉図書館 絵本コーナー ¥ 無料
 〓 どなたでも
 〓 20名(当日先着順)



平野図書館 TEL 06-6793-0881 FAX 06-6791-5038
 〓 Osaka Metro「平野」、JR「加美」「平野」、
 〓 大阪シティバス「平野東一丁目(西)」
 〓 「平野公園前」

こども連歌の会
 〓 7/31(水) 14:00～16:00
 〓 平野図書館 1階 エントランスホール
 ¥ 無料 〓 小・中学生
 〓 30名(当日先着順)



西成図書館 TEL 06-6659-2346 FAX 06-6659-8599
 〓 Osaka Metro「岸里」

夏の特別版 おたのしみ会
 〓 7/23(火) 11:00～11:45
 〓 西成区民センター 会議室2-1
 ¥ 無料 〓 小学生、幼児と保護者
 〓 20名(当日先着順)



おとなも子どもも参加できます **7/19金～11/30日**

としょかんポイント

各図書館のカウンターで エントリーしてください。




19

R6.9.3 中央図書館・学校図書館支援グループ

「学校図書館活用推進事業」について

「学校図書館活用推進事業」は、平成 27 年度から、学校図書館補助員等の配置や学校図書館の蔵書の充実に向けた取組を行い、明るく、使いやすい学校図書館へと環境改善されてきた。令和 4 年度からは、整備された学校図書館を活用した教育活動の充実に向けて、学校図書館補助員にかえて、学校司書等を配置している。

事務局機能は、中央図書館地域サービス担当学校図書館支援グループが担い、教育委員会事務局指導部ほか関係部署間での総合調整機能を担う「学校図書館活用推進ワーキンググループ」において、事業の進捗管理を行っている。

さらに、区役所と連携し、学校司書配置計画の策定やボランティア募集などを進めている。

令和 5 年度 事業実施体制

事務局・中央図書館・地域サービス担当（学校図書館支援グループ）

地域サービス担当課長、地域サービス担当課長代理、担当係長、司書
事務職員（会計年度任用職員）

総括指導主事(兼任・指導部総括指導主事)

担当係長(兼任・生涯学習部担当係長)

学校図書館コーディネーター（会計年度任用職員） 各教育ブロックに 1 名（計 4 名）

学校司書（162 名 2～3 校兼任）

主幹学校司書（24 名 1 校専任）（いずれも会計年度任用職員）

令和 5 年度の主な取組み

●学校司書の配置

学校司書を全小中学校及び義務教育学校に配置し、選書等の蔵書管理や、調べ学習支援、学校図書館の環境整備等に従事している。1 人の学校司書が 2～3 校兼任し、各校週 1 回 6 時間勤務している。令和 5 年度からは、25 学級以上の学校 11 校に 1 日加配した。これら 11 校には、同じ学校司書が週 2 回 12 時間勤務している。また、24 校（田島南小中一貫校を含む）には、1 校専任で、週 4 日 30 時間勤務の主幹学校司書を配置した。主幹学校司書は、学校図書館運営業務ほか、業務で得られた実践事例やノウハウを他の学校と共有し、他の学校の学校図書館の改善につなげる役割も担っている。

また、「学校図書館コーディネーター」を中央図書館に 4 名配置し、学校司書の支援や学校図書館活用事例の収集・周知などを行っている。

●蔵書構成充実に向けた取組

指導部と学校運営支援センター、中央図書館の連携のもと、「学校図書館の蔵書構成の充実に向けた取組み」を行った。中央図書館から、分野別蔵書比率の分析シートと、選書のための図書リストを学校に提供し、学校司書が蔵書比率の分析と選書案を学校に提案した。その提案をもとに、

学校が申請した、充実が必要な分野の図書を整備するために必要な図書購入予算を措置した。

●学校図書館支援ボランティアへの支援

小学校の学校図書館支援ボランティア、中学校での学校元気アップボランティアの協力を得て、地域協働による学校図書館活性化を進めている。令和5年度のボランティア総数はのべ2,311人を数え、令和4年度より増加した。ボランティアが0人の学校の割合も減少しており、学校におけるボランティア活動が徐々に再始動していることがうかがえる。各市立図書館でのボランティア講座を24回実施するなど、支援に努めた。

●その他

- ・7月27日に教員向けに「学校図書館入門講習」を開催した。25校26名の参加があった。
- ・12月22日大阪市教育フォーラムにて、分科会「学校図書館はもういない!?-一人一台端末時代の学校図書館活用術」を開催し、教員に学校図書館の活用事例を紹介した。
- ・大阪市小学校教育研究会学校図書館部・大阪市立中学校教育研究会教育メディア部、こども青少年局の児童いきいき放課後事業等、関連部署とは継続して情報交換を行い、連携を図った。

令和5年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(令和6年4月1日現在)

[資料5-1]

	主催事業(実施件数)※1			区役所等主催行事への協力・参加(実施件数)				子ども読書の日記念事業(春)		大阪市図書館フェスティバル(秋)	
	絵本の読み聞かせ(含ストーリーテリング、紙芝居)	乳幼児向けおたのしみ会	その他(人形劇、工作教室など)	乳幼児健診時の読み聞かせ	区役所等主催のイベントでの読み聞かせ	絵本展	その他(講座、催し、図書貸出など)	内容	参加者数	内容	参加者数
中央(西区)	165	22	10	0	2	1	2	春のおたのしみ会 4/29	26	「おはなしたのしいでえ! in大阪」フェスティバル 11/11・12	2,035
								青山友美ワークショップ オリジナルの風をつくろう! 5/14	39	布の絵本ひろば 11/26	92
								えほんのじかん 4/27(自動車文庫)	15	秋のおたのしみ会 11/26	32
										えほんのじかん 11/11(自動車文庫)	16
北	39	8	2	0	0	0	0	春のおたのしみ会 4/22	24	絵本の会北による秋のおはなしスペシャル 10/28	16
都島	48	12	0	0	0	0	2	おはなしらんらの絵本読み語り 4/26	11	図書館deECO「ペットボトルを活用しよう!」 11/19	3
								ふぁいと!の絵本のじかん 5/3	16	図書館deECO「布ぞうりをつくろう!」 11/23	15
福島	32	10	1	0	0	0	5	ま〜るま〜るのびつくりばこ 4/22	19	絵本のひろば 11/3	22
此花	34	8	16	12	0	2	1	春のこども会 4/22	10	秋の子ども会 10/28	12
										はぎれでつくる簡単リース 11/7	15
島之内(中央区)	38	15	4	0	0	0	4	春の子ども会 4/22	14	いたずらねこをつくろう! 11/5	15
										語り部シアター「卯年と住吉大社」 11/23	11
港	5	2	5	0	9	1	41	春のこども会 4/29	18	秋のこども会 10/21	10
大正	48	41	0	0	2	0	3	ひまわりの会のおわくわく子ども会 5/20	5	さわる絵本をつくってみよう! 10/29	4
										アナンシのおはなし会 11/12	7
天王寺	58	10	3	0	0	0	2	ぼちぼちのおはなし会 4/22	10	秋のおはなし会 10/28	28
										リサイクル工作教室「アロマキャンドルをつくろう」 11/23	17
浪速	44	12	3	0	0	2	22	五月(サツキ・メイ)のおたのしみ会 5/27	11	ぐるーぶ ぬ劇場 10/28	7
西淀川	33	23	6	0	2	1	3	パタポン 春のおはなし会 4/15	14	パタポン秋のおはなし会 10/21	18
										ぼけっと秋のこども会 11/3	40
淀川	40	28	3	0	0	0	11	むか〜し昔、あったとさ 5/28	10	おはなしくるりんパツ! 10/28	20
										朗読会-耳から広がる本の世界- 11/25	10
東淀川	36	19	0	0	0	0	0	びびよのスペシャルおはなし会 赤ちゃんがはじめて出会う絵本 4/26	6	「とどここ」25周年記念おはなし会(2回) 10/21	26
東成	55	11	5	0	1	0	7	おはなしびつくり箱 4/23	58	秋のおたのしみ会〜ぐるーぶ ぬ!の楽しい人形劇〜 10/22	59
生野	15	12	2	0	0	0	2	春のこども会 ぐるーぶ ぬ! 劇場 5/21	18	図書館deECO「落ち葉のしおりをつくろう」 10/29	8
										秋の絵本の会スペシャル 11/4	11
旭	36	22	0	0	0	0	17	春のおはなし会 5/27	26	秋のおはなし会 10/21	20
										秋のたまゆら朗読会 11/11	30
城東	38	13	5	0	0	0	2	春のおはなし会 4/15	21	秋のこども会 11/4	16
								春の子ども会 4/23	18		
鶴見	31	23	4	0	0	1	15	あっちゃんまりっぺのにんぎょうげき 5/7	17	“くみどり”の秋風ライブ 10/29	34
								でんでんむしのおはなし会 5/14	13		
阿倍野	59	33	6	0	25	1	7	子ども読書の日おたのしみ会 4/22	18	パネルシアターをたのしもう! 11/11	28
								びびよ絵本のひろば 4/28	10		
								春のおたのしみ会 5/6	22		
								小学生のためのおはなし会 5/6	6		
住之江	49	11	2	0	0	0	1	えほんであそぼ! 4/22	17	キッズシアターかみふうせんのミュージックシアター 11/18	26
住吉	101	50	19	0	2	0	2	春のおはなし大会 4/23 午前・午後	59	ねこの人形教室 10/22	21
										パレットのおはなし会 午前・午後 11/5	50
東住吉	61	12	1	0	0	0	3	赤ずきん&ドロップスの春のおはなし会 5/6	20	秋のえほんひろばとおはなし会 10/21	44
平野	22	26	5	0	19	2	11	キッズシアターかみふうせんのおたのしみ会 4/22 2部公演	57		
西成	14	9	1	0	0	0	2	るんるん絵本のひろば 4/23	20	るんるん絵本のひろば 10/22	15
										秋のおはなし会 10/29	6
合計	1,101	432	103	12	62	11	165		648		2,839

※1 子ども読書の記念事業、大阪市図書館フェスティバルは含まず

令和5年度 大阪市立図書館子ども読書活動推進関係事業まとめ(令和6年4月1日現在)

[資料5-1]

	幼児期読書環境整備事業								学校との連携								学校図書館支援ボランティア向け講座		学校図書館実践交流会	ボランティア養成・ステップアップ講座		区の子どもの読書活動推進連絡会	自動車文庫ステーション数
	配本事業(実施施設数)				ボランティア派遣(実施施設数)				団体貸出件数(校数)	貸出冊数	図書館見学	調べ学習支援	おはなし会等読書支援	学校図書館整備支援(回数)	体験学習(人数)	図書館主任会への参加	回数	参加者(延人数)		回数	参加者(延人数)		
	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設	幼稚園	保育所	認定こども園	その他子育て支援施設															
中央(西区)	3	4	0	2	3	3	0	14	13	5,801	28	13	127	0	10	1	1	9		11	510	7/29	1
北	4	11	3	9	3	7	2	6	11	3,136	20	32	34	2	12	0	1	3		1	2	7/12	4
都島	1	8	1	2	1	3	0	0	14	2,967	8	19	36	0	8	0	1	8		2	5	7/4	3
福島	3	7	3	3	3	5	2	1	13	922	11	9	121	0	4	0	0	0		5	38	6/29	1
此花	1	5	0	3	1	6	0	3	10	2,177	4	19	10	0	8	0	1	3		1	2	6/30	4
島之内(中央区)	9	4	0	3	5	8	0	2	7	2,237	13	18	8	0	4	0	1	10		2	4	6/29	1
港	1	7	1	3	1	3	1	0	9	2,175	14	29	79	0	16	1	0	0		1	13	6/27	2
大正	4	7	4	3	1	5	1	1	12	1,245	8	21	105	2	7	0	0	0		42	862	6/27	2
天王寺	6	7	0	1	6	3	0	0	14	6,190	17	39	126	0	4	0	2	6		2	12	7/7	1
浪速	2	11	0	6	2	11	0	2	10	3,992	9	10	38	4	7	0	0	0		3	4	6/30	1
西淀川	3	13	3	8	2	11	2	5	10	1,754	9	14	9	0	6	0	0	0		12	78	6/6	4
淀川	3	16	2	5	3	7	0	3	19	4,800	16	42	41	0	3	0	0	0		6	37	7/7	10
東淀川	2	8	0	7	0	8	0	0	20	2,950	4	40	22	0	2	0	2	19		0	0	7/11	12
東成	5	6	1	7	3	6	2	3	11	1,293	11	12	73	0	4	0	0	0		2	18	7/14	2
生野	2	6	7	4	2	5	0	2	16	3,866	14	28	117	0	4	0	1	10		2	12	6/28	3
旭	3	10	0	3	3	12	0	0	16	3,437	9	36	149	0	14	0	2	12		1	15	6/30	3
城東	2	9	2	6	2	6	0	5	22	5,400	13	26	33	0	3	0	1	5	1/26	0	0	6/23	9
鶴見	2	11	1	4	1	5	2	4	14	4,156	10	21	232	0	12	0	0	0		0	0	6/28	4
阿倍野	1	7	0	1	1	3	0	0	8	3,285	13	44	255	0	8	1	5	53		8	21	6/29	4
住之江	1	7	3	2	1	7	2	3	15	5,907	11	81	95	0	8	0	2	18	2/13	1	4	7/4	8
住吉	2	10	4	6	2	10	3	4	13	3,006	11	19	142	0	14	0	1	14		6	8	7/7	7
東住吉	0	10	1	5	0	8	0	3	11	5,917	5	20	237	0	3	1	2	10		2	5	7/13	5
平野	5	12	2	7	4	7	0	0	21	3,704	12	64	84	0	12	0	1	2		6	47	7/11	11
西成	2	11	0	4	2	9	0	2	11	2,031	6	29	31	1	6	0	0	0		13	72	書面	2
合計	67	207	38	104	52	158	17	63	320	82,348	276	685	2,204	9	179	4	24	182		129	1,769		104

■大阪市立図書館×セレッソ大阪「2024 読書推進プロジェクトー本を読んで、人生を豊かにー」

大阪市は、平成 28 年 2 月に大阪市をホームタウンとするセレッソ大阪と連携協力に関する包括協定を締結し、スポーツの振興、教育、広報など様々な分野においてそれぞれの活動の充実を図り、地域連携を積極的に推進しています。

大阪市立図書館とセレッソ大阪は、これまでも読書を通じて豊かな心を育むことを目的とし、協働してさまざまな活動を実施してきました。

令和元年度からはこれまでの個々の取り組みを大きな枠組みに再編し、「読書推進プロジェクトー本を読んで、人生を豊かにー」として、大阪市内外の企業や団体とともにさまざまな活動を実施しています。令和 6 年度もひきつづき、市民の皆さんに、読書とともにサッカーやスポーツも親しんでいただく一助になるような魅力的な活動を進めます。

1. 「読書推進プロジェクト」オリジナル読書手帳の配布

◇ 対象者

大阪市立小学校の全児童(令和 6 年 4 月現在)

◇ 配布方法

各大阪市立小学校、支援学校小学部を通じて配布

◇ 概要

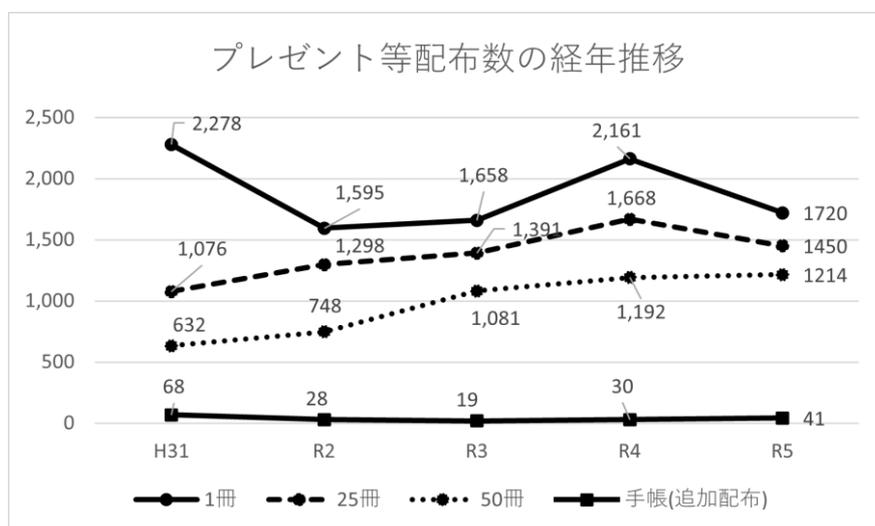
この手帳には、読んだ日や本のタイトル、読んだ本の感想を記入できるほか、セレッソ大阪の選手などの「おすすめの 1 冊」等が紹介されています。桜のマークに色をぬることで、読んだ本を評価でき、50 冊分記入できます。セレッソ大阪のチームマスコットや選手らがあしらわれた親しみやすいデザインです。51 冊以上読んだら、セレッソ大阪オフィシャルウェブサイトから追加のページをダウンロードすることができます。

◇ プレゼント引換期間

令和 6 年 6 月 22 日(土曜日)から令和 7 年 1 月 31 日(金曜日)まで

2. 大阪市立図書館やセレッソ大阪ホームゲームでのセレッソ大阪選手おすすめ図書紹介

3. 「セレッソ大阪巡回展示」にあわせたオリジナルしおりの配布、コラボイベント



令和5年度こども本の森中之島 読書活動に関する報告

1 入館者について

- ア 入館者数 132,185 人 (参考：令和4年度 121,419 人)
- イ 開館日数 308 日 (参考：令和4年度 307 日)
- ウ 入館制限 1日4回の入館時間帯を設定し、1回あたり上限150人
- エ 入館者層 <こども連れの入館者> 47%
<こどもの年齢>未就学児…58%、小学1～2年生…17%
小学3～4年生…7%、小学5～6年生以上…18%

2 自主事業イベントの実施(抜粋)

ア 本の森のおはなしかい

目 的：来館したこども達に館長・スタッフによる読み聞かせを実施する。読み聞かせの面白さ、絵本や物語の魅力を知ってもらうことで、様々な読書体験につながり、豊かな感性を育むことを目的としている。

実施回数：248回

参加者数：(こども) 5,142人 (おとな) 4,523人

イ おはなしの森 ～ABCアナウンサーによる「こども読み聞かせ会」～

目 的：プロのアナウンサーによる読み聞かせを実施することで、通常の読み聞かせとは違う雰囲気を楽しんでもらい、新たな絵本を知り、興味を持つきっかけとなることを目的としている。

実施回数：4回

参加者数：306人

ウ 大阪府立中之島図書館×こども本の森中之島 コラボガイドツアー

目 的：中之島図書館は大人の利用者、本の森はこども連れの利用者が多いため、お互いの利用者層に館の魅力を知ってもらうきっかけづくりと目的とした。

実施回数：2回

参加者数：21人

3 学校園見学受け入れ状況

- ア 学校園数 78
- イ 参加児童数 2,883人 引率 397人

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 学生以上	成人 等					保護者 等	
北区	子育て支援ルーム 絵本読み聞かせ	子育て支援ルーム「Kikki(キッキ)」での絵本の読み聞かせ	△	○	△	○	○	○	○					○	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	区役所1階の「子育て支援ルームKikki(キッキ)」内に、図書館の絵本を活用した「絵本コーナー」を常設するとともに、子育て支援ルーム職員による絵本読み聞かせを不定期に実施し、絵本の普及を図る。	福祉課 (子育て支援室)
北区	子どもたちと考える 平和展	戦争、平和に関する絵本・漫画の展示	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続実施	8月9日～16日開催 戦争、平和に関する絵本の展示	継続実施	政策推進課 教育連携担当
都島区	(区広報での学校図書館支援ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募集記事掲載	○	○	○	○	○	○						○	7月、11月の2回実施	7月、11月の2回実施	4月、11月の2回実施	保健福祉課 (こども教育)
福島区	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報で学校図書館支援ボランティア募集記事掲載	○	○	○	○	○							○	12月号の広報紙に掲載予定	12月号の広報紙に掲載	12月号の広報紙に掲載予定	保健福祉課 子育て教育
福島区	子育て講座 赤ちゃん広場	月1回開催。0歳児の親子が50組程度参加。広場会場に手作りおもちゃコーナーと共に絵本コーナーを設置し、赤ちゃん向け及び保護者向け、季節の絵本などを展示する。区内保育所施設の保育士や図書館司書が絵本の読み聞かせを実施。	○	○	○	○	△	△	○					○	月1回開催。0歳児の親子が50組程度参加。コロナ禍以降、降手作りおもちゃコーナー・絵本コーナーは中断。区内保育所施設または支援室の保育士が読み聞かせを実施。	年12回開催。複数回絵本の読み聞かせを行った。	コロナ禍以降、親子で座ってもらう場所を個別のマットに変更。周りを気にせずにいられる、と参加者には好評であるが、講座を行うスペースが限られている状況である。参加人数が少ない月に、絵本コーナーを設置し、親子で手に取ったり読んだりできるようにする。また乳児期におすすめの絵本を紹介する。	保健福祉課 子育て教育
此花区	電子書籍を活用した 読書活動推進事業	生徒が端末を用いて時間・場所を選ばずに電子書籍を閲覧できる環境を提供し、読書活動を促すことにより、生徒の読書習慣の定着を支援する。	-	-	◎	△	○	○					○	此花区内3中学校の中学1年生へ電子書籍読み放題サービスを提供する。すべての中学校に生徒への迅速な周知と、利用の促進を依頼する。	此花区内3中学校の中学1年生全員および希望生徒へ電子書籍読み放題サービスを提供した。すべての中学校で生徒への迅速な周知を行ったが、利用率実績は中学校ごとに大きな差異があった。	此花区内3中学校の中学1年生全員および希望生徒へ電子書籍読み放題サービスを提供する。すべての中学校に生徒への迅速な周知と、利用の促進を依頼する。	まちづくり推進課 (教育支援・環境担当)	

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上					保護者 等	
中央区	中央区子ども読書活動推進事業	島之内図書館や中央区内の学校図書館、まちライブラリー等と連携してイベントを開催するほか、区広報紙での情報発信、表彰等を実施する。	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 区内公立中学校における読書活動の取組を情報発信 読書等に取り組んだ児童等(学校長推薦)を表彰 区内小中学校の図書主任等向けにビブリオバトル研修を実施予定 小中学校の「推し本紹介」を募集しまちライブラリー、島之内図書館で展示予定 研修や「推し本紹介」展示等の実施状況を情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 区内公立中学校における読書活動の取組を区広報紙10月号で情報発信 読書等に取り組んだ児童等(学校長推薦)を表彰 区内中学校と連携し、ビブリオバトルを実施予定 小中学校の「推し本紹介」を募集しまちライブラリー、島之内図書館を12/20に開催 学校と連携しビブリオバトル研修会を2/20に開催 推し本展示等を区広報紙2月号で紹介 小中学校の「推し本紹介」を募集しまちライブラリー(10月)、島之内図書館(R6.2月)で展示 	<ul style="list-style-type: none"> 読書等に取り組んだ児童等(学校長推薦)を表彰 区内中学校と連携し、ビブリオバトルを実施予定 小中学校の「推し本紹介」を募集しまちライブラリー、島之内図書館で展示予定 ビブリオバトルや「推し本紹介」展示等を区広報誌にて情報発信 	市民協働課(市民活動支援・教育)
西区	多様な活動主体のネットワークづくり事業『えほんpicnic』	えほんpicnic実行委員会と共に、地域資源である鞆公園を活用し、「都心の中で自然とふれあう」「人とふれあう」ためのきっかけづくりを目的に、絵本の貸出や読み聞かせ、ワークショップ、マルシェ出店などを実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 実行委員会が主催で区役所は「後援」として実施予定 	令和5年10月7日(土)に鞆公園にて開催した。のべ16,430人が参加し、絵本の貸出や読み聞かせなどを楽しんだ。	実行委員会が主催で区役所は「後援」として令和6年10月12日(土)実施予定。	地域支援課	
西区	食育なつまつり	展示コーナーでは食に関する絵本を展示し、自由に読むスペースを設置。「たべものシアター」ではボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施。	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度と同様、3歳児健診(計3回)に併設した展示型で実施予定のため計画無し。 	計画通り実施無し。	展示コーナーでは食に関する絵本を展示し、自由に読むスペースを設置予定。「たべものシアター」ではボランティアによる食に関する絵本の読み聞かせやパネルシアターを実施予定。	保健福祉課	
港区	地域の強みを活かした教育力向上事業(絵本ひろば)	絵本ひろばのコーディネーターやファシリテーターの講師謝礼等を区役所が負担し、学校で「絵本ひろば」を開催できるように支援し、子どもの主体的な読書活動を促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 実施校3校 磯路小、田中小、弁天小 (計982名が参加) 	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)
港区	(区広報での学校図書館ボランティア募集)	区の広報紙、ホームページやチラシの配架により、学校図書館支援ボランティアを募集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続実施	<ul style="list-style-type: none"> 区の広報紙9月号に掲載 区ホームページ掲載 区役所内にチラシ配架 	継続実施	協働まちづくり推進課(教育・人権啓発グループ)

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 年以上	成人					保護者 等	
大正区	子育て応援フェア	子育てコンシェルジュによる子育て支援施設・制度の案内や、保育所・幼稚園についての情報発信や入所申請手続きの説明。フェアの中での読み聞かせを実施。	△	○	○	△	○	○	○					○	8月7日から25日まで、ポスター展示により大正図書館からの情報発信を行う。	8月7日から25日まで、ポスター展示を行った。	8月8日から23日まで、ポスター展示により大正図書館からの情報発信を行う。	子育て支援ネットワーク連絡会 (保健福祉課子育て支援室)
大正区	大正区親子のつどい	主任児童委員会で、地域の子育てサークルの紹介を兼ねて、遊びやゲーム、舞台発表をする。絵本の会大正が読み聞かせ等を20分×2回実施。	×	×	×	△	△	○	○	○				○	5月28日実施済み。 イベントブースに絵本のコーナーを設置し、大型絵本や絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらった。 (コロナ感染症の影響を考慮し、規模を縮小して実施)	同左のとおり	5月26日実施済み。 イベントブースに絵本のコーナーを設置し、大型絵本や絵本の読み聞かせを親子で楽しんでもらった。プロジェクターを使用し、大型スクリーンに映し出したことで遠くからでも楽しむことができ良かった。 (親子で床に座る場所をもう少し広く確保ことや椅子を増やすことについてどうするかが課題)。	保健福祉課 (福祉G)
天王寺区	子育て支援事業	「あそびましょ〜」の中で絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせの時間を10分くらい組み込んでいる。	○	○	○	○	○	○	○					○	昨年度は毎月第4金曜日の午前午後のみの開催だったが、午前午後の開催とし、より多くの親子に絵本を紹介したふれあいの機会を提供する。	毎月第4金曜日の午前・午後の開催に拡張したが定員を割るのではなく、毎回多くの親子が読み聞かせを楽しみに参加している。	前年度より若干定員を増やし、希望者が参加しやすい状況を作る。	保健福祉課 子育て支援室
天王寺区	子育て愛あいフェスティバル	区内の子育て支援機関・団体等が集まり、参加の親子とのふれあいを通じて、いろいろな子育て支援の場に関する周知を行うとともに、地域のみんなで支えあう子育て環境の充実を図ることを目的として開催。会場内に図書館コーナーとして親子で絵本に触れる機会を設けるとともに、ボランティアによる読み聞かせを行う。					◎	○	○	○				○	6月24日開催。令和4年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し観賞形式での開催だったが、今年度は新規事業としてブース形式で開催予定。 ※本回答提出時はすでに実施済	6/24開催の当イベントでは、天王寺図書館協力のもと、絵本を通して参加親子がゆったり触れ合えるコーナーづくりができた。	本イベントは11月9日(土)開催予定。5年度と同じく図書館コーナーを設ける方向。	保健福祉課 (子育て支援室)
浪速区	浪速区親子フェスタ	区役所と区内の子育て関連施設とで構成される子育て支援ネットワーク会議(通称:なにわっ子ネット)により開催。8月に「なにわっ子フェスタ」(ミニ絵本展・絵本読み聞かせ・おもちゃ作り・ゲームなど)と、1月に「親子えほんフェスタ」(絵本展・読み聞かせ等)の年2回開催。	△	△	△	○	○	○	○					○	・なにわっ子フェスタは、コロナ前の規模で8月に浪速スポーツセンターで開催予定。 ・親子えほんフェスタはR6年1月開催予定。	・なにわっ子フェスタは8月に浪速スポーツセンターで開催した。約150人の親子が参加し大型絵本や人形劇などを楽しんだ。 地域の行事等重ならないよう次年度は日程の調整をする。 ・親子絵本フェスタを1月に区役所で開催し約124名の親子が参加。絵本展示や図書館による絵本の読み聞かせを楽しんだ。	・7月になにわっ子フェスタを浪速スポーツセンターで開催予定。 ・1月に親子絵本フェスタを開催予定	子育て支援ネットワーク会議 (保健福祉課子育て支援室)

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上					保護者 等	
西淀川区	図書に親しみ多世代が交流する環境作り事業	児童生徒の教育水準の向上や若者から高齢者まで世代を超えた生涯学習を推進していく上で、身近な場所に手軽に図書に親しむ又は自習を行えるような環境を整備していくために、本区では平成25年度末から2か所(姫里地域・佃地域)に「に～よん文庫」という図書・自習スペースを設けている。に～よん文庫はボランティアによる運営を行っており、平成27年度からさらに1か所(川北地域)が開設している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・図書・自習のスペース「に～よん文庫」の運営等を通じ、図書に親しみ関心を持つ環境を整備するとともに、多世代交流を図る ・「に～よん文庫」のイベントの実施、蔵書リストの作成公開等により周知啓発を図る	令和5年度は令和4年度より利用者増となり、コロナ禍以前ペースの利用者があった。従事ボランティアが少しづつ減っている現状があり、ボランティアの維持が課題である。	・図書・自習のスペース「に～よん文庫」の運営等を通じ、図書に親しみ関心を持つ環境を整備するとともに、多世代交流を図る ・「に～よん文庫」のイベントの実施、新着蔵書リストの作成公開等により周知啓発を図る	地域支援課 (地域支援)
西淀川区	子育てを応援する担い手育成・地域連携事業 えほんとおそびのふわふわランド	年1回2日間開催している。当初西淀川区民会館が会場であったが、近年は西淀川区役所を会場としている。1000冊以上の絵本展示、各コーナーでのボランティアによる読み聞かせやイベントを行う。各子育て支援関連施設、ボランティアの方々、図書館などが協力して実施している。	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	例年通り実施予定	令和5年11月25日(土)、26日(日)に第16回えほん展を実施した。両日ともに盛況で合計で940人以上が参加。	例年通り実施予定	保健福祉課 (こども福祉)	
淀川区	生涯学習推進事業 「ものがたりのちから」	絵本の読み語りのプログラムや絵本コーナーを設置するなどし、絵本の魅力、区の自然や歴史、世代間で伝えたいことを、さまざまな形の「ものがたり」として子ども達に伝えていくことを目的にしたイベントを実施する。	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1月28日開催予定 令和4年度と同規模を実施予定	1月28日開催 参加者205名 読み聞かせボランティアによる読み語りや菜作りを実施した。	1月26日開催予定 令和5年度と同規模を実施予定	市民協働課	
淀川区	生涯学習推進事業 「学校図書館ボランティア講座」	区内小中学校を拠点に活動する学校図書館ボランティアの新たな担い手発掘を目的として、読書と子どもの関わりに興味のある区民を対象に学校図書館ボランティア活動の研修を行い、また既に活動中の学校図書館ボランティアを対象に学校の図書室で活動するために役立つ知識や技術を身につけるための研修を行うことにより区における子ども達の読書環境の充実につなげる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	9月から10月に全4回の講座を実施予定	9月8日、9月13日、9月29日、10月25日、11月9日開催 参加者延べ37名 全5回(学校図書館ボランティア入門編、本の修理、学校図書館見学、絵本入門講座)を実施	9月から10月に全4回の講座を実施予定	市民協働課	
東淀川区	ブックスタート事業	平成25年11月から事業開始。当区で絵本を3種類選定し、その中から養育者の希望する絵本を配付。現在、8施設にて事業実施中。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	引き続き各施設において絵本配付を継続	配付数 552冊	引き続き各施設において絵本配付を継続	保健福祉課 (保健企画)	

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上					保護者 等	
東成区	電子書籍を活用した読書活動推進事業	東成区では、児童生徒が誰一人取り残されることなく、一人一台学習用端末を活用し、自由に読書活動を行うことができる機会を提供することで、読書活動の定着と不読率の改善を図る。	-	◎	○	○	○	○					○	○		令和5年度利用実績は、中学生が33.2%、小学生が52.7%となっており、中学生の利用率がやや低調であったが、令和6年3月に実施した利用者アンケートにおいて、「今後利用したい」との肯定的意見が中学生で57%、小学生で60%となっていることから、当事業がより児童生徒の読書習慣の定着に寄与できる取り組みとなるよう、各学校と連携し、利用率の向上に努める。	電子書籍読み放題利用アカウントを区内各小学校(11校)の5・6年生全児童及び各中学校(4校)に一定数(82アカウント)を配付。	市民協働課
東成区	東成区子育てふれあいサークル大集合	区民ホールでの乳幼児と保護者、マタニティ世代向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	○	×	△	△	△	△	○					○	11月22日にすくすくつながるイベントを開催(名称未定)親子でほっこりできる絵本コーナーの設置を検討中。	令和3年度まで別々に開催していた運動会と合わせて1つのイベントとし、親子で身体を動かすことをメインに行ったため、絵本コーナーは設けることができなかった。	令和6年度については、すくすくつながる大冒険として、実施予定。絵本コーナーについては、設置検討中	保健福祉課
東成区	にこにこ広場	月1回6カ月の乳児と保護者を対象に、絵本の読み聞かせを行う。	○	○	○	○	○	○	○					○	月1回の読み聞かせを実施していく。	月1回の読み聞かせを実施していく。	月1回の読み聞かせを実施していく。	保健福祉課
東成区	子育てネットワーク構築支援事業	子育て中の保護者が子どもと一緒に楽しみながら各子育てサークルや子育てイベントで遊びを提供する(パネルシアター、大型絵本読み聞かせ、手遊び等)	◎	○	○	○	○	○	○					○	子育てサークルを巡回し、読み聞かせを実施する(11校下のサークル対象)	子育てサークルを巡回し、サークルの要望により、絵本の読み聞かせや、手遊び等を実施	子育てサークルを巡回し、サークルの要望により、絵本の読み聞かせや、手遊び等を実施	保健福祉課
生野区	学校支援ボランティア人材バンク事業	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHP等で掲載	○	○	○	○	○	○					○	○	継続実施	学校図書館支援ボランティアも含む学校支援ボランティア人材バンク事業の募集を区のHPに掲載した。学校図書館の開館支援で2名活動中であり、学校の要望については満たすことができた。	継続実施	地域まちづくり課
生野区	生きる力を育む絵本プロジェクト	・3か月健診時のブックスタート事業の紹介 ・「にこにこいくのっこだより」での絵本紹介 ・絵本イベント(H30年9月22日開催) ・絵本ボランティアの養成 ・キッズルーム(授乳室あり)の環境整備 ・絵本ボランティアによる3か月及び1歳6ヶ月健診時の絵本の読み聞かせ ・区役所庁舎各階窓口待合に来庁者用の絵本棚を設置	○	○	○	○	○	○	○					○	健診時の絵本読み聞かせボランティア活動の再開及び引き続きボランティア養成講座を行う。区役所内での絵本コーナー等の環境づくりは継続して行う。絵本紹介の小冊子「いくみんのほんだな」の見直しを行い毎月の3か月乳児健診の際に対象者に配布。ブックスタートの広報、配布を積極的にいき、絵本に興味を持てる環境を整備する。	健診時の絵本読み聞かせボランティア活動を再開した。好評を受け、段階的に回数も増やしすべての年齢の健診時で行った。次年度に向けてのボランティア養成講座も開催。 絵本紹介の小冊子「いくみんのほんだな」の掲載情報の見直しを行った。	昨年に引き続き、健診時の絵本ボランティアによる読み聞かせ活動を行う。必要に応じて多言語バージョンの「いくみんのほんだな」の小冊子を紹介・配布。絵本ボランティア養成講座を行う。区役所内での絵本コーナー等の環境づくりとして外国語の絵本も取り入れて整備しなおす。ブックスタートの広報、配布を積極的にいき、絵本に興味を持てる環境を整備する。	保健福祉課

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上					保護者 等	
旭区	保健子育て課のキッズコーナー	窓口での待ち時間に子どもさんが過ごせるキッズコーナーを2階に設けているが、季節に応じて絵本を入れ替える等して親子で絵本に親しみ楽しんでもらっている。	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続して、旭図書館より毎月絵本を借り入れ、季節に応じた絵本を設置し、親子で親しんでもらえるようにする。	窓口での待ち時間に絵本を手にとって読んでもらうことができた。	継続して、旭図書館より毎月絵本を借り入れ、季節に応じた絵本を設置し、親子で親しんでもらえるようにする。	保健子育て課
旭区	ブックスタート事業	区内のブックスタート拠点のなかった地域への拠点の設置、ブックスタートの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続して、年4回実施する。	4回コンスタントに利用があった	城北市域で年4回実施	保健子育て課
城東区	絵本で子育てみんな子育て事業	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、子育て支援施設と連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本展の開催 11月を「絵本読み聞かせ月間」として図書館、子育て支援施設、子育てサロンなど地域の子育て支援施設と連携し絵本の読み聞かせなど絵本に関する取り組みを実施 ・区役所ロビーでの絵本展の開催 ・大人向けの絵本のお話と読み聞かせ会を開催 ・絵本スポット 子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、先輩ママ・パパに身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置 	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、子育て支援施設・子育てサロンと連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本イベントの開催 ・1月に「絵本イベント」として、絵本作家による絵本の読み聞かせやワークショップなど絵本に関する取り組みを実施 ・「絵本スポット」:子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、先輩ママ・パパに身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、子育て支援施設・子育てサロンと連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本イベントの周知や誘致、絵本コーナーの開設 ・子育て支援施設への誘致を目的とした絵本の有効活用 ・1月に「絵本イベント」として、絵本作家による絵本の読み聞かせやワークショップなど絵本に関する取り組みを実施 ・「絵本スポット」:子育て中のママやパパが絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、他の養育者やスポーツもよっては専門職員に身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置 	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館、子育て支援施設・子育てサロンと連携した、絵本の読み聞かせ会や絵本イベントの周知や誘致 ・来庁者が窓口や健診時の待合で手に取れる絵本の充実や、職員による読み聞かせ ・「絵本スポット」:子育て中の養育者が絵本をきっかけに子どもと一緒に楽しみ、他の養育者やスポーツもよっては専門職員に身近な相談ができる場、気軽に立ち寄れる場所として、区内事業所・飲食施設等に絵本を設置 	保健福祉課(子育て教育)	
鶴見区	「つるみっ子ルーム」での読み聞かせ	区役所内「つるみっ子ルーム」で保育士による月1回の「おたのしみ会」(絵本の読み聞かせ等)を開催。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	利用者の定員が20名の中で、9月より再開予定。クリスマス会は2回/日で行う。先着順で受付、クリスマス会は抽選にする予定。	・クリスマス会での絵読み聞かせ(2回/日)を実施。 ・1歳児お楽しみ会にてふれあい、読み聞かせを実施。	・6月より毎月、お楽しみ会の実施。会の中で絵本の読み聞かせを行う。 ・また12月にはクリスマス会にて、ペーパーサートや絵本の読み聞かせを行う。	保健福祉課(子育て支援室)	
鶴見区	「つるみっ子ルーム」への絵本の借受け	鶴見図書館から、月1回30冊の絵本をお借りし、区役所内「つるみっ子ルーム」に配架。	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	9月より絵本の借受開始。月30冊 乳児用絵本	つるみっ子ルームにて定期的に絵本の入れ替えを行いながら、自由に絵本を手にとれるように設置。	絵本を定期的に入れ替え、絵本の紹介等を行い、より絵本を身近に感じられるようにする。	保健福祉課(子育て支援室)	
鶴見区	ブックスタート事業	ブックスタートの実施	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続して月に1回第4水曜日(10:30～、11:10～)実施予定。	継続して月に1回第4水曜日(10:30～、11:10～)実施。	継続して月に1回第4水曜日(10:30～、11:10～)実施。支援室の保育士で行う。	保健福祉課(子育て支援室)	

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署		
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上					保護者 等	
阿倍野区	親子フェスタ	親子フェスタのイベント会場内に、「絵本コーナー」の部屋を設けて、複数のボランティアグループによる絵本読み聞かせ+ミニ絵本展(内容は図書館が適宜選定)を実施	△	△	○	○	○	○	○					○	同日にイベントが重なりそのイベントとへの参加も視野に入れつつ区役所でのイベントへの参加は未定。区役所でのイベント参加の場合は開催予定。	R5.10.27に区役所で開催。絵本の読み聞かせコーナーやミニ絵本展を実施。別会場で魚釣りや防災、ハロウィン衣装作り等のこども向けコーナーも設ける。	R6.10.26に開催予定。令和5年度と同規模、同内容でのイベントを開催予定。	保健福祉課 (子育て支援)
阿倍野区	あべの食育祭	あべの食育祭のイベント会場内に「絵本コーナー」を設けて、『食育』に関する絵本の展示や読み聞かせを実施	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	イベント形式でのあべの食育祭再開に伴い、絵本展示コーナー、読み聞かせを実施予定。	絵本展示コーナー、絵本読み聞かせを実施し、130名が参加。参加者の満足度も高かったため次年度も実施予定。	7月24日開催予定のあべの食育祭で、絵本展示コーナー、読み聞かせを実施。	食育祭:保健福祉課(地域保健) 絵本コーナー:保健福祉課(子育て支援)	
阿倍野区	学校園等支援ボランティア人材募集	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度。区広報・区HPに学校図書館支援ボランティア募集記事を掲載。	○	○	○	○	○	○					○	8月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	8月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	7月号の区広報・区HPにてボランティア募集記事掲載	市民協働課 (教育支援)	
住之江区	あいあい相愛おはなしのへや	「咲洲ウェルネスタウン計画」に掲げた南港ポートタウンの魅力向上の取組みの一つ。住之江区と包括連携協定を締結している相愛大学(子ども発達学科)との協働プロジェクト。おはなし隊(相愛大学学生)による様々な形(劇や紙芝居、エブロンシアター等)での絵本の読み聞かせ。	○	○	○	○	○	○	○				○	継続実施 (年5回実施予定)	開催日 令和5年5月18日、7月27日、9月30日、12月9日、令和6年2月2日 年5回実施	継続実施 (年4回実施予定)	協働まちづくり課	
住之江区	保健福祉課の待合絵本コーナー	窓口での待ち時間や対応時に、子どもさんが絵本に親しめるよう、定期的に絵本を入れ替え展示する。	○	○	○	○	○	○	○	○			○	継続実施	担当の私物なども含め、年に数回絵本を入れ替えている。待ち時間に活用されている。	継続実施	保健福祉課	
住之江区	乳幼児健診での絵本紹介	乳幼児健診での待ち時間に、子どもさんが絵本に親しめるよう、絵本コーナーを設置する。	×	×	×	△	○	○	○				○	R5.5月より、絵本コーナーの設置を再開中		継続実施	保健福祉課	
住吉区	親子教室「すみちゃんひろば」	絵本・紙芝居・パネルシアターなどの読み聞かせと絵本展示を行い年齢に応じた絵本を紹介する。													年4回開催予定 R5年7月21日 R5年9月15日 R5年11月2日 R6年1月19日	予定通り実施 毎回、図書館より団体貸出にて大型絵本や紙芝居、また、年齢に合わせ絵本や季節の絵本等を選び、読み聞かせと絵本紹介を実施、参加者より新たな絵本が知れたと好評だった	年5回開催予定 R6年5月17日 R6年7月19日 R6年9月2日 R6年11月29日 R7年1月17日	保健福祉課 (子育て相談室)

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署	
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上					保護者 等
東住吉区	東住吉区魅力ある学校づくり応援団	学校図書館開放にかかる支援等、サポーターとして学校で活動いただける方の登録制度	○	○	○	○	○	○						東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集	東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集 成果・課題、特になし。	東住吉区魅力ある学校づくり応援団制度に基づき、活動いただける方を随時募集	区民企画課
東住吉区	子育てOHえんフェスタ	区民ホールでの乳幼児向けのイベント。図書館のブースとして絵本コーナーを設けている。	×	△	○	○	○	○						9月と3月に親子70組規模のイベントを実施予定。両方の回に図書館の絵本コーナーを設け、3月には読み聞かせを実施予定。	9月と3月に親子70組規模のイベントを実施、各回図書館ブースを設け、参加者が自由に手に取ることができるよう絵本を配架。3月には読み聞かせも実施した。	人数制限をなくし、昨年同様の親子イベントを9月に実施予定。図書館ブースの設置及び読み聞かせも予定している。	保健福祉子育て支援室
平野区	「ひらちゃん図書 の自由貸出」	平野区役所と北部サービスセンターの庁舎内に善意で頂いた図書を「ひらちゃん図書」として設置。窓口での待ち時間に読んでいただくほか、返却期限を設けない自由貸出しを行うことで、読書に親しんでいただく機会を提供している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続して実施中。	区民の方からの本の寄贈も継続しており、貸出用の冊子が不足することもなく、運営できている。特に高価なうえに読む期間が比較的短い乳幼児用の絵本などの無期限貸し出しは利用者から感謝されている。	継続して実施中	政策推進課
平野区	絵本展の開催	平野図書館やクラフトパークと共催で、年2回、平野図書館より距離的に遠い長吉、瓜破地域で「絵本展」を開催。読み聞かせ等のイベントも実施している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	令和5年度も、クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共催で実施予定。	クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共催で実施した。	令和6年度も、クラフトパークと瓜破北幼稚園の2か所で、平野図書館等と共催で実施予定。	政策推進課
平野区	平野区こども学力サポート事業	児童の学習支援と居場所づくりのために、教員をめざす大学生を中心としたボランティアを小学校に派遣し、学習習慣の定着をはじめ、こどもたちに「生きる力」を身につけてもらえるよう支援する。支援内容は各学校の要望により異なり、「読み聞かせ」や学校図書館への支援の事例もある。	○	○	○	○	○	○				○		区内小学校全22校を対象に予算を確保し実施中。	全小学校22校を対象に実施。ボランティアが不足する場合には、区役所と提携している常盤会学園大学を通じて学生を募集し各小学校に紹介した。	区内小学校全22校を対象に予算を確保し実施予定。	政策推進課
平野区	平野区読書習慣の定着事業	読んだ本のタイトルを記録できる「ひらちゃん読書ノート」(1～4年生用、5・6年生用・中学生用)を作成し、区内の全小中学生に配布。1～4年生は100冊以上、5・6年生・中学生は3000ページ以上を読まれた児童・生徒を、区長から表彰する。また、3～5歳児用の「ひらちゃんえほんふれあいノート」も作成し希望者に配布している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	読書ノートについて、今年度作成分より、大阪・関西万博の機運醸成の一環として、ミyakumiyakをデザインする予定。また、教育行政連絡会などを通じて、他校のビブリオバトルなど読書運動の取り組みを紹介している。	R5年度は、R4年度を上回る表彰者があり、小学校では全児童の26.2%が表彰された。当初より少ない中学生の表彰者を増やすために、中学生の体験学習を区役所で受けた際に、中学生の表彰者数を伸ばすアイデアを提案していただいた。	読書ノートについて、今年度作成分も、大阪・関西万博の機運醸成の一環として、ミyakumiyakをデザインする予定。また、受験や部活動などもあり表彰者の少ない中学生については、体験学習などで提案いただいた促進策を、学校とともに進めている。	政策推進課

区における子どもの読書活動の取組について(令和5年度取組状況および令和6年度計画に関する調査) (令和6年5月時点)

区名	事業(取組)名	取組内容	事業実施年度 実施○ 実施せず× 内容変更△ 新規◎						事業の対象 主たる対象者:○				令和5年度計画	令和5年度実施状況 成果・課題など	令和6年度計画	各区役所 担当部署	
			R3	R4 計画	R4 実績	R5 計画	R5 実績	R6 計画	乳幼児	小学生	未成年 以上	中学生 以上					保護者 等
西成区	西成区こどもの読書活動推進支援事業	<p>読書活動を行うきっかけづくりとして、読書カードを全児童生徒に配付する。</p> <p>対象者が4月1日～翌年1月31日までに読了する目標冊数を設定。</p> <p>目標読了冊数 小学校1年・2年 100冊 小学校3年・4年 70冊 小学校5年・6年 50冊 中学校1年～3年 25冊</p> <p>通年実施のうえ、年度末に年間の読了冊数に応じて賞状を贈呈する。 ・年間目標を達成した児童生徒に賞状授与 ・区分ごとに読了冊数が最多の者に表彰状及び記念品授与</p> <p>なお、対象となる本は、学校図書館・西成図書館・移動図書館で貸出されているものを基本とする。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>・希望する小中学校に読書カードを配布 ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒(各区分の年間読了最多児童生徒を含む)・学校長推薦者に表彰状を授与する予定。 ・希望する学校で区長から直接表彰状を授与する予定。 ・贈呈式について、区の広報紙にて掲載予定。</p>	<p>・希望する小中学校に読書カードを配付 ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒(各区分の年間読了最多児童生徒を含む)・学校長推薦者に表彰状を授与(小学生386名、中学生17名) ・希望する学校で区長から直接表彰状を授与。(2小学校、2中学校) ・贈呈式について、区の広報紙にて掲載(R6.5月号)</p>	<p>・希望する小中学校に読書カードを配布 ・年間読了目標冊数を達成した児童生徒(各区分の年間読了最多児童生徒を含む)・学校長推薦者に表彰状を授与する予定。 ・なお、中学生の年間読了目標冊数を50冊から25冊とする。 ・希望する学校で区長から直接表彰状を授与する予定。 ・贈呈式について、区の広報紙にて掲載予定。</p>	保健福祉課 (子育て支援)
西成区	にしなり子育て情報誌 ハギッズ	図書館の「絵本おたのしみ会」開催日やブックスタートの周知、絵本紹介などを掲載し、奇数月に発行している。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	奇数月に発行	奇数月に発行 西成区ホームページへの掲載、大阪市LINEでの配信も行っている	奇数月に発行予定 西成区ホームページへの掲載、大阪市LINEでの配信も引き続き行う予定	保健福祉課 (子育て支援)
西成区	子育ての集い	区と区内の子育て関連施設で構成されている「わが町にしなり子育てネット」により開催(区役所は後援)。子育て施設職員による紙芝居の読み聞かせを実施している。	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	R5年7月12日(水) 時間延長で開催予定	令和5年7月12日(水)に開催時間を延長したが、延長時間での参加者は少ないため、次年度は午前中みの時間帯で実施予定	令和6年7月10日(水) 10時から12時で開催予定	保健福祉課 (子育て支援)

令和6年度 各区子どもの読書活動推進連絡会のまとめ

区ごとに年に一度、「区子どもの読書活動推進連絡会」を開催して、関係者間で情報交換を行っています。

本まとめでは、各区の各施設、団体の令和4年度の活動状況や報告事項、相談事項、いただいた意見等の中から、主なもの、特徴的なもの等、今後の子ども読書活動の推進に参考になると思われる事例やアイデアをご紹介します。

●連絡会への参加を要請している機関・団体等

【読書活動支援ボランティア】	各ボランティアグループの代表者(推薦された者)
【地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など】(地域の実情に応じて要請)	ボランティア・市民活動センター(旧ボランティアビューロー)、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援センターなど
【子育て支援施設】	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターなど
【就学前施設】	公・私立幼稚園、保育所、保育園、認定こども園など
【学校】	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事(管理職)、司書教諭、学校図書館主任など(代表出席)
【区役所】	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など
【事務局(各区市立図書館)】	館長または担当係長、司書職員、教育ブロック担当学校図書館コーディネーター

●各区子どもの読書活動推進連絡会より

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
西区 (中央図書館)	7月9日	幼児期図書ボランティア ・絵本の読み聞かせに園を訪れても、幼稚園等施設側職員の異動等で前年度の対応を知っている職員がいなくて困ることがある。 ・母の日、父の日や宗教行事の絵本など、読み聞かせに選んでよいのか、配慮がすべきか迷うことが増えている。	子ども・子育てプラザ ・図書ボランティア養成講座の実践の場にプラザを活用、もしくは図書ボランティア養成講座を図書館と共催で開催したい。 ・リサイクルブックとして、絵本だけでなく子ども向け辞書等もあると嬉しい。 ・区役所と組んで、防災講座をしている。防災絵本や面展台を借りられるか。	幼稚園 ・園内で毎日読み聞かせをしている。 ・図書館に園外活動でお出かける。 ・昨年のこの会議で、図書に充てることのできる予算が限られており、新しい本の購入や買い替えが難しいといはなしをしたところ、今年はリサイクルブックの持ち帰りができるという案内があり、ありがたい。 小学校 ・他校や他地域での読書推進活動の例を知りたい。 →大阪市立図書館HP > 学校図書館の様子 より他校事例が見られることを案内 中学校 ・ビブリオバトル ・読書郵便	令和5年度連絡会での要望を受け、令和6年度連絡会では図書館リサイクルブック(除籍資料、受入れしない寄贈絵本)の提供を行った。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
北 区	6月28日	<p>・仕掛け絵本が喜ばれるので持参するが、個人貸出に向かないため図書館であまり購入されないで、ボランティアグループが自前で購入している。図書館でも考慮していただきたい。</p> <p>・土曜日のブックスタートはほとんどご両親そろって参加され、特にお父さんが積極的に質問されるなど関心はとても高い。お父さんもブックスタートをたのしんでおられる。</p> <p>平日はやはりお母さんが多く、平日、参加が難しいお父さんたちにも、何かお伝えできる方法があれば良いなあと感じている。</p> <p>お父さんはもちろん、赤ちゃんを取りまく皆さんにもブックスタートの意義をお伝えしたい。</p> <p>市の事業として20年も継続されていることが素晴らしいと思っている。</p>	<p>・絵本の会北に月1回読み聞かせに来てもらっているが人気のイベントであり、また絵本についてのスタッフの学びの場ともなっている。</p> <p>・ブックスタートで初めて施設を利用される方には、引き続き交流の場所として来ていただけるよう心がけている。</p> <p>・父親が参加しやすいよう、今年度よりブックスタートを土曜日に変更したが、まだ知られていないのか、参加が少ない。さらに周知が必要。</p> <p>・ブックスタートでは、人数に限らず、毎月サポートをいただき感謝している。初めて施設を利用される方ばかりの参加だが、和やかに過ごせるようお話いただけ、利用者さんからも好評。</p> <p>・中央図書館からの絵本貸出について、毎年手続きの案内をいただき感謝している。身近にたくさん絵本に触れることができると好評。</p> <p>・乳幼児用絵本を70冊、寄付いただいた保育園・幼稚園配布絵本を20冊、育児本を20冊有しているが、まだまだ足りないと感じている。</p> <p>今年度中央図書館からの絵本貸出が年に1回半年間なので、通年で貸し出していただくと子育て親子が絵本に触れ合える機会が得られ、有難い。</p> <p>・施設にたくさんの絵本を置いている。絵本を読むお子さんも、絵本に興味がある保護者も増えているが、図書館も遠く、絵本を読める場所があると助かると言って頂いている。年2回の配本を望む。</p>	<p>・ボランティアに参加してくださる方を増やすための方法を教えて欲しい。(活動内容の周知方法なども含めて)</p> <p>・読書スペースの有効活用(職員室前と5年6年生の教室前廊下)を図っている。ほかにもどのような工夫ができるのか知りたい。</p> <p>・貸出冊数を伸ばしたいという思いがある。どのようなことをすればよいのか。</p> <p>・主幹学校司書が配置されて、特に高学年の貸出が大きく伸びた。</p> <p>・主幹学校司書として配置されて3年目になるが、いつも学校司書がいる状況に児童が馴染んできていて、図書館利用が当たり前のようになってきた印象がある。校内の位置としては学校図書館が便利な場所にあるわけではないが、時間を工夫して学校図書館に来られる時間を児童が作っている。</p> <p>・ボランティアによる読み聞かせを6年度より再開。先生方が読み聞かせをしやすい雰囲気を作ってくれました。低学年の方が読み聞かせに馴染んでいて、高学年はコロナ禍でボランティアの読み聞かせを聞けなかった時期があったためか、読み聞かせに不慣れな感じがする。</p>	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
都 島 区	6月25日	<p>・図書館でのおはなし会でも低年齢化している。保護者の方にみてほしいという気持ちで読んでいる。</p> <p>・絵本の読み聞かせをと思うが、保護者の方は、パネルシアターなどの見栄えの良い演目を喜ぶ傾向がある。</p> <p>・コロナ前のように手広く活動したいと思うが、メンバーの高齢化や実働メンバーの減少で、現在の活動で手一杯の状態でもある。</p> <p>・活動を広げるには、休止状態のメンバーを活動できるようにするのが肝と考えている。</p>	<p>・ブックスタートの参加率が低いことを踏まえ、独自でチラシを作成し、3か月健診に来られた保護者に周知している。</p>	<p>小学校</p> <p>・若手の教師の中には、調べ学習もネットでと、本を使わない(親しまない)人もいるので、並行読書のことなど教員の研修にも取り組んでいる。</p> <p>・高学年になるほど、(他教科の時間が増えるために)国語の時間が減り、図書の時間がなくなる。また、図書室の割り当て時間もないため、読書から離れてしまう。</p> <p>・図書ボランティアは長く活動されている方が多く、図書館の運営に欠かせない存在。</p> <p>中学校</p> <p>・図書室は、学校長の理解もあって、コミックが充実している。コミックから文字の本へとつながるように心がけている。</p> <p>・図書室は生徒の居場所としても開放している。本プラス居場所、本は友だちと感じられる場所となるようにしている。</p> <p>学校司書</p> <p>・絵本の読み聞かせに継続して取り組んだ学年が、学校の中で一番本を読んでいる学年になった。読み聞かせの力を実感したため、管理職の協力を得て、学校全体で図書の時間の流れを統一して、全学年で読み聞かせを実施した。</p> <p>・5・6年生には絵本の読み聞かせをしない小学校が多いが、絵本の読み聞かせは高学年にもよいと考える。</p> <p>・絵本から読み物への移行が課題で、そのための取組として、校内の読書スペースにかいけつプロシリーズをそろえたところ、ブームになってたくさん読んでもらった。</p>	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
福島区	7月2日	<p>・3人一組で保育所等におはなし会に行っている。実際に活動できるメンバーの人数に限りがあり、活動が多い月は振り分けに苦労している。</p> <p>・赤ちゃんの参加が多く、プログラム作りに悩むこともあるが、司書に相談したら、いっしょに来ている保護者に楽しんでいただけているので大丈夫、と言っていただけた。気軽に相談できる司書がいてくれてありがたい。今後も幼児と保護者が一緒に楽しめる内容を考えていきたい。</p> <p>・小学校のおはなし会に行っている。プログラムを決めるまでがなかなか大変。</p> <p>・市販の絵本をもとに、「さわる絵本」を作成している。視覚支援学校などに持参して授業で紹介したり、貸出をしたりしている。作成は大変だが、障がいのある子どもと健常の子どもが一緒に楽しめるものを目指している。</p>	<p>・デジタル化が進む中ではあるが、絵本をめくり生のお話で聴く、その関わりや空間から感じる親子のコミュニケーションである読み聞かせの良さを伝えていきたい。図書館や本屋さんで絵本を選ぶそのシチュエーションの中で垣間見れる会話やこどもの成長を肌で感じ、こどもの好奇心と一緒に楽しめる保護者が増えるよう願っている。</p> <p>・ブックスタート時の司書のお話(絵本の読み聞かせの大切さ、コミュニケーションのツールとしての絵本が活用できることなど)に、スタッフも学ばせていただいております、他の利用者にも伝えられるようにしている。</p> <p>・100冊の絵本セットの配本を受けている。たくさん絵本に触れることができると好評。</p> <p>・絵本の会による読み聞かせと、保護者向けのおすすめ絵本の紹介がいつも好評。</p>	<p>保育所・幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先日は5歳児が図書館を利用しに行った。各自で1冊ずつ選んで借りた。それぞれ上手に楽しんでいると思う。図書館の利用のしかたを身に付けて欲しいと願っている。 ・図書館のボランティアのおはなし会をとても楽しみにしている。 ・配本された絵本はクラス担任が子どもの興味に合わせて読むなど活用している。 <p>・園内に絵本コーナーはあるが、絵本室がなく、子どもが存分に絵本に親しむ環境の充実に配慮していきたい。</p> <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主幹司書の配置により、貸出が伸びた。 ・就学前の幼稚園・保育所などでの読み聞かせの経験が生きているせいも、1年から2年生の利用・貸出が多く、読み聞かせへの反応も良い。 ・入学予定の子どもが就学時検診(2月)で学校に来た際に、1年生のおすすめ本紹介を見てもらい、気に入った本があれば案内係の5年生が読み聞かせするという交流をした。児童が書いたものは子どもの心に響いている様子。 ・絵本への反応は良いが、その先、文字だけの本の読書へどうつなげるかが、小学校としての課題。担任の希望により、絵本以外の読み聞かせを行い、文字の多い本への誘導を試みている。 ・タブレットによるICT化がすすんでいるが、本そのものに触れてもらいたい。学校図書館でより蔵書を豊富化していく必要がある。 ・高学年の児童が図書館を利用する頻度が低く、なかなか上がらないことが課題。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度まで図書室の運営を中心となって行っていた教員が異動となり、今年度は他の教職員で役割分担しているが、負担になっている面もある。 ・貸出冊数や来館者数を多くすることが目標になりがちであるが、学校図書館は生徒にとっての「居場所」としての役割もあるので、決して来館者数を多くすることが良いとは限らない。そのあたりのバランスを考えながら、読書活動を推進していきたい。 	<p>区役所 保健福祉課</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「赤ちゃん広場」を月1回開催。0歳児の親子が平均して43～46組程度参加。遊びの紹介や絵本の読み聞かせなど。保護者に熱意があり、絵本への関心が高いと感じる。課題としては、0歳児なので絵本の選び方が難しいこと、また、参加人数や見ていただく環境から大型絵本を選ぶことが多く、絵本の種類が限られること。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書との連携が密な学校とそうでないところと差がある。学校司書との連携が密なところは市立図書館への貸出の依頼も積極的なのだが、(図書館)密でなくても、教員から依頼していただけるのでご利用を。例えば、一斉読書は特定の学年だけでも、お試して一度利用してみただければ。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
此花区	6月28日	<p>・新しくはじめた施設でのよみきかせ活動について、参加者が少ないことなど課題が多かったが施設との打ち合わせなどを経てやっとうまくいくようになってきた。</p> <p>・活動ボランティアの高齢化</p> <p>・区内のいろいろな地域で活動したいと思っていて、忙しいが、場所を広げて活動している。子どもたちに絵本、おはなしの楽しさを届けた。どこでも子どもたちは喜んでくれている。これが、うまく小学校、中学校での読書につながっていったら嬉しい。</p> <p>・子どもたちが地域の人の顔がわかるようになるという点でも、地域のボランティアが(学校によるよみきかせで)入る意味があると思っている。</p> <p>・メンバーの確保には苦労している。</p> <p>・以前、小学校で朝読の時間に読み聞かせに入っていたことがあった。「読み聞かせがあった日は生徒が落ち着く」と先生から聞いたことがある。中学校にも入ったことがあり、普段落ち着きのないうちの子がかえってよく聞いてくれた。読み聞かせで通っていると、顔見知りになった子どもが学校の外で会ったとき声をかけてくれたりする。</p>	<p>子ども・子育てプラザ</p> <p>子ども向けだけでなく、図書館館長が講師としてきてくれたボランティア講座で紹介してもらった絵本のように、「親向け」にも楽しんでもらえるようなプログラムも今後取り入れてもらえるとうれしい。</p>	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の増配置については、ぜひとも検討してほしい。(複数校より) ・読書週間の充実を図るため、どのような活動があるのか情報共有をしたい。 ・読書に興味、関心があり、進んで本を読む児童と、活字や文章を読むことや本に関心を持っていない児童との間には大きく差があり、二極化が進んでいる。 ・図書室と教室の距離が遠い。 ・外国語の絵本等について学校図書館で購入するか、市立図書館から借り受けたい。 ・図書室の環境整備が課題。 ・図書館司書と図書担当との打ち合わせ等の時間が取れない。 ・「図書館開放」(休み時間)等の人手が足りない。 ・簡単に取り組める委員会の仕事など教えてもらいたい。 <p>保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・隔週で絵本を貸し出し、週末に保護者の方と読んでもらえるような機会を取り入れている。 ・室内の絵本を定期的に入れかえて、興味が持てるようにしている。 ・図書館からの100冊絵本をクラスで見られるようにしている。 ・担当が1日1冊は全体で読む。 ・絵本の会に来ていただいで読み聞かせ(複数) ・毎日クラスでの読み聞かせや自由に絵本を見る時間を設ける。 ・児童の好きな絵本について保護者に保育所だより等で発信する。 ・毎週金曜日に絵本貸出をして、お家の人と本を読んでもらう時間を持ってもらうようにしている。その時の子供のつぶやきや様子を“絵本カード”に書いてきてもらっている。 	<p>区役所まちづくり推進課(教育支援・環境)</p> <p>「スクールeライブラリー」を導入している。</p> <p>電子書籍は、朝の決められた時間に「読書の時間」がある中学校では高頻度で利用されているものの、「読書の時間」がない(代わりに「ドリルの時間」等に充てられている)中学校については、利用率が伸びない状況にある。</p> <p>学校での「読書の時間」以外の、生徒の自由時間での利用が伸びない原因について中学生に聞き取りを行ったところ、「自由時間の娯楽としては運動・漫画・映像作品など、読書以外にもっと面白いものがある」「そもそも読書自体が好きではない」といった回答が多く、読書に対する心理的な壁が課題だと感じている。</p> <p>区役所保健福祉課 子育て支援室</p> <p>11月に開催しているえほんのひろばに、一昨年度外国につながる親子が参加してくれたことから、外国語の絵本も取り入れてはどうかと図書館より提案を受け、昨年度は多言語の絵本を並べたところ好評だったため今年も継続したいと思っている。</p>

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
中央区 (島之内図書館)	6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響から少しずつ以前の状態に戻りつつある中、皆で楽しみながら活動している。 ・小学校は7校中5校ほど行っていた。昨年度は南大江小学校の1年生向けに行ったが、ほかの学年にも行ってみたい気持ちがある。ただ学級数の増などに対応できるよう訪問する人数など考える必要がある。 ・今後は小学校でのおはなし会が増えればいいな、と考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい絵本展も実施したが、これまで乳幼児が主だったので、そのほかの世代層も狙いたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵本の会島之内のおはなし会は、担任とは違う人たちの接点というのが新鮮で、こどもたちによるこぼれている。毎週1回絵本の貸し出しをしているが、絵本の部屋ができ、良い環境となっている。 ・地域子育て応援団の皆様絵本を知るきっかけを作ってもらっている。大型絵本の配本があればありがたい。絵本のバリエーションが豊富なので、色々取り揃えたい。 ・4歳が絵本やさんごっこをしている。子どもたちが絵をかき、先生が文章をそえてあそんでいる。 ・保護者にも発信が必要と考えている。幼稚園のPTAの担当はコロナ明けから活動が増え、魅力的な環境を整えられるようにしている。課題としては本を面展できていないので、できるように工夫できればと考える ・幼稚園でも子どもの分かる文字の絵本をそろえたい。歌は工夫できるが、字を見ながらだとよりうれしいだろうと思う。子どもなりにいろいろ体験しながら覚えていっているのだと思う。楽しく過ごしてもらえよういろいろ考えたい。 	<p>区役所 小中学校の“推し本”紹介は、まちライブラリー、島之内図書館と連携して今年も実施する。 小中学校図書主任等向けにビブリオバトル研修を実施した。今年度中学校2校でビブリオバトルを実施予定。</p>

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
港区	6月29日	<ul style="list-style-type: none"> 図書館内でのおたのしみ会の実施。 港区内の小学校でおはなしを中心とした授業を1時限担当。 高齢者施設、子育て支援センターや子育てプラザや各保育所でのおたのしみ会実施。 他区のおはなしの会との交流会に参加。 ステップアップ講座を実施 今年度は新たな取組みとして、小学生の夏休みや春休みの期間に、幼児や低学年向けのイベントを行う予定 乳児から就学前のこどもを対象に活動してきたが、今年度からは新たな取組みとして年長から小学校低学年向けの4～6歳を対象としたおはなし会を実施予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎第2木曜日に大阪市のブックスタート事業を実施 利用者への読み聞かせや絵本の紹介(随時) 屋外イベントにて、赤ちゃん休憩所を兼ねた絵本を楽しむスペースの提供(えほんひろば型) 図書館から借りた絵本を活用し、自由に絵本に触れ、見たり、読んだりしながら友達や親子で絵本を通して交流できるような環境を整えている。 児童ボランティアによる読み聞かせ実施。 日々の遊びの中で、本に親しめるように本棚にコミックを含め子どもたちの興味、関心をひく図書を並べている。 あそびのひろばに絵本コーナーを設置 施設所有および図書館配本セット絵本の貸出 地域の子育てサロンでの読みきかせ 「港区こどもの学び応援事業」の「OSAKAみなどみらい教育ネットワーク」の教育課題についての講師招へい事業の中で、区内小中学校が選択できるメニューの一つとして「絵本ひろば」を実施。令和5年度においては3小学校において全学年を対象に実施し、参加した9割以上の児童が楽しかったと回答している。 	<p>保育所・幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 家庭への絵本貸出 ボランティアによるおはなし会実施 教員による読み聞かせ実施 図書館の配本を乳児、幼児期でクラスごとに分けて保育室に置くことで、各クラスで活動前の読み聞かせ等の際に気軽に手に取れるようにしている。 乳児・幼児それぞれのクラスに分けた絵本をローテーションして図書館から借りた本を楽しめるようにしている。 毎週絵本貸出を実施し、持ち帰り、家庭で読書を楽しんでもらい「絵本カード」に感想を記入して担任と共有。 4、5歳クラスが図書館に出向き、絵本を借りる。 0、1歳児は絵本を通して擬音や言葉遊びを楽しむ。 年長児はお話を元に劇遊びに取り組む。 保護者負担で購入した月刊絵本を日々の保育で活用し、月末に全園児が持ち帰る。 <p>小・中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 低・中・高学年の団体セット貸出 朝読の実施 週1回の読書タイムの設定 学校司書、図書館ボランティアや図書館支援員による読みきかせ 月1回読書朝会での教員の本の読みきかせや紹介 図書委員会による本の読み聞かせ 教室前に本の配置 学校図書館に入れてほしい本をアンケート調査(教職員と生徒対象) 図書ポスターの掲示 生徒委員会による学級文庫の選書 ビブリオバトル(中学2年生) 図書館開放、スタンブラリー週間の実施 絵本のひろばの実施 読書週間を作り読書ビンゴをしたりしおりの手作りを実施 図書館開放 図書の時間にブックトークやアニメーションなどの活動実施 	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
大正区	7月10日	<ul style="list-style-type: none"> 大正図書館の乳幼児向け定例行事の参加者が最近少ない。 「おはなし」は字の読めない子どもも楽しむことができ、出典を紹介することで本を読むきっかけになるので、もっと活動を広げていきたい。 課題は、メンバーの不足と高齢化。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊び場に本棚を設置し、施設利用者が自由に読めるようにしている。 絵本より、テレビ・ビデオをつい見せてしまう保護者が増えているので、一人一人の子どもの興味に合う絵本を紹介し、絵本を親子で見るとのきっかけ作りをしていきたい。 毎日、保育の合間には必ず絵本の読み聞かせを行った。 	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校に届く子ども向けの新聞をもっと読ませたい。 学校司書の配置を継続してほしい。 文章力をつけることを目標に、セレッソの読書手帳とは別に学校独自の読書ノートを活用している。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 休憩時間が短く、図書室を開放しても読書する生徒が少ない。 	<p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪市「令和5年度子どもの生活に関する実態調査」の結果によると、授業以外の一日の読書時間は、「まったくしない」と「30分より少ない」を合わせると当区は5割以上で、他区より圧倒的に多い。児童いきいき放課後事業で読書を促すようお願いしている。
天王寺区	7月5日	<ul style="list-style-type: none"> 保育所、幼稚園、子育て支援施設での絵本などの読み聞かせ、図書館での絵本などの読み聞かせを実施。 実施施設への大型絵本やおはなし組木、パネル台等の運搬に苦慮している。図書館に支援いただきたい。 小学校でのおはなし会を中心に、図書館でのおはなしのじかん等を担当。小学校のおはなし会ではストーリーテリングとブックトークを行っている。 	<p>子ども・子育てプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ブックスタートの日に「絵本いっぱいの日」を実施。利用者が図書館司書に絵本に関するアドバイスがもらえる貴重な時間になっている。 つどいの広場で毎日大型絵本を読んでおり、楽しみにしている来館者も多い。 <p>子育て支援施設</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日の遊びの終わりに絵本を読んだり、行事の終わりには大型絵本を読んで楽しんだ。 毎月月刊絵本を購入し、誰でも読める本箱を増やした。 	<p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園の本や配本の絵本の読み聞かせをしている。 絵本の貸出を行い、親子で絵本を楽しめる機会を作った。 昨年度の連絡会でも発言したが、絵本の会天王寺がおはなし会に来られる時の大型絵本等の運搬について図書館で予算をとって運搬手段を確保してもらいたい、というのが区内公立幼稚園5園共通の希望だ。 子どもの集中力が短いので、少し長い話や文字が多いものへの興味が薄いのが課題。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 主幹学校司書配置校では、3年目となり不読率が改善された。図書室は調べ学習ゾーンと読み聞かせゾーンに分け、調べ学習の充実をはかっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 区内に外国につながる子どもが増えてきている点について、区役所、各施設や学校園ともに実感として感じている。子どもたちは日本語を覚えるのが早いですが、保護者は覚えるのに苦労しているようだ。 図書館では8/20にいろんなことばのおはなし会の開催を予定しており、今後も読書についてニーズをつかめればと考えている。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
浪速区	6月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが明けて活動場所も戻ってきた。ボランティア講座を受講された方が一緒に活動できることが子どもたちの読書支援になっているかと思っている。 ・催しの周知の仕方 チラシ作成で配布だけではなかなか集客に至らず、いい方法があればアドバイスをお願いしたい。SNSなどを利用するか平素でもスタンプを集めるような工夫をしたほうがいいかもしれない。 ・えほんのじかんの担当の際、参加者の有無や年齢が始まるまでわからず、絵本の準備が難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ブックスタートの周知拡大が課題 ・日本語の絵本の外国語版の設置 	<p>保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団に向けての読み聞かせと、少人数や1対1での読み聞かせの機会を両方大切にしていきたいと感じている。 ・毎回年2回の配本を希望しているが、希望が通らず年1回の配本になっている。子どもたちがさまざまな絵本に触れる機会を多く持てるよう、年2回配本していただけるとありがたい。 ・経費の都合上、なかなか本が増やせない(絵本単価が高いため)。 ・外国籍児が多く、多文化等の絵本(言語に応じた)が少ない。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の利用統計を見ると、本の貸出は授業時間(図書の時間)内がほとんど。 ・授業以外の自主的な図書館利用、次の読書へどうつないでいくかが課題。 ・文字が多い小説を読む児童が少ないように感じる。高学年でも文字が少ない絵本を読んでいる様子が見られる。 ・絵本や文字の少ない本から、物語や読みごたえのある本へつないでいくことが課題。※複数校より同意見 ・放課後は習い事など忙しく図書館のえほんのじかんの参加が難しいよう。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の利用者数の伸び悩み。※複数校より同意見 ・朝読の推進 	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
西淀川区	6月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアメンバーが高齢化し、活動場所までの大型絵本やおはなし組木などの絵本等の運搬が負担となっている。 ・館内でのイベントに小学生の参加が少ないので、9月からの小学校での読み聞かせの際に広報をしていきたい。 ・おはなし(ストーリーテリング)ボランティアメンバー増員のため養成講座を毎年開催しているが、参加者も少なく残って活動してくれる人が増えない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央図書館以外の地域の図書館に多言語の絵本が多く設置されると地域全体が多文化に意識を持てるのではと思う。 ・YouTubeで絵本を見せる保護者がいる。繰り返しページをめくる楽しさを伝えていきたい。小さいうちから絵本が大事という感覚が大切だと思う。 ・保護者同士の話題がYouTube等の動画に関することが多く、絵本や読書の体験が減っているように感じる。 ・毎日あそびの時間の最後に大型絵本や触れ合いあそびをして、お帰りの時間をしている。毎度それをする事で子どもたちもあそびから帰宅へ気持ちが切り替わることができている。大型絵本の「びょーん」や「だるまさん」シリーズは子どもたちにも大人気で、絵本の楽しみ方が成長に伴い変化していく様子を見ることができる。保護者の方が成長を喜んでおられる姿も見られる。 ・好きな絵本をすぐ手にできるように設置するとともに絵本コーナーを広げていきたい。 	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本好きの子どもを育てるのにまずは担任が本を好きになり、読み聞かせや本の紹介を積極的にやって欲しいが、担任によりバラつきがある。 ・本を読む・読める児童と、本を読まない児童がはっきりしてきている。「読みたいけど読めない」「読めるけど読まない」へのアプローチの仕方が難しい。 ・図書室への来室者は多いが、落ち着いて本を読む児童が少ない。文字量の多い物語を手に取り、読める児童を増やすために取組として、おためし読書を考えている。 ・学校内の各教室から図書館までが遠い。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室を「まなびスタ」(放課後学習会)の会場として使用し、図書室の利用者数の増加と、本に触れる機会の増加を図った。 	<p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てを応援する担い手育成・地域連携事業」の一つとして、年1回2日間続けて「えほん展 えほんとおそびのふわふわランド」を実施。続けていきたい。
淀川区	7月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の幼稚園や保育園等に行くときに、大型絵本、パネルシアターやおはなし組木など大きいもの、重いものの運搬について、負担が大きい。また、自転車等に載せると、危険も伴うため大変苦慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が多いところでの読み聞かせに、大型絵本などを利用したいが、なかなか図書館からの借受・運搬が難しい。大型絵本も配本で運んでもらえると大変助かる。 ・子育て支援センターなど、0歳から2歳の子どもの利用がほとんどのため、配本セットの3歳以上の本が利用できない。乳児用の絵本をもっと多くしてほしい。紙芝居、大型絵本もセットにしてほしい。 ・児童の本離れが気になっている。漫画を読む集中力はあるので、職員が読み聞かせをして読書のきっかけにしたい。 ・中国、韓国を中心に多国籍の児童が増えている。多国籍の児童との交流も区の課題であるため、多文化交流イベントを企画中。 	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館の読み聞かせボランティアグループが月に1度読み聞かせをしている。 ・年に3度(学期に1度)読書週間を実施し、図書委員会の読み聞かせ、チャレンジカード等を行っている。 ・学校司書による、課題図書のブックトークが児童から好評。 ・小学生が選ぶ！こどもの本総選挙に参加した。 ・読書カードに、貸し出し2冊分のスタンプがたまったら、手作りのガチャをひいてしおりや貸し出し1冊券がもらえる。 ・図書館に来る子が少ないので、スタンプラリーを企画。 ・読書をする児童としない児童の差が激しい。 ・教師間の図書館に対する意識の差が大きいように感じる。 ・学校通送の予約がなかなかとれず、返却日に間に合わないことがある。 ・図書主任以外の教員に図書館を知ってもらうために、蔵書点検に参加してもらうようにしている。 ・高学年になると、忙しくなり、図書の時間も取りにくくなり、読書をしにくくなる。 	<p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内小学校・中学校から情報収集し、区広報紙、区役所ホームページにて学校図書館ボランティアの募集、淀川図書館との共催の学校図書館ボランティア講座を実施している。 ・絵本展「ものがたりのちから」を、学校図書館の読み聞かせボランティアグループや区内施設、専門学校等と協力して行っている。実行委員は区広報で公募も行っている。 <p>区社協</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内の生活にお困りの家庭を支援する「こどもレスキュー事業」で学習支援として「勉強の時間」を実施しているが、令和6年度は「読書の時間」も合わせて実施。 ・子どもが店員となる「こどもカフェ」で、絵本を自由に読めるようにしている。 ・区社協で所蔵している児童書が少ないので、図書館の団体貸出も利用予定。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
東淀川区	7月2日	<ul style="list-style-type: none"> 東淀川図書館行事に参加。本年度は、グループ活動25周年記念おはなし会を、図書館フェスティバルで開催した。 保育所・つどいの広場でのおはなし会。 小学校でのおはなし会。小学校放課後いきいき事業でのおはなし会。 区民会館、地域フェスタへの参加(大型絵本の読み聞かせ、One Book One OSAKA展示・投票など) 地域の子育てサロンでも、参加者0のこともある。 「校区外に、子ども一人で行ってはいけない」という学校の指導が徹底して以来、子どもが来なくなった。来館中の親子をおはなし会に誘っても「用事がある」「急いでいる」などと断られることが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 絵本貸出(週1回/月1回等)、親子で絵本を読む日(座布団読み。月2回)、地域のボランティアによる絵本の読み聞かせやパネルシアターの定期的な実施。 中央図書館から借りた100冊絵本の貸出。 絵本コーナーの設置。 ブックスタートの実施。 寄付などで絵本を頂くことがあり、感謝している。頂いた絵本をコーティングシートで痛みを防ぐようにしている。大事に活用してくれている方が多いなか、ときどき痛々しい姿が返却されることもあり、「大切にしてほしい」を伝えていかないといけない必然性を悲しく思う。 家庭で絵本を見る機会が昔に比べて少なくなっているような気がする。外国籍の保護者・子どもも増えてくる中、絵本のすすめ方も難しく感じそう。 絵本の破損などで買い替えたいが、予算に限られるなか、なかなか難しい。中央図書館から配本される100冊絵本を利用し、いろいろな本に触れる機会にしている。 SNSの広がりなどにより、映像等へ小さい時から親しむことが多くなっていて、子どものみならず親の世代も、絵本や文章に接することが少なくなり、絵本への親しみが薄れているように思う。親子とともに絵本の楽しさを知っていただければいいなと感じている。 	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業やボランティアの方の定期的な読み聞かせの実施。 各学期に3分間読書(おためし読書)の実施。 読書月間に読書ビンゴや読書マラソンにより、読書の増加を目的として推進している。 読書ノートや読書手帳の活用。 図書委員による推し本や読書郵便、課題図書のポスター、児童集会での読み聞かせなどにより、本の紹介を行っている。 主幹学校司書の週4日配置が、予算の都合でなくなるかもしれないという心配がある。ブックスタートに始まり、保育所・子育て施設・図書館での読み聞かせ、小学校での読み聞かせ・調べ学習に至るまで、子どもの読書はひとつの「線」となって続いている。今後も子どもの読書を支え続けたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館行事への参加が、新型コロナ以前よりも少なくなった。図書館が遠くにあることも一因か。遠方の方々には、自動車文庫の利用を薦めている。
東成区	7月26日	<p>ボランティアグループ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校おはなし会の派遣校数がコロナ前に比してまだ少ない。 図書館でのおはなし会の日時設定が学校が水曜日に午前授業だった頃から変わっていない。参加層も小学生はほとんど見られず、低年齢層に変わってきている。 	<p>子ども・子育てプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度図書館と共催したえほん展が好評だったため、今年度も実施予定。 配本事業で借り受けた本の貸出も好評である。 	<p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の貸出や配本の活用をしている。 月1回のボランティアによる読み聞かせも実施。 5歳児の図書館見学も実施した。 <p>保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> クラスでの読み聞かせの時間や、ボランティアの読み聞かせを実施。 保育所だよりのほかにアプリで本の紹介や読み聞かせの様子を配信している。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 主幹学校司書により、「おためし読書」などで新たな本に触れてもらう機会を作ることなど、内容を濃くサポートできている。 <p>児童いきいき放課後事業</p> <p>読書環境を整えるのは難しいが、自主学習の後で読書の時間を作っている。本も学校図書館から借りるなど充実をはかっている。</p>	<p>(質問)コロナ後で気になることなど</p> <p>児童いきいき放課後事業</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ前は参加していた図書館など外部の催しなどに参加しなくなって、集団で外に出ることに慣れていない子どもたちになり、責任者も連れ出しにくい。 <p>保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> 行事の復活のときに本当に必要なものか再考する機会になった。 外に出る経験の少ない子どもと外に連れ出す経験のない職員が増えて、園の外にでるのに時間がかかった。 <p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 現状を見つつ選んで行事をちよつとづつ復活させている。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
生野区	7月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前には「膝に園児を乗せて読んでほしい」という要望があり人数が必要だった(6・7名で訪問していた)。コロナ以降は演者と園児間に距離を保っているが仕方ないと思う。 ・幼稚園や保育所への訪問時に、外国籍の子どもが多いと感じる。日本語のわからない子への働きかけを保育士等が工夫している。意思疎通のカードを使用しているのを見て感心した。 ・(区内小学校への読み聞かせをしているグループより)雨天時の荷物の搬出入が大変である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国籍園児に向けて、絵本の紹介に取り組んでいる。 	<p>保育所(園)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週に一度「絵本の日」として降園時に親子で絵本を読む機会を設け、貸出も行っている。保護者に向けての試みとして「大人向けの絵本」の設置をした。 ・外国籍の子どもは、園では日本語を、家庭では母語を使用している。2歳くらいになると、保護者には母語で保育士には日本語で使い分けしている。この様子を見ると、幼少時からの集団生活が言語の拾得に重要だと感じる。 ・(外国籍の子どもについて)ポケットク(AI通訳機、アプリもあり)使用、両方の言葉を互いに理解している。外国籍の子どもが興味のある絵本を指して何か感想を母語で話している際に、その言語が理解できるように使用。伝えたい内容がわかると、お互い理解が深まる。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国籍児童の増加により、50～100冊中国語書籍コーナー新設。保護者にも好評。中国語図書の選定方法が課題。(民族学級がありハングル図書は既存している。) ・図書館開放時の来館児童数は多くはなく、図書館への来館が読書体験に結びついているかは何とも言えないが、居場所として存在させたい。 	<p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(外国籍の子どもについて)母語もあやふやな中で、日本語の環境に慣れるのが大変。その子どもたちも、日本語をシャワーのように聞いて馴染んでいくと、日本語への理解力が定着していく。はじめは慣れなくても、絵本を開かせていくと理解が進んでいくように感じる。 ・(区内私設図書館での府立高校生の多言語での読み聞かせについて)高校生だけの活動にならないように、活動を周囲に発信はしているようだが、なかなか気づいてもらえない。小中の国際クラブなど、いろんな子が活動に興味を持って、関わられるようになれば良いのと思う。 ・授業の中など学校の活動では、外国籍の子どもは自身の母国やルーツを紹介している。聞いている他の子どもは他国への興味を持つようになる。 ・学校の枠を超えて、小中高の様々な活動に繋がりが出来ればもっと大きな成果になると思う。
旭区	7月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなか新しく入ってくれた人が定着せず、年々活動できる人が減っていることが悩み。 ・新規メンバーの指導がなかなかできなくなっているため、今年度は新規募集をストップし昨年度登録してくださった方の指導をしていくことにした。 ・なかなかメンバーが集まらず、活動が徐々に縮小している。 ・自分たちのお話の活動を次世代につなぐのが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンで絵本を貸してほしいという要望があり、子ども・子育てプラザにある絵本や大型絵本を貸出して、地域での読み聞かせに活用してもらっている。 ・月齢に合わせて、人気のある絵本を紹介したり、絵本選びの相談にのっている。 ・おはなし会にはだいたい5～6組の方が参加、参加者はどんどん低年齢化しており、赤ちゃんが多い。 ・子どもが絵本を口に入れ、それを見た保護者が手の届かないところへ移動させていることが時々あるが、遠ざけるのではなく、子どもの興味を大切にして読み聞かせにつなげてもらうのが課題と感じる。 	<p>保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園日よりや玄関掲示でおすすめ絵本の紹介を行っている。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通年での読書記録で表彰していたが、今年度は学期ごとに読書記録をとって表彰する。 ・図書委員会でおすすめの本を紹介したり、週1回、委員会の子どもたちがピロティで紙芝居を読んでいる。 ・本の整理整頓ができていない。どう指導すればよいか悩んでいる。 ・地域の図書ボランティアを活用し、朝の読み聞かせを行った。 ・課題に感じていることは、本を読むことに興味を持ちづらい児童に対する手立てと、子どもの読みたい本に偏りがあること。 	<p>区役所</p> <p>「全国学力・学習状況調査」の「読書は好きですか」等の調査で、全国に比べて特に中学生の数字が芳しくないところが大阪市の特徴であり、課題だと思っている。</p>

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
城東区	6月21日	<p>・子育て支援施設における読み聞かせについて、コロナ後はなるべく年代を分けて実施している。</p> <p>・何よりも子どもの想像力を向上させることを主眼において活動している。</p> <p>・児童発達支援関連の活動ということで、直近でイベントを予定している(育ちが気になる子どものためのお楽しみ会)</p>	<p>・絵本の読み聞かせについて。場面に応じて読み方も変えたりして実施している。午前中は小さい子が多い。放課後はみな忙しくてなかなか来れないが、休日は幅広い年代の子どもたちが来てくれる。</p> <p>・絵本展開催について。3日間、図書館に協力してもらい、面展台で壁一面に絵本を並べ、初めての絵本の選び方を保護者に伝えるという取組を11月の城東区の絵本月間に実施した。</p> <p>・月刊絵本「こどものとも0.1.2」を設置している。内容的にも安心できる。また、手を切ったりしない分厚さがよく、毎月購読し、手の届くところに置いている。</p> <p>・絵本コーナーで「絵本を読んでみよう・見てみよう」という声掛けをしている。実態として、3歳くらいまでの乳幼児は、午前中から2時3時まで在館するが、このコーナーの利用はわずかである。遊戯室はどうしても乗り物のおもちゃ等に目がいってしまう。図書室の小中学生はことわざ辞典・少女漫画、漫画など、絵本以外のものを見ていたり、手遊びをしている。</p> <p>・貸出絵本の再開を検討している。以前のように、気に入った本をお試し感覚でちょっと持って帰ってもらっているような取組を想定している。</p> <p>・全体的に本でも(おもちゃでも)子どもが主体で、子どもが本を手取るのを「見守る」お母さんが多い。また、場所の特性上、自動車文庫の掲示もしている。ただ、実際に自動車文庫にどれぐらいの人が来るのかは不明である。</p> <p>・コロナの影響もあって、保護者は届くけど、小さい子どもは届かない、というラインに絵本を置いている。保護者と子どもと一緒に自由に絵本を触っている様子が見受けられる。</p> <p>・城東区の絵本月間に、つどいの広場職員による読み聞かせをしたいと思っている。毎年の継続を予定している。城東絵本の会ボランティアに毎月、ブックスタートの後に読み聞かせをしていただいているが、我々、職員も今後、保護者と子どもに絵本に興味を持ってもらえるように、積極的に読み聞かせをしていきたい。</p>	<p>幼稚園</p> <p>・外国につながる子ども、また、支援が必要な子どもが増えている。集中・興味という意味で、全体での読み聞かせがなかなか難しい。4.5歳児でも月刊絵本「こどものとも0.1.2」といった実年齢より低い乳幼児向けの絵本を入口として提供するという働きかけをしている。</p> <p>小学校</p> <p>・「読書の樹」の作成を行う。春・葉っぱ、夏・花などの形の紙を子供たちに渡して、面白かった本、感想を自由に記入してもらい、1年間の樹の成長を楽しむ。</p> <p>また、読書感想文の課題図書の「ビブリオトーク」を実施した。登場人物の関係性等を示したスライドショーを用い、本を読んでなかった子も、読むような働きかけを意識した。</p> <p>「ビブリオウらない」は、「お手伝いをするといいことあるよ」といった「おみくじ」を本と一緒に渡すものである。子どもたちも喜んでくれる。「詩のお試し読書」は、先生からの「もっと詩を読んでもらいたい」というご意見から生まれたものである。1分から3分で読める詩をテーブルにたくさん並べて、投票できる、という形態を採用した。投票できる、というのが子どもたちにとっては楽しめるポイントであった。その中から、例えば、谷川俊太郎「ぼく」の良さに私や先生も改めて気づく、という発見もあった。週4日の配置ということで、先生や子どもたちとの関わりの中での発案も多くあり、活動の幅を広げる現況にある。</p> <p>課題として、特に高学年は、「3分後に～」、「5分後に～」など、手軽に読めるものを求める傾向が年々増加している。出版もどんどんされ、買わざるを得ない。読みもの以外でも、算数・漢字など、短時間で結果が出るものを求める。低学年でも「漢字辞典」を借りたいといった状況である。司書という職業であるので、手軽なものばかりでなく、内面の成長につながるような読書を子どもたちにしてもらいたいと思っている。短い時間でも可能なビブリオトークなどの活動は、それを目的に行っている。</p> <p>小学校に入学した子どもたちは、絵本が好きでいてくれて、「あんな本読んだよ」、「こんな本がおもしろいよ」と言って、色々、教えてくれる。子どもたちが絵本を好きでいてくれるのは、保育所、幼稚園時代に先生やここにいらっしやる皆さんが育ててくださったからだ、改めて実感し、感謝している。</p>	<p>図書館</p> <p>子どもたちに人気の図書に関するアンケートを実施した。</p>

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
鶴見区	6月28日	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度は学校からの要望を受け、区内全小学校12校の全クラスで年1回のおはなし会を実施。 いかにして本に興味を向かせるかが課題と考えている。昨年に引き続き、ブックトークの取り組みを始めている。 今年度4月に発足。人形劇はおはなしから作る。人形劇を通しておはなしの世界を子どもに楽しんでもらい、読書につながるようにしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和6年度5月より、ブックスタートのシナリオを元に保護者にわかりやすくブックスタートの意義を伝えるために紙芝居を作成してブックスタート事業を実施している。 年1～2回、図書館司書に来ていただき、1～3歳ぐらいの子どもを対象にした絵本講話(年齢に合った絵本の選び方、おすすめ絵本の紹介)と絵本の読み聞かせを実施予定。 図書コーナーの充実を図る。 絵本展の開催。 本や読書に親しむことができるきっかけづくりが課題。 	<p>保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> 保育所の絵本は、種類も数も限りがあり、図書館から借りてきた絵本が大いに役立っている。 絵本は破損も多いが、予算的に新しい絵本の購入は難しい。 <p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前は暗かった絵本の部屋を片付け、机といすを設置し、子どもたちが本を手に取りやすくなるよう整備した。その際図書館からも助言をもらった。子どもたちは絵本が好きで、絵本の部屋に行くことも増えている。 毎週末、子どもたちに絵本の貸出を行い、家でも絵本を読んでもらう取り組みをしている。家で読んだときに子どもがどんな様子だったか、保護者に「絵本カード」を記入してもらっている。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年は夏休み中も図書館開放を予定している。もっと図書館開放をしたいが、担当教員が忙しく、時間を確保することが課題。 子どもたちの欲しい本を学年毎にアンケートを行った。 古くなった本の整理など、図書室の環境整備を進めるとともに、図書室以外の場所でも本に親しめるよう、ピロティなどを活用して本や新聞を読めるようにしている。 読書の木を貼って本を身近に感じてもらう取り組みをしている。 子どもたちは3年生でも『サバイバルシリーズ』などマンガばかりに手を伸ばしており、絵本を勧めても「知っている」で終わってしまうことが課題と感じている。 月に2回、朝の時間にボランティアによる読み聞かせをしている。 学校司書がいる日には1、2年生が図書の時間に図書室にくるので読み聞かせを行っている。 高学年でも物語を読む児童が少なく、「どっちが強い」シリーズなどマンガを手取る子どもが多い。ライトノベルを入れるようにしている。 図書館開放を週1回行っているが、毎回児童が100人位来館するため、座る場所がない。どのように図書館開放を行っていくかが課題。 図書館以外に全学年が共有する本棚がある。 毎昼休みに図書館開放をしているが、大人がいないので貸し出しができないことが課題。 自由読書を各クラス月に1回程度行っているが、読みたい本を選ぶのに30分位かかってしまう子もいる。そのため読書にあてる時間が減ってしまうことが課題。 	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
鶴見区				<p>・今年度、学期ごとに読書支援用の図書の貸出を各学年30冊鶴見図書館から借りている。学年に合わせて本を選んでもらっているが、やはり高学年は長い物語を読めない児童もいる。2学期以降はもっと読みやすい本を多くしてほしい。</p> <p>・週4回学校司書が勤務しているため、図書室や本に親しみをもってもらえるよう、読書相談や、アニメーション、ブックトークなど様々な取り組みを行っている。</p> <p>中学校</p> <p>・3年間全く図書室に来ない生徒の方が多いことが課題。</p> <p>・図書館をよく利用する生徒と全く利用しない生徒の二極化が気になる。図書室へ足を向けてもらえるように昨年も好評だったガチャイベントを実施予定。</p> <p>・読書の樹やおすすめ本のPOPを作成している。</p> <p>・学校図書館を毎日開館している。不登校傾向になる生徒の学習の場(居場所)の1つとして機能している。</p> <p>・朝読書のための学級文庫の設置。</p>	
阿倍野区	6月27日	<p>・小学校5～6年生に向けた絵本選びは難しいが考えるのが楽しい。子どもたちから力をもらっている。</p> <p>・距離の問題もあるのか、図書館を知らないという保護者が意外と多い。絵本と触れ合える、ボランティアが赴いて活動できるような拠点があればいいと感じる。</p> <p>・若い保護者にはチラシは好まれないため、草の根活動のためにInstagramでの情報発信が重要。図書館の情報発信にぜひInstagramを採用してほしい。</p> <p>・子どもの読書傾向にも格差があると感じる。読む子はとことん読むが、読まない子は全く読まない。大阪市は分母が大きいので、統計としては低く出ているだけのようにも思う。</p> <p>・本を読むことによって心の中に人生を通じて支えとなるもの(ヒーローのような)を構築する力が物語にはある。その力を信じてやっていきたい。</p> <p>・今年度より学童保育での読み聞かせを再開(3施設)。</p> <p>・人数が少ないグループのため、図書館での活動を頑張ろうと思っている。行事では絵本をたくさん準備して、その場その場の参加者や雰囲気に合わせて絵本を選べるようにしている。</p>	<p>ひろば(大阪市地域子育て拠点事業施設)</p> <p>・ブックスタートのほか、絵本の貸出、保護者向けの本の貸出、読み聞かせ団体による読み聞かせイベントの実施。</p> <p>・ブックスタートには多く保護者が利用してくれている。施設を知ってくださるのは、区役所での健診の機会が多いので、できるだけ働きかけを行うようにしている。</p> <p>・保護者から、子どもにいつから読書について関わったらよいかわからない、と尋ねられることがある。そのつど説明をしているが、もう少し周知する方法などがあれば良いと感じる。</p> <p>地域文庫</p> <p>・週2回の開館(貸出・読み聞かせ)、子育て支援施設での読み聞かせ</p> <p>・父親も含む親子での利用する人が増えている。</p> <p>・建物老朽化(雨漏り部分修繕中)、書籍の所蔵場所、スタッフの確保が課題。</p>	<p>保育園</p> <p>・保育士による絵本読み聞かせを1日1回以上実施。子どもが選んだ好きな絵本を、保育士がお膝の上で読んであげるといった活動をしている。</p> <p>・日々の保育で毎日必ず絵本を使い、読み聞かせを重ねる中での子どもの変化・成長を記録している。子育て支援講座、ミニイベントで「スマホ育児→絵本の活用」を推奨している。</p> <p>・図書館が歩いて行ける近所がないことを懸念。子どもたちが本に親しめるよう、身近にたくさん図書館があると良い。</p> <p>幼稚園</p> <p>・毎週絵本の貸出し、家庭で本を読んでもらう機会をつくっている。また、絵本カードを作成し、家庭で読み聞かせをした時の子どもの様子などを記入。</p> <p>・今年度より保護者の有志で、絵本の読み聞かせを実施予定。</p> <p>・職員が絵本を選ぶと好みによる偏りが出がちなので、図書館ボランティアの方の読み聞かせを参考にしている。</p>	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
阿倍野区	6月27日	<p>・年1回小学校の授業の1時間を使わせてもらっておはなし会をしてきた。素話(ストーリーテリング)に重きを置いてきた。阿倍野区の全ての小学校と連携してきた活動が積み重なり、中学生の読書離れを食い止めているように思えてうれしい。読書体験は家庭環境によるところが大きいと実感している。図書館に来る機会がない子どももいる。そこを取りこぼさないための学校での活動でないかと考えている。ボランティアとしてそこを大切にしていきたい。</p> <p>・図書館の行事では、1歳未満の子どもが多く、大型絵本は、しっかりと見てくれるように思う。大型絵本の種類が増えると嬉しい。</p> <p>・午後開催の赤ちゃん向けのおたのしみ会を担当。参加の親子が少人数ながら、おたのしみ会を目的に来て下さる方が増えてきた。乳児の参加が多いので、もう少し近い距離で読み聞かせをできる環境を作りたいと考えている。また、ブックスタートボランティアとしても子育て支援施設で活動している。絵本を真ん中に皆が繋がっていけると感じる。とても充実した活動をしている。</p>	<p>親子のつどい(阿倍野区10地区)</p> <p>・最近家庭で絵本の読み聞かせをされる保護者が多く、子どもの読書習慣もあるように思う。一方では、YouTubeなど見ている時間も多く、その分、読書時間が減少しているようにも思う。多くの小中学校で読書の時間を設け持参した本を読むことは、本に興味を持ち、本の魅力を感じるとても良い機会。</p> <p>・ブックスタート事業を今回初めて知ったが、絵本に触れ合ってもらえて、保護者の方と子育て支援活動とを繋ぐきっかけになるとも良い事業だと感じた。親子のつどいの参加者の月齢もおおよそ1歳までと低年齢になってきている。</p> <p>・図書館の事業について今回知ったことを持ち帰り地域の「親子のつどい」で活用を検討したい。</p> <p>・若い保護者の意識が高く、絵本や手遊びにも興味を持って参加、保護者同士の情報交換も活発である。</p>	<p>小学校</p> <p>・ボランティアによる朝の読み聞かせの実施。シャッフル読書(教員が受け持ち以外のクラスに赴いて読み聞かせ)を行っている学校もある。</p> <p>・読書週間などの一定の期間内におすすめ本の紹介を放送したり、分類ビンゴ(借りた本の分類でビンゴ)、読書カード、読書ノートなど。区内の各学校でも読書週間の取り組みをしている。</p> <p>・図書室から遠い教室の児童にも利用を促すために、「とこと本屋さん」(いわゆる移動図書館)の試みを実施している学校もある。</p> <p>・廃棄図書の譲り渡し「お譲り会」を実施している学校がある。</p> <p>・各学校で図書館のオリエンテーションに取り組んでいる。図書室ツアーなど</p> <p>・課題としては、図書室の位置により、活用しにくい状況がある。</p> <p>本校と分校に分かれていて、分校には図書室がない学校では、図書の時間についても2学級で1時間の利用時間を分け合う状態のため、学級文庫などの方法で児童が本に触れ合う機会は確保しようと努めている。</p> <p>・選書についても課題あり。教員は児童が読んでくれる本を選びたい傾向があるが、学校司書はあらゆる分類の本を揃えたいと思ってきている。</p> <p>中学校</p> <p>・図書の時間があるというのはとてもいいことだと感じていた。中学生の場合は時間が限られていて、教科で調べ学習時に利用するか、開放されている休み時間に限られる。</p> <p>・スクールサポートスタッフ(司書の資格があるスタッフ)が週3回図書室に入り、学校司書と協力して活発に活動している。図書室の稼働率が高い。乳幼児期から子どもの成長の様々な場面で取り組んできていただいた成果とも感じる。</p> <p>・ビブリオバトルに取り組んだ。校内予選を行い、代表が全国大会に出場して2位になった。</p>	

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
住之江区	7月9日	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に応じてプログラムを組み、読み聞かせをおこなっている。 高齢者施設で読み聞かせをする機会が増えた。 高齢化もあり、新しいメンバーを増やすことが課題。 	<ul style="list-style-type: none"> 司書による絵本に関する講座を開催してほしい。 絵本コーナーを設置したり、終わりの会の時に読み聞かせをしたりして、絵本にふれる機会を設けている。 	<p>保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい取り組みとしてアニメーションを考えており、図書館での研修があれば受講したい。 配本や大型絵本の貸出などをお願いしたい。 ボランティアの読み聞かせは高齢者と園児の交流になり良い刺激になっている。 親子で絵本に触れる機会を増やしていきたいが、各家庭への働きかけが難しい。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 図書室の整備や読書の時間、オリエンテーションを実施する時間の確保が難しい。 高学年の読書離れが問題。 	<p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> 子育てサークルで大型絵本の読み聞かせをおこなった際、子どもたちの反応がよかったため、今後も大型絵本を活用したい。
住吉区	7月5日	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用や家庭の読書状況は、子どもたちの家庭の差が大きいとつくづく感じる。図書館で活動していると、そこに来れない子どもたちのことについて考えてしまう。 メンバーの高齢化が進んでいる。 古くなった紙芝居でも、昔のままの内容のものを廃棄せず残してほしい。 絵本の修理講座を開催してほしい。 地域文庫の当番をする人、読み聞かせをする人が少ない。 図書館での小学生対象の“おはなしのじかん”は、実際は小学生の参加が少ない。参加者の低年齢化のため、対応に苦慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> 読書に関するイベント等を実施するが、参加者が集まらず、具体的なプログラムや実施内容に苦慮している。 来館する保護者は読書への意識が高く、子どもの読み聞かせに参加したり、絵本を借りたりし絵本を身近に感じている人が多いように感じる。今後も来館者に様々な絵本を紹介、読み聞かせし、絵本を通して親子のふれあいを楽しんでもらい読書支援に繋げていきたい。 	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 国の「第五次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の4つの柱(不読率の低減・多様な子どもたちの読書機会の確保・デジタル社会に対応した読書環境の整備・子どもの視点に立った読書活動の推進)に従って学校図書館の運営を行っている。 電子書籍(タブレット)と紙媒体の本について、電子書籍は一度に多人数が同じ本を読める利点があり、調べ学習の際には便利である。一方、紙媒体の本は図書館から一度に借りられる冊数に限度がある点が不便だが、本のページをめくる喜びを子どもたちに伝えたいと思っている。 	
東住吉区	7月4日	<ul style="list-style-type: none"> 行事に参加してくれた子どもが、小学校や高校で再開しても覚えてくれていて嬉しかった。メンバーの高齢化が課題。 小さい子どもが多く、絵本だけでなく、パネルシアターや組木を使っている。保護者向けに絵本を読んだり、ヨガと組み合わせたりして、新しい参加者を増やす工夫をしている。 電子機器が発達し、短時間で物事を調べ、好きな物を見、無駄を省き、親も自分の時間を持つ。良い事尽くめのようなが、紙の辞書を引き、知りたい物以外にも視野に入れ、一見無駄かもしれない知識も得られる。そんな紙媒体の大切さも伝えなくてはいけない。スマホ動画もいいが、向き合っって絵本を共有する時間は人生の宝物になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分が子どものころ絵本が好きだった保護者は子どもに絵本を読んであげる気持ちがある。対して、そうではない保護者は、薦めても読まない。 読み聞かせをしているが、専門の方に来てもらって読み聞かせをしてほしい。 年齢がバラバラだと、本の選択が難しい。 	<p>保育所・保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常的に子どもたちは絵本にふれており、クラス文庫も充実。園の入り口に保護者向けの文庫を設置。週に1度クラス文庫の貸出をしているが、保護者によっては断られることもある。 絵本を本棚から取り、読み聞かせをする保護者が少なくなってきた。こちらからお薦めして、少し手に取るが、じっくり読み聞かせとはならない。 父親が育休をとる家庭が多くなっているので、家族皆で絵本をじっくりみたり読んだりすることが増えていくように、働きかけていく必要がある。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> オリエンテーション。1年生図書館の利用法、2年生分類。 イベント「百科王からの挑戦状」。 電子書籍 ポプラ社MottoSokka! 2023体験利用実施。 読書バリアフリー体験セット展示。 	<p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> 窓口・待合室に絵本を置いている。子どもが何度も手に取っている。イベントでも絵本コーナーを設け、ボランティアに読み聞かせをしてもらっている。毎年好評だ。 <p>区社協</p> <ul style="list-style-type: none"> 絵本の読み聞かせをするグループが5つほどあり。それ以外に子ども関係のグループが絵本を活用。課題はボランティア仲間が増えないこと。講座を開催しても申込が少ない。

区名	開催日	読み聞かせ等読書推進の現場で 主にボランティアから	子育て支援施設等の現場で 主に施設職員から	学校・就学前施設の現場で 主に教員・保育士から	備考 その他特記事項
平野区	7月9日	<ul style="list-style-type: none"> メンバーを増やすため、読み聞かせボランティア養成講座を開催している(平野図書館絵本の会・おはなしたからばこ共催)。 	<ul style="list-style-type: none"> スマホ世代の保護者や子どもたちだが、施設で繰り返し絵本の読み聞かせを行うことで、絵本に興味を持ったり親しむ様子を見ることができるようになった。 	<p>保育所</p> <ul style="list-style-type: none"> 配本に大型絵本もあるとうれしい。 子どもが本を大切に扱うようにする工夫を知りたい。 YouTubeを見ている家庭がほとんどだが、毎日園で読み聞かせる月刊絵本を翌月家に持ち帰ると、子どもが保護者に毎日読んでと持ってきて親子で楽しんでいると聞く。本がYouTubeに勝てないわけではない。子どもは本に、スマホやYouTubeにはないものを感じとっている。 <p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 活字離れが進んでいる。子どもは本よりスマホやYouTubeやTikTokの方にいってしまう。 小学校で読書意欲を高めるためいろいろ取り組んだが効果が出ない。本の面白さに触れてない子には学校の取り組みが本の押し売りになっていると感じる。 読書意欲を高める取り組みや、図書委員会の児童ができる活動内容を知りたい。 本を読む子どもが少ない(絵本は手にとっているが) 各校の学校図書館でのまがの取り扱いを知りたい。 学校司書の配置の日を増やしてほしい 平野区の「ひらちゃんノート」と大阪市の「読書推進プロジェクト」が似ている。統合で効果が上がるのではないか。 平野区内の小学校による「本の紹介作文コンクール」「ビブリオバトル」などを実施すればどうか。 	<p>子ども・子育てプラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> 配本や図書館貸出の絵本で絵本セットをつくり来館者に貸出して、大変好評。 えほん展の期間中に多文化テーマの日を設けて外国語絵本の展示や外国語の読み聞かせを実施した。 <p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校でビブリオバトルを促進したい。 「ひらちゃん読書ノート」を区内小中学校へ配布し、到達者の区長表彰を実施している。不登校だった生徒が表彰され、数年後本人から自信になったと聞いた。 <p>学校図書館コーディネーター</p> <ul style="list-style-type: none"> ビブリオバトルを成功させるには、事前準備の時間を十分確保して取り組むのが重要で、繰り返し行えば小学生もスキルが上がっていく。指導する先生がどれだけ時間をかけてかかわれるかが鍵となる。 学校は本の押し売りでなく、本に出会う機会を与えている。大人はあきらめずきっかけ作りを積み重ねてほしい。
西成区	7月5日	<ul style="list-style-type: none"> 図書館での読み聞かせについて、乳幼児向けおたのしみ会「すくすく」の参加者はあるが、幼児・小学生向けのおたのしみ会の参加者がほとんどなく、対策の必要がある。 外国につながる子どもの増加により、外国語による読み聞かせ等が必要となった場合、ボランティアの養成が必要であると思う。 悩みを抱えた子どもたちに読んであげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタートの参加率が低迷している。 外国籍の親子が増加している中、ブックスタートの説明は多言語版が用意されているが、参加の申し込みのしかたについての資料がなく、伝えるのが難しい。 本を手にとる親子と全く興味を示さない親子と両極端である。 絵本の与え方について、良書とは？との質問がよくある。こどもの目にとまった本と一緒に見るなど、基本的で大切な関わり方を保護者の方に伝える必要がある感じる。 	<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業以外での図書の貸出が少ない。 外国語併記の本が少ない。 高学年になるにつれて、図書の利用が減少している。 <p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書離れが進んでいるように思う。 図書館利用のほとんどは勉強で、貸出冊数が伸びない。 本よりもタブレット活用が増えた。 近年、外国から転入する生徒が増加してきた。 外国に繋がる生徒への支援の手立てが思いつかない。 英語版の絵本や、外国語の参考書はあるが、中国語、ハングル、マレー語、インドネシア語、フィリピン語、ブラジル語などによる本が少ない、もう少し増やしたい。 	<p>書面開催 23施設(ボランティアグループ含)に依頼</p> <p>区役所</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学生の目標達成者数は数名程度であり読書活動への関心が低いことが課題。

事例報告 1 大阪市立図書館における多言語資料対応事例（令和 5 年 4 月～令和 6 年 8 月）

館名	各館対応事例	各館対応事例のうち学校関連	言語
中央 (西区)	<p>○いろいろなことばのおはなし会+ミニ絵本展 偶数月第 1 日曜に開催。ボランティアによる韓国・朝鮮語、英語絵本の読み聞かせと職員による同タイトル絵本日本語版の読み聞かせ、会場内でのミニ外国語絵本展 令和 5 年度 8/6、10/1、12/3、2/4 令和 6 年度 4/7、6/2、8/4</p> <p>○いろいろなことばのえほん展 令和 5 年 7 月 21 日から 9 月 20 日まで 日本語、英語、韓国・朝鮮語、中国の絵本展</p>	<p>○日本語指導が必要な子どもの教育センター校への外国語図書団体貸出 < 令和 5 年度 > 5/28 生野区小路小学校(ベトナム・中・韓国) 6/6 北区豊崎小学校(英・中) 6/30 生野区小路小学校(ベトナム・中・ポルトガル) 8/16 生野区小路小学校(ベトナム・中・ポルトガル) 8/29 北区豊崎中学校(英・中) 9/20 生野区小路小学校(ベトナム・中・ポルトガル) 10/20 生野区小路小学校(ベトナム・中・ポルトガル、ヒンドゥー) 11/17 淀川区木川小学校(中・ネパール) 12/17 生野区小路小学校(ベトナム・中・ポルトガル、ヒンドゥー) 1/16 西成区岸里小学校(ベトナム・中) 1/23 北区豊崎中学校(英・中) 1/24 生野区小路小学校(ベトナム・中・ポルトガル、ヒンドゥー)</p> <p>< 令和 6 年度 > 4/15 西成区岸里小学校(ベトナム・中) 4/15 生野区小路小学校(英・ベトナム・中・ポルトガル) 4/22 淀川区木川小学校(英・中) 4/26 北区豊崎中学校(英・中・ネパール) 6/3 西成区岸里小学校(ベトナム・中・ポルトガル) 6/10 生野区小路小学校(英・ベトナム・中・ポルトガル、スペイン) 6/20 淀川区木川小学校(英・中・シンハラ語)</p> <p>日本語指導が必要な子どもの教育センター校からは各区の地域図書館ではなく中央図書館での受付も可能⇒中央から最寄りの地域館に送付⇒地域館から学校通送で送付</p>	英語 韓国・朝鮮語 中国語 シンハラ語 スペイン語 ネパール語 ヒンドゥー語 ベトナム語 ポルトガル語
北		<p>○中国語絵本等の貸出 ・時期 令和 5 年度 2 学期 ・対象施設名 豊崎本庄小学校 ・言語 中国語 ・内容 中国語を母語とする児童(全学年)を対象として絵本、児童書、日本語を学ぶやさしい本を借りたいとの要望を受け約 20 冊を 2 学期中に計 3 回貸出した。</p> <p>○見学受け入れ ・時期 令和 6 年 4 月 9 日(火) ・対象施設名 大阪 YMCA インターナショナルスクール ・言語 英語 ・2 年生約 30 名の図書館見学を受け入れ。当館所蔵の英語図書も含めた自由読書のほか、英語の紙芝居、英語の大型絵本を当館司書と児童と一緒に読んだ。</p>	中国語 英語

館名	各館対応事例	各館対応事例のうち学校関連	言語
都島		<p>○小学校 生活科「せかいのくにをしろ」多文化共生の取組に関連し、外国につながる在籍児童の国を紹介する本を貸出(ブラジル・バングラディシュ)</p> <p>○多文化の絵本リストを作成し、学校司書に提案</p>	ポルトガル語 (ベンガル語はほとんどなかった)
福島	○区子育て情報誌「フッピイキッズ」令和6年春号の絵本紹介記事で、当該絵本の中国語版もあると紹介	<p>○小学校 英語絵本(日本語版も合わせて)の貸出。English week に合わせ、学校図書館で展示</p> <p>○小学校 中国簡体字まんがや児童書(6年生向け)の貸出。当該児童の教室に設置。2回。</p> <p>○小学校 中国簡体字の絵本とその日本語版(1年生向け)の貸出。当該児童の教室に設置。</p> <p>○小学校 2年生図書館見学時に、『ぐりとぐら』の英語・中国語・韓国語版を紹介。</p>	英語 中国簡体字 中国簡体字 韓国・朝鮮語
島之内(中央区)	<p>○各国語の島之内図書館利用案内を作成している。(6言語+やさしい日本語)</p> <p>○各国語島之内図書館所蔵タイトルリストの作成(令和6年4月更新、11言語)</p> <p>○絵本展(子ども・子育てプラザ共催)開催時、フィンランド語絵本の希望があり、図書館(実施場所のプラザから隣の建物)から本を探して、見ていただいた。(令和5年10月)</p>	<p>○小学校 見学時に外国語絵本の紹介</p> <p>○小学校向け団体貸出 日本語教室の教員より、日本語を母語としない児童が楽しめるよう、中国語の本の貸出希望あり、貸出。(南大江小学校日本語教室、R6年7月)</p>	英語 中国語 韓国・朝鮮語 スペイン語 ポルトガル語 ベトナム語 タガログ語 インドネシア語 タイ語 ヒンディー語 ネパール語
港	<p>○移転開館に伴う外国語資料コーナーの新設(令和6年4月1日～)</p> <p>○図書展示「いろんなことばの絵本を楽しもう！」展(令和6年7月19日～9月18日)</p> <p>○子育て支援センターへの多言語絵本団体貸出</p>		英語 中国語 韓国・朝鮮語 ベトナム語 など
天王寺	○いろんなことばのおはなし会(R6.8/6,8/20予定) 日本語教育センターの留学生と区内の高校生等と一緒に多言語によるおはなし会を開催。 8/6 練習日と8/20 本番のために英語、中国語等の絵本を集めた	<p>○R5.12 天王寺中学校 中国から転入してきた生徒とコミュニケーションを図るため中日辞典、日中辞典を貸出希望</p> <p>○R6.6 桃陽小学校 中国からの転校生で日本語の文を読むのが難しい児童が数人いるので、中国語(簡体字)で書かれた物語や漫画を貸出希望</p>	中国語 中国語(簡体字) 英語 韓国・朝鮮語 スペイン語

館名	各館対応事例	各館対応事例のうち学校関連	言語
浪速	<p>○図書購入計画に基づいた蔵書の充実 外国語を学ぶ本だけでなく日本語を学ぶ本や国際理解分野の図書、日本で入手できる児童向け英語図書の購入など</p> <p>○外国語図書コーナー、リストの周知</p> <p>○健診時の講話・読み聞かせにおいて、外国籍の父母も参加していることが多いため、やさしい日本語で話しかけたり、ゆっくり・はっきりと読み聞かせたりするよう心掛けている。図書館には日本語以外の言語の図書もあることを説明。</p> <p>○ブックスタート実施施設に毎月本を貸出しているが、外国語の絵本も必ずいれるようにしている。</p> <p>○令和6年11月「多文化にふれるえほんのひろば」開催予定。絵本展だが図書館内で開催するため、気に入ったものはその場で借りて帰ることができるようにする。他に外国語による読み聞かせなど予定。NPO 法人おおさか子ども多文化センターと共催。</p>	<p>○開校した日本語学校より教員、生徒の来館あり、要望を聞き取って日本語を学ぶ本や多国語表記の図書を充実</p> <p>○利用案内のネパール語版を作成</p> <p>○大阪中華学校に「としょかんだより」を配布</p> <p>○学校向け団体貸出 令和5年度小学校1校6回 中学校1校4回 令和6年度小学校1校2回 中学校2校3回(8月現在) ・「ウクライナ語の本が読みたい(中学生)」→ウクライナ語で書かれた本の所蔵は少なかったが、大人向けの本も含め、日本語/ウクライナ語併記のほか英語の本でウクライナについて書かれたものや、風景や料理など写真の多いものを含め提供。平和で美しかった頃の様子や、現在の風景や人々の様子が含まれているものもあったので、提供の際には先生方で配慮したうえでどれを見てもらうか考えてもらった。当該の生徒は大変喜んで感激していた様子と学校より報告あり。</p> <p>○幼稚園・保育園への読み聞かせにおいて、園より中国語での読み聞かせの希望あり。ボランティアで中国語のできるメンバーがいたため対応。</p>	英語 中国語 タガログ語 ネパール語 ヒンディー語 ポルトガル語 ウクライナ語 など
西淀川	<p>○西淀川区役所「西淀川区子育てを応援する担い手育成・地域連携事業」『TABUNKA』(NPO 法人にしよどにネット受託) 5/12、7/14、9/8、1/12、3/8 外国につながる乳幼児親子及び関心のある方が集まって多文化交流するイベントに日本語と対になる多言語訳絵本を中心に図書を貸出</p>		英語 中国語 韓国・朝鮮語 ポルトガル語 ベトナム語 インドネシア語 ヒンディー語 タイ語 タガログ語 ネパール語
淀川	<p>○令和6年度「淀川区子どもの読書活動推進連絡会」で、「外国語絵本のリスト」を配布。</p> <p>○子ども・子育てプラザで、令和6年10月実施の多文化交流会へ各国語絵本を貸出のため打ち合わせ中。</p>	<p>○小学校 中国語で書かれた絵本等の貸出について相談あり。</p> <p>○小学校 令和5年11月に問い合わせがあり、中国語、ネパール語、ベトナム語、タガログ語の本を貸出。定期的な提供が必要でセンター校だったため、中央図書館外国語担当へ引継ぎし、令和6年度も、淀川図書館を経由して定期的に提供している。</p>	中国語 英語 韓国・朝鮮語 イタリア語 ポルトガル語 ネパール語 ベトナム語 タガログ語

館名	各館対応事例	各館対応事例のうち学校関連	言語
東淀川		<p>○菅原小学校 中国語を母語とする児童の転入時に対応。読書を楽しむことができるよう、中国語で書かれた図書(低学年向きの絵本、高学年向きの読み物)を20冊前後貸出。3か月ごとに貸出する図書を入れ替えている。</p> <p>○むくのき学園 ・外国語で読書をする生徒向けの選書の参考として、英語で書かれた様々なレベルの図書を貸出。 ・外国籍の児童と交流を深めるため、中国語、タガログ語、ネパール語、日本語の語学教材を貸出。</p> <p>○新庄小学校 中国語、タガログ語でも出版されている絵本の貸出。</p> <p>○大道南小学校 指定タイトルの絵本の英語、アラビア語、タガログ語、韓国語、トルコ語版の貸出。</p>	中国語 タガログ語 ネパール語 アラビア語 韓国語 トルコ語
東成	○「絵本のひろば」(東成区子ども子育てプラザと共催の絵本展)において、英語、韓国・朝鮮語、中国語、ベトナム語の絵本のコーナーを設けて展示し、英語、中国語、韓国・朝鮮語の利用案内を配布した。		英語 韓国・朝鮮語 中国語 ベトナム語
生野	<p>○いろいろなことばのおはなし会(8/19・12/16・3/16の3回)</p> <p>○生野図書館にて生野区絵本ダイアリー「いくみんのほんだな」展「いくみんのほんだな」掲載絵本を集めて展示。紹介された「外国語で書かれた絵本」も展示(R6. 3/1-4/30)</p> <p>○R6. 3/1-4/30 図書展示「児童書で知るKOREA」展にて、韓国・朝鮮語から日本語に翻訳された児童書やハンガルの児童書を展示</p> <p>○団体貸出 ・子ども・子育てプラザ 3か月ごとに、英語・中国語・日本語各20冊合計60冊の絵本を貸出。中国語絵本は日本で刊行された絵本の翻訳版で、対応する日本語絵本を同時に貸出している。R5. 5末、8末、11末、R6. 2末に貸出。</p> <p>○R6. 2 令和5年度購入中国語(簡体字)図書リスト(絵本)作成。外国語絵本架付近に作成した絵本リストを設置し来館者の持ち帰り可能とした。</p> <p>○R5. 12 令和5年度購入韓国・朝鮮語図書リスト作成配布。リスト掲載資料を図書展示架で約一ヶ月間展示。図書展示付近に作成したリストを設置し来館者の持ち帰り可能とした。展示終了後は生野図書館韓国・朝鮮図書コーナーにリストを設置し来館者の持ち帰り可能とした。</p>	<p>○小中一貫校(1校) ・8/18 多言語の絵本展用に外国語絵本を貸出 ・2/2 多文化理解週間を学校で実施するのに合わせた図書展示用に、「世界の子どもの遊びや風習・文化」等が書かれている和書の貸出</p> <p>○小中一貫校(1校)の中学部 ・10/10 日蒙辞典貸出(モンゴル語を母語とする生徒のテスト受験時に使用) ・1/25 日蒙・日比・日越・日中辞典貸出(学校での辞典購入の参考にするため)</p>	韓国・朝鮮語 中国語 ベトナム語 タガログ語 英語 モンゴル語 ネパール語

館名	各館対応事例	各館対応事例のうち学校関連	言語
旭	<p>○ケース展示「One Book One OSAKA」展 (期間:R6. 4/19～6/19) 投票が多かった絵本とその外国語版の絵本 (英語、中国語、韓国語、ベトナム語など)を並 べて展示</p>	<p>○旭陽中学校(日本語指導が必要な子どもの 教育センター校)より日本語教室で利用のため の団体貸出依頼 ・(依頼日 R5. 7/28)日本語学習資料として日 本語の絵本(タイトル指定 16 冊) ・(依頼日 R6. 1/24)日本語→ネパール語の辞 書、会話帳</p>	<p>日本語 ネパール語 英語 中国語 韓国・朝鮮語 ベトナム語</p>
城東	<p>○区子どもの読書活動推進連絡会において事 前提出いただいた課題等に日本語を母語とし ない子どもへの対応について挙がっており、議 題に設定</p> <p>○図書館作成の「多言語で楽しむ絵本のリス ト」「大阪市立図書館外国語絵本の蔵書検索 案内」「図書館利用案内(やさしいにほんご 版)」のほか、リーフレット「ブックスタート・ニ ュースレター No.72」(特集 外国人親子をサポ ートするということ)を配布</p> <p>○幼稚園における外国(ルーマニア)につな がる園児に対する読み聞かせ絵本の選定での工 夫等、各施設の対応事例を共有</p>	<p>○中学校 ネパール語話者の生徒に対するテ スト問題の翻訳のためネパール語辞書貸出</p>	<p>ネパール語</p>
鶴見	<p>○令和 5 年度よりハングル図書の購入開始 し、ハングル図書コーナーを新設</p>	<p>○小学校 学校司書より外国から来た児童の ため児童書の貸出依頼</p> <p>○小学校 学校司書より展示用絵本の貸出依 頼</p>	<p>ネパール語 中国語</p>
阿倍野		<p>○中国語図書の購入方法についての相談(R5 苗代小学校)</p> <p>○大阪市立図書館多言語絵本・図書リストの 提供(R5 苗代小学校)</p> <p>○学校向け読書支援用団体貸出 中国語 R5年度 苗代小学校 5 回 136 冊、 R6年度 苗代小学校 1 回 75 冊</p>	<p>中国語</p>
住之江		<p>○小学校 英語学習用にCD付英語絵本と日本語絵本を セットで貸出 R5 年度7回121冊 R6年度 3 回 45 冊</p>	<p>英語</p>
平野	<p>○えほん展への外国語絵本の貸出 R6 年 3 月平野区子ども・子育てプラザ開催の えほん展に外国語絵本の貸出(ベトナム語・英 語・中国語・韓国・朝鮮語・スペイン語)</p>	<p>○小学校 日本の昔話絵本の団体貸出で、日本語とあわ せて中国語・韓国朝鮮語に訳しているものを貸 出(ベトナム語は訳書みつからず)</p>	<p>ベトナム語 英語 中国語 韓国・朝鮮語 スペイン語</p>
西成	<p>○R5.11.25 「多文化共生フェスタ in にしなり」 (主催:西成区社会福祉協議会)に協力し、多 言語絵本のミニ図書展示を会場にて開催し た。 ○団体貸出 ・西成区子ども・子育てプラザ 1 か月～2 か月ごとに、英語 3 冊、中国語(簡 体字)4 冊、韓国・朝鮮語 3 冊の絵本の貸出 今年度 6 月よりベトナム語の絵本も追加するこ とになった。</p>	<p>○小学校 団体貸出 R5.10.12 図書展示用として天下茶屋小学校 学校図書館 英語、中国語、韓国・朝鮮語、ベ トナム語の絵本 30 冊</p> <p>R6.6.11 岸里小学校(日本語指導が必要な子 どもの教育センター校)『日中辞典:第 3 版』 (小学館)</p>	<p>英語 中国語 韓国・朝鮮語 ベトナム語</p>

大阪市多文化共生の取組について

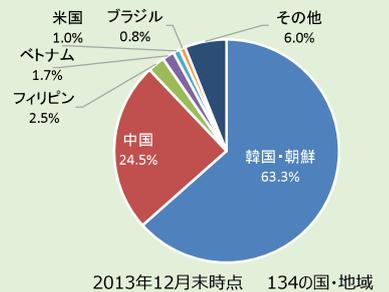


1

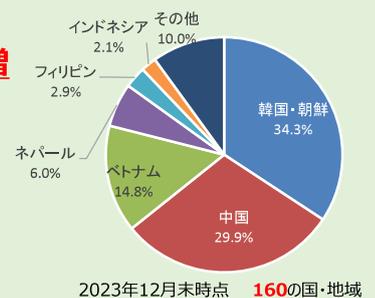
大阪市の外国人人口の現状

- 大阪市の外国人人口は2014年以降急増し、2023年12月時点で**169,392人**（大阪市人口の約**6.1%**）まで増加した。
- また、国・地域の数も増加（134⇒**160**）し、国籍別の割合では、2013年時点で60%以上であった「韓国及び朝鮮」が34.3%まで減少し、一方で「ベトナム」「ネパール」の増加が顕著となっている。

大阪市の外国人人口数（各年12月末時点）



10年間で
53,110人増



出典：大阪市住民基本台帳人口より

2

大阪市の外国人人口の現状

- 在留資格では、特別永住者が約26%を占めているが年々減少傾向にある。その一方で、就労関係、留学とともに、それらの同行者としての家族滞在が増加している。

大阪市の外国人人口数 在留資格別（各年12月末時点）



- ① 就労が認められる在留資格【活動制限あり】：技術・人文知識・国際業務、特定技能、技能実習 など
- ② 身分・地位に基づく在留資格【活動制限なし】：永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者
- ③ 就労の可否は指定される活動によるもの：特定活動
- ④ 資格外活動許可を受ければ一定範囲内で就労可能：留学、家族滞在 など
- ⑤ その他：出生による経過滞在者、国籍喪失による経過滞在者 など

出典：大阪市民基本台帳人口より

大阪市の外国人人口の現状

- 流動性を見ると、令和5（2023）年1年間で、国内・国外からの転入により住民登録された外国人住民は55,325人で、外国人住民の約3割（全体：169,392人）となっている。反対に、国内・国外への転出により住民基本台帳から削除された人数は33,276人で、外国人住民の約2割となっている。

大阪市の外国人人口数 転出・転入（国内外）の状況



総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」より作成

■大阪市多文化共生指針（令和2年12月策定）の概要

目 標

多文化共生社会の実現

「多文化共生社会」とは、多様な価値観や文化を認め、国籍や民族、性別や出身などの違いを理由として社会的不利益を被ることがなく、一人ひとりが個人として尊重され、相互に対等な関係を築き、その持てる能力を十分発揮しつつ自己実現を目指して、社会参加できる創造的で豊かな社会。

大阪市多文化共生指針 4つの「基本視点」

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 外国につながる市民の人権尊重 | 3 多様な価値観や文化の尊重 |
| 2 誰もが安全に安心して暮らせる | 4 多様性を魅力あるまちづくりにつなげる |

大阪市多文化共生指針 6つの「基本的な方向性」

- | | |
|--|--|
| 1 多様な言語・手段による情報提供、相談対応の充実
・行政情報の多言語化、やさしい日本語化による情報発信
・三者通話の活用による通訳や翻訳アプリなどの活用 など | 4 災害に対する備えの推進
・市民防災マニュアル、避難場所への案内表示等の多言語化
・防災訓練、防災教室、広報・周知の取組等の実施 など |
| 2 日本語教育の充実
・識字・日本語教室の開設
・日本語学習支援事業の実施 など | 5 健康で安心して生活できる環境づくり
・就学前施設等の職員を対象とした多文化共生保育研修の実施
・児童福祉施設等に対する通訳・翻訳機器購入の補助 など |
| 3 外国につながる児童生徒への支援の充実
・日本語指導、通訳者派遣
・小中学校における国際クラブの設置 など | 6 多文化共生の地域づくり
・多文化共生をテーマにした講座、交流イベント等の実施
・自転車マナーやごみ出しルール等についての理解促進 など |

■大阪市多文化共生施策推進本部

副市長のマネジメントのもと、多文化共生施策推進本部において、区・各局横断的に多文化共生の推進に関する施策を総合的かつ円滑に推進する

- (運営事項) 多文化共生施策の進捗管理と推進に向けた各施策・事業における取組事項の決定
 (進め方) PDCAを図りながら各所属取組の充実・拡充や重点的課題解決について議論

本部長：市民局理事
副本部長：市民局ダイバーシティ推進室長
本部員：8区の副区長＋関係部局の部長級職員

幹事長：市民局ダイバーシティ推進室長
副幹事長：市民局多文化共生担当課長
幹事：全区・全部局の庶務担当課長等

中央区・浪速区・西淀川区・東成区・生野区・住之江区・平野区・西成区（副区長）
 政策企画室（市民情報部長・政策調査担当部長）
 危機管理室（危機管理室長）
 経済戦略局（立地交流推進部長）
 福祉局（総務部長） 健康局（総務部長）
 こども青少年局（子育て支援部長・幼保施策部長）
 環境局（総務部長） 都市整備局（企画部長）
 教育委員会事務局（学校教育推進担当部長・生涯学習部長）

多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラムの概要

2025年
大阪・関西万博の開催



- 世界中から外国人材の受入れが進むとともに、万博開催により都市魅力がさらに向上され、就労・留学など様々な目的での流入、さらには生活者としての外国につながる市民の増加が見込まれている。
- 万博開催のインパクトと成果を活かし、国籍に関わらず多様な市民がいきいきと活躍し、安心して安全に暮らすことのできる、多文化共生の社会づくりを着実に進め、国際都市としての大阪のまちづくりへと着実につなげていく必要がある。

めざす姿

外国につながる市民が、地域の一員として力を発揮し、地域の活性化につなげていく

～“支援される側”であった外国につながる市民が“地域づくりの担い手”に！～

大阪市多文化共生指針の「基本的な方向性」
「6 多文化共生の地域づくり」の取組を重点的に進めることが急務である。

多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラムの概要

外国人住民が増えると、文化の違いや言葉が通じないなど心配されることがあります。

例えば・・・

日本の習慣や生活のルールを理解してもらえるだろうか？

(ごみの捨て方)



(騒音)



etc

外国人住民との相互理解や交流を進めましょう！

生活ルールやマナーを知ってもらおう



騒音禁止



NO NOISE

異文化をお互いに理解する



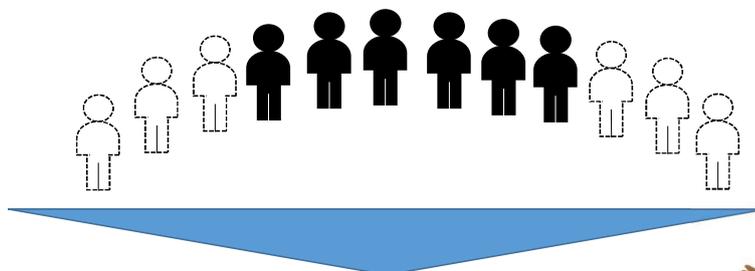
交流の機会を増やす



多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラムの概要

外国人住民も共に地域を支える一員

地域活動に参加する外国人住民が増えれば活動の担い手になり得る人材も増える



外国人住民との相互理解や交流が進むと・・・

地域を支える人が増え

地域の活性化にもつながり

誰もが安全に安心して暮らせる魅力あるまちに！



9

多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラムの概要

◆ 地域の実情に応じたステップ感を持ったエリアプログラム

基本的に①「理解促進」⇒②「参加」⇒③「交流」の順での実施を想定しているが、4つのモデル地域それぞれの実情に応じて柔軟に対応する。

①《理解促進の取組》

より多くの外国につながる市民に、日本で暮らすうえでの慣習やマナー、ルールなどを伝え、知ってもらうところから始め、外国につながる市民を含む地域住民との相互の理解を促進していくプログラム。

- ・地域活動の担い手の方向け：翻訳機能を活用した多言語広報の作り方 など
- 《例》・地域住民向け：翻訳アプリ（スマートフォン）の使い方 など
- ・外国人住民向け：日本の慣習等発信（SNS、キーパーソンを通じた発信） など

②《参加の取組》

外国につながる市民を含む多くの地域住民が、地域活動への参加につながるよう、お互いに関心を持つためのプログラム

③《交流の取組》

将来的に地域の活性化につながるよう、興味・関心のある物事を通して共通点を知り、継続した交流につなげていくとともに、将来の地域活動等の担い手にもつながるような人材の創出につなげていくためのプログラム

10

多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業～取組状況～ R6.8現在

《北巽》

北巽まちづくり協議会定例会
令和6年2月22日



おやこカフェ
令和6年3月10日



《浪速》

おやこ食堂
令和6年3月5日



《北津守》

ひなまつり
令和6年3月3日



《南市岡》

みなとdeたぶんか
令和6年3月30日



多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業～取組状況～ R6.8現在

【多文化共生のためのコミュニケーションのコツ動画の作成】

- ・ Facebook、QRコードを活用したチラシ等により拡散中
- ・ 百歳体操やふれあい喫茶等で上映中

日本人向け

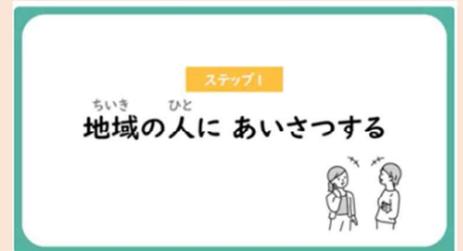


10分48秒
「やさしい日本語」の活用を推奨

外国人向け



6分48秒
「やさしい日本語」「英語」「中国語」「韓国語」「ベトナム語」「ネパール語」で制作



多文化共生の地域づくりに向けたエリアプログラム支援事業～取組状況～ R6.8現在

【関連情報のホームページへの掲載、Facebookでの発信】



事例報告 主幹学校司書配置校の取組について

■ 学校司書の配置について / 中央図書館 地域サービス担当 学校図書館支援グループ

令和4年度～ 全小中学校と義務教育学校に「学校司書」を配置 週1回・6時間

うち、市内24校（各区1校）に週4回・30時間の「主幹学校司書」※を配置

令和5年度～ 25学級以上の11校に学校司書を加配 週2回・12時間（週1回・6時間加配）

※主幹学校司書は、配置校において日々の教職員・児童生徒の対応の経験に基づき、学習に役立つ資料の提供、児童生徒のニーズにこたえる図書の選書、教職員・児童生徒の読書相談・調査相談に応じる等、成果を上げている。さらに、その成果を、大阪市学校図書館基本図書リストの作成や、実践事例の提供等、全体の底上げを図る役割も担っている。

施策目標達成状況

● 学校図書館貸出冊数

（児童生徒1人当たりの年間貸出冊数）

		学校司書配置前		配置1年目	配置2年目	目標
		R1実績	R3実績	R4実績	R5実績	R7末目標
小学校	全体	29冊	28冊	32冊	32.2冊	38冊
	うち主幹配置校	—	35冊	43冊	45冊	
中学校	全体	3冊	2.8冊	2.8冊	2.7冊	6冊
	うち主幹配置校	—	2.2冊	4.8冊	4.4冊	

● 授業での学校図書館活用

「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、「週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合（小学校のみ）

	学校司書配置前	配置1年目	配置2年目	目標
	R2実績	R4実績	R5実績	R7末目標
全体	69.7%	69.8%	69.6%	80.0%
うち主幹配置校	—	73.3%	76.3%	

■ 苗代小学校（阿倍野区）の取組について / 大阪市立苗代小学校 校長 安倍 紫

令和6年度 大阪市立苗代小学校学校経営の方針

教育目標：自主自立の精神に富む人間性豊かな子どもを育てる ～一人一人の笑顔が輝く苗代小学校～

重点的な取り組み

- 1 笑顔あふれる心豊かな体験の重視
- 2 言語活動の充実と読解力の育成

主幹学校司書と連携を図り、教科学習とも関連させながら、読書活動のさらなる充実を図る。また、多読・速読、読み聞かせなど、豊かな読書活動をベースに言語活動の充実を図るとともに、読解力の育成につなげていく。

- 3 主体的・対話的で深い学びの実現
- 4 SDGsの理念に基づいた教科横断的な学習の工夫

学校図書館と学校司書を活用した取組

- ・ ちよっ図書館
- ・ 味見読書
- ・ 教員研修 アニマシオン

第4次大阪市子ども読書活動推進計画(概要版)

これまでの経過

◆ 平成13年「子どもの読書活動の推進に関する法律」(推進法)施行
→ 地方公共団体は、推進計画を策定するよう努めなければならない

- ・平成18年「大阪市子ども読書活動推進計画」策定
- ・平成25年「第2次大阪市子ども読書活動推進計画」策定
- ・平成30年「第3次大阪市子ども読書活動推進計画」策定
- ・令和3年 現計画を1年延長 計画期間 令和3年度末まで

策定にかかる背景

関連計画等	本計画との関係
2025大阪・関西万博	理念・目的(一人ひとりが互いの多様性を認め、「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現。SDGsが達成された社会をめざす)を踏まえる
第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」(国)	読書習慣の形成を目指し発達段階ごとの有効な取組みを推進
第4次「大阪府子ども読書活動推進計画」(府)	少しでも本を読む子どもを増やすことを目指し、子ども一人一人に合った読書活動を一層推進する。
「読書バリアフリー計画」(国・府)	視覚障がい者等の読書環境の整備
「教育振興基本計画」	理念を共有
「生涯学習大阪計画」	
「こども・子育て支援計画」(第2期) 「こどもの貧困対策推進計画」	子どもの環境・貧困と読書との関連を注視

成果と課題

成果

「読書を全くしない」児童・生徒減 「読書は好きだ」児童増
(「全国学力・学習状況調査」より)

課題

- ・上記調査回答において、**中学生の全国平均との乖離が小学生より大きい**
- ・市立図書館**13歳～19歳の登録者数減少**

期間

令和4(2022)年4月から令和8(2026)年3月 4年間

基本方針

大阪市のすべての子どもが自ら生き生きと読書を楽しめる読書環境の整備

観点1 子どもの読書環境の整備・充実

- ・発達段階に応じた途切れない読書習慣の形成により主体的に学び続けることができる力を醸成
- ・一人ひとりの多様性に応じた読書環境の整備
- ・とりわけ学校教育においては、読書環境の充実をはかるとともに、読書活動を通して読解力を育むことにも留意
- ・紙の本とデジタル両方を活用できる能力の育成支援

観点2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

- ・ICTを活用した情報発信と、紙の本による読書推進の両立
- ・読書活動の検証、改善

観点3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大

- ・図書館を事務局として「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」開催
- ・区や関連団体、市民主体の取組みなど、多様な人々との連携・協力の拡大

第4次大阪市子ども読書活動推進計画 目標

基本方針 大阪市のすべての子どもが自ら生き生きと読書を楽しめる読書環境の整備

観点1 子どもの読書環境の整備・充実

観点2 子どもの読書活動に関する普及・啓発

観点3 人と本、人と人をつなぐ場の拡大

最重要目標

施策目標		現状	令和7(2025)年度末
「学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)」に対して「読書を全くしない」と回答する児童生徒の割合 【全国学力・学習状況調査】	小学校	29.9% (令和3年度実績)	23.5%
	中学校	49.1% (令和3年度実績)	44.0%
「読書は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合 【小学校学力経年調査】 【注1】		72.5% (令和2年度実績)	76.5%

各取組目標

	目標	現状	令和7年度末
観点1	学校図書館貸出冊数 (児童生徒1人当たり年間貸出冊数)【新規】	小29冊 (R元) 中3冊 (R元)	小38冊 中6冊
	「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して「月に数回程度以上」と回答する学校の割合 【小学校学力経年調査】【新規】	69.7% (R2)	80.0%
	市立図書館児童書の貸出冊数	2,716,230冊	300万冊
	市立図書館7-12歳(小)、13-15歳(中)の利用者数【注2】	小 15,815名 中 4,386名	小16,800名 中4,800名
	子育て支援施設等への配本回数	426回	430回
	市立図書館と学校との連携事業回数	1,934回	2,100回
観点2	市立図書館から小・中学校への団体貸出冊数	84,499冊	10万冊
	市立図書館「こどものページ」「ティーンズのページ」アクセス数【注3】	26,767件	28,000件
観点3	読書活動支援ボランティア数	2,380名	2,500名
	市立図書館と区役所等との連携事業回数	946回	1,200回
	子どもの読書活動推進連絡会(全市、区)	年1回以上	年1回以上

※注1～3は第3次計画からの変更点。

【注1】…対象を「全国学力・学習状況調査」から「小学校学力経年調査」に変更

【注2】…対象年齢を13-19歳から上記に変更

【注3】…「こどものページ」を追加

大阪市子どもの読書活動推進連絡会設置要綱

(設置)

第1条 「大阪市子ども読書活動推進計画」(平成18年3月策定、令和4年3月「第4次」計画策定)に基づき、本市のすべての子どもたちが、さまざまな機会と場所において読書の喜びを味わい、読書を通して生きる力を身につけていくことができるよう、各区で行う子どもの読書支援活動に関する連携を進め、子どもの読書活動を推進するため、「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」(以下「市推進連絡会」という)を設置する。

2 各区において学校や図書館その他の関係機関及び民間団体・グループが、それぞれの課題を理解しながら協力して取り組み、子どもの読書活動を推進するため、各区に「区子どもの読書活動推進連絡会」(以下「区推進連絡会」という)を設置する。

(所掌事務)

第2条 「市推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 各区の「区推進連絡会」での協議の集約、および課題解決に向けた情報共有に関すること。
- (2) 「大阪市子ども読書活動推進計画」の進行管理に関すること。
- (3) 子ども読書の日(4月23日)記念事業他関係団体等が行う読書支援活動の状況把握に関すること。
- (4) 子どもの読書支援活動を推進するための広報啓発事業に関すること。
- (5) その他、本市における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

2 「区推進連絡会」は、次の各号に掲げる事項について協議を行う。

- (1) 地域における子どもの読書支援活動の取組み状況報告に関すること。
- (2) 施設間、団体間の情報交換や、「市推進連絡会」で協議された他の区の子どもの読書支援活動の紹介・交流に関すること。
- (3) 学校図書館活用推進事業の進捗状況の報告に関すること。
- (4) 学校における子どもの読書支援活動についての情報の共有に関すること。
- (5) 子どもの読書支援活動に関する広報・啓発活動の実施に関すること
- (6) その他、区における子どもの読書支援活動推進のために必要な事項に関すること。

(構成)

第3条 「市推進連絡会」は、別表1に掲げる組織、団体から推薦された者及び学識経験を有する者より構成する。

2 「区推進連絡会」は、別表2に掲げる団体等を参考に地域の実情に応じて構成する。

(座長)

第4条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」に、それぞれ座長を置く。

- 2 「市推進連絡会」の座長は、中央図書館副館長とする。
- 3 各「区推進連絡会」の座長は、各区の市立図書館館長または担当係長とする。
- 4 座長は会議を主宰し、会議の議事を進行する。
- 5 座長に事故があるときは、あらかじめ座長の指名する構成員がその職務を代理する。

(「区推進連絡会」の代表者)

第5条 各「区推進連絡会」に、「市推進連絡会」の構成員となる代表者を置く。

- 2 代表者は、各「区推進連絡会」の構成員の互選により選出する。

(事務局)

第6条 「市推進連絡会」の事務局は大阪市立図書館利用サービス担当に置く。

- 2 各「区推進連絡会」の事務局は各区の市立図書館が担う。

(会議)

第7条 「市推進連絡会」および「区推進連絡会」は、各会議の座長が構成員を招集して開催する。

- 2 「市推進連絡会」の座長は、必要があると認めるときは、関係部局の職員に会議への出席を求めることができる。

(施行の細則)

第8条 この要綱の施行について必要な事項は、事務局が定める。

附則 この要綱は平成19年 7月 17日から施行する。

附則 この改正要綱は平成31年 4月 1日から施行する。

附則 この改正要綱は令和4年 4月 1日から施行する。

大阪市子どもの読書活動推進連絡会の構成

順不同

(別表1) 市推進連絡会

- ・ 各区の「子どもの読書活動推進連絡会」代表者
- ・ 大阪市PTA協議会
- ・ 大阪市生涯学習推進員協議会
- ・ 学識経験者
- ・ 大阪市教育委員会事務局生涯学習部
- ・ 大阪市教育委員会事務局指導部
- ・ 大阪市立図書館

(別表2) 区推進連絡会

種別	構成団体等 (例)
読書活動支援ボランティア	各ボランティアグループの代表者 (推薦された者)
地域を拠点として活動する組織、グループ、地域活動の担い手など(地域の実情に応じて)	ボランティア・市民活動センター (旧ボランティアビューロー)、生涯学習推進員、民生委員・児童委員、児童いきいき放課後事業地域指導員、学校元気アップ地域本部地域コーディネーター、はぐくみネットコーディネーター、子育てサークル、子育て支援サークル、まちライブラリー、こども文庫など
子育て支援施設	子ども・子育てプラザ、つどいの広場、子育て支援センターの職員など
就学前施設	公・私立幼稚園、保育所、認定こども園の職員など
学校 (代表出席)	教育研究会 各区学校図書館部担当理事・教育メディア部担当理事(管理職) 司書教諭、学校図書館主任、学校司書・主幹学校司書など
区役所	教育担当、子育て支援担当、保健福祉担当、生涯学習担当など

【事務局】

各区市立図書館	館長または担当係長、司書職員、学校図書館コーディネーター
---------	------------------------------

令和6年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会名簿(除事務局)

(令和6年9月3日)

お名前(敬称略)	区分		所属・役職名等
片岡 則夫	有識者		公益財団法人図書館振興財団教育支援担当
中西 利恵	有識者		神戸常盤大学教授
片上 記世美	社会教育関係団体		大阪市PTA協議会研修委員長
砥石 幸治	社会教育関係団体		大阪市PTA協議会広報情報推進委員長
嶋津 敏治	社会教育関係団体		大阪市生涯学習推進員協議会会長
三好 浩美	社会教育関係団体		大阪市生涯学習推進員協議会副会長
辻本 みゆき	社会教育関係団体		大阪市生涯学習推進員協議会副会長
金田 治子	区の子どもの読書活動推進連絡会代表	北	絵本の会北
北本 美和子	同上	都島	都島えほんの会 ふぁいと!
藤沢 佳子	同上	福島	絵本の会福島
奥村 久美	同上	此花	此花図書館絵本の会
釣島 恭子	同上	島之内	絵本の会島之内
土倉 由美	同上	中央	絵本の会西
立石 三代子	同上	港	絵本の会みなと
吉田 幸子	同上	大正	ひまわりの会
野田 祐子	同上	天王寺	天王寺おはなし「ぼちぼち」
上田 道代	同上	浪速	なにわえほんの会
山口 久子	同上	西淀川	絵本の会西淀川 ぼけっと
東出 祐紀子	同上	淀川	絵本の会淀川
渡邊 裕美子	同上	東淀川	おはなしボランティア とことこ
上坂 喜子	同上	東成	絵本の会東成
中井 みどり	同上	生野	絵本の会生野
岡野 伊都子	同上	旭	旭おはなしたい・すみれ
中山 良子	同上	城東	城東絵本の会
橋口 由紀子	同上	鶴見	絵本の会鶴見
黄瀬 和歌子	同上	阿倍野	絵本の会あべの あのねのね
木村 明美	同上	住之江	絵本の会住之江
福井 潤子	同上	住吉	すみよしおはなしパレット
三木 房子	同上	東住吉	おはなしたまてばこ
藤本 ちひろ	同上	平野	平野図書館絵本の会
朝原 智世	同上	西成	西成絵本の会

令和6年度大阪市子どもの読書活動推進連絡会関係職員名簿

(令和6年9月3日)

教育委員会事務局中央図書館

所 属	氏 名
中央図書館長	益成 誠
中央図書館副館長	石田 智子
中央図書館総務担当課長	民部 博志
中央図書館利用サービス担当課長	戸倉 信昭
中央図書館地域サービス担当課長	小西 敏章
中央図書館利用サービス担当課長代理	外丸 須美乃
中央図書館利用サービス担当課長代理	岡本 泰子
中央図書館地域サービス担当課長代理	檜崎 佳代
中央図書館 担当係長	土岐 真弓
” ”	野村 由紀
” ”	荒木 志寿
” ”	松岡 章子
” ”	岩佐 孝司
” ”	山崎 如代
” ” (兼)	大黒 直子
” 総括指導主事(兼)	田淵 啓之
” 総括指導主事(兼)	島原 政則
北図書館長	長谷部 絵理
都島図書館長	綱脇 真起
福島図書館長	波多野 圭子
此花図書館長	谷元 美緒
島之内図書館長	竹内 景子
港図書館長	西尾 真由子
大正図書館長	片山 理子
天王寺図書館長	増本 満佐穂
浪速図書館長	窪田 聡美
西淀川図書館長	庄野 清美
淀川図書館長	濱田 仁美
東淀川図書館長	浅川 裕俊
東成図書館長	正井 文博
生野図書館長	川村 望
旭図書館長	中田 夕子
城東図書館長	相宗 大督
鶴見図書館長	金澤 愛弥子
阿倍野図書館長	濱田 千賀子

所 属	氏 名
住之江図書館長	根来 美穂子
住吉図書館長	松山 智子
東住吉図書館長	野村 薫
平野図書館長	荒木 麻里
西成図書館長	小笠原 智香

教育委員会事務局指導部

所 属	氏 名
初等・中学校教育担当課長	乗京 慎二
初等・中学校教育担当総括指導主事	田淵 啓之
初等・中学校教育担当総括指導主事	島原 政則

教育委員会事務局生涯学習部

所 属	氏 名
生涯学習担当課長	比嘉 直子
生涯学習担当課長代理	加藤 由紀子
生涯学習部担当係長	大黒 直子

【関係部局】

所 属	氏 名
子ども青少年局企画部 企画課長	中村 春樹
子ども青少年局幼保施策部 保育所運営課 保育内容充実担当課長代理	重松 弥生
経済戦略局文化部文化課長	一與 美治

【事例報告】

所 属	氏 名
市民局ダイバーシティ推進室 多文化共生担当課長	宮之前 亮
苗代小学校長	安倍 紫

オブザーバー参加（区教育担当）

所 属	氏 名
福島区役所保健福祉課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長	森本 晃次
大正区役所保健福祉課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長	佳山 寛子
天王寺区役所市民協働課教育担当	岩下 真志郎
浪速区役所市民協働課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長	高橋 貴志子
淀川区役所市民協働課担当係長	福本 亮平
淀川区役所市民協働課	小玉 浩美
阿倍野区役所市民協働課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係長	穴見 潤一

令和6年度「大阪市子どもの読書活動推進連絡会」実施報告書 令和6(2024)年10月

大阪市教育委員会 〒530-8201 大阪市北区中之島1-3-20